

(仮称) 広域リサイクルセンター
基 本 計 画 書

平成21年3月

寒 川 町

目 次

第1章 計画策定に係る基本的事項

第1節	計画策定の趣旨	1
第2節	基本方針	2

第2章 計 画 条 件

第1節	立地条件	6
第2節	処理対象物の搬出入条件	9
第3節	施設整備に係る法規制条件	17
第4節	計画処理量	21
第5節	計画ごみ質	26

第3章 施設基本計画

第1節	処理システム計画	28
第2節	環境保全計画	38
第3節	処理機能	44
第4節	施設配置・動線計画	52
第5節	建築計画	54
第6節	管理運営計画	59

資 料 編

第1章 計画策定に係る基本的事項

第1節 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景

国は、ごみの排出量の増大等に伴う最終処分場の確保難、リサイクルの必要性の高まり、ダイオキシン類対策等の高度な環境保全対策の必要性等、適正なごみ処理を推進するにあたっての課題に対応するため、ごみ処理の広域化が必要であるとして、各都道府県に対して「ごみ処理の広域化計画について（平成9年5月28日付環衛173号）」を通知しました。

神奈川県は、この通知に基づき平成10年3月に「神奈川県ごみ処理広域化計画」を策定し、県内を9つのブロック圏域に区分し、広域化の推進を図るものとしています。

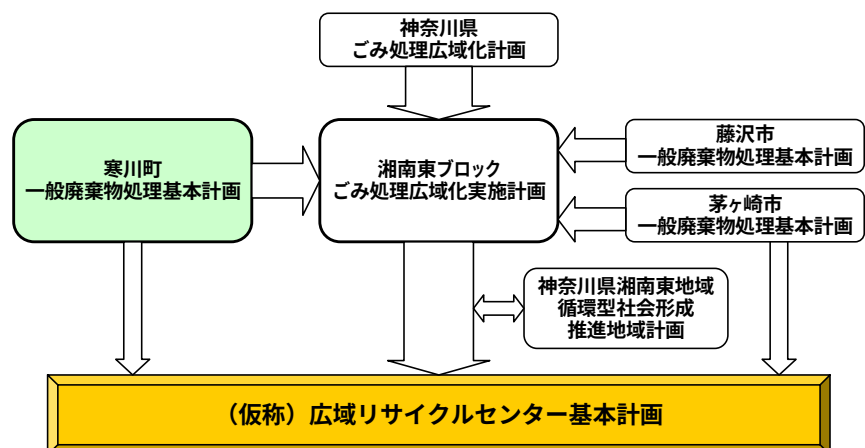
寒川町（以下「本町」という。）は、藤沢市及び茅ヶ崎市の2市1町で「湘南東ブロック」として位置づけられ、平成10年6月には「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」が発足し、平成14年度からは広域化に向けての協議が進められ、平成20年3月には「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」（以下「広域化実施計画」という。）が策定されました。

広域化実施計画では、第1期地域計画事業として平成19年度から平成23年度の5年間で、老朽化している資源化施設を建て替えるものとし、ブロック内に2箇所のリサイクルセンターを整備するものとしており、このうちの1施設が本町で整備されることとなりました。

本計画は、本町で「（仮称）広域リサイクルセンター」（以下「リサイクルセンター」という。）を整備するにあたって、基本的事項を定めるために策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、広域化実施計画の施設整備の基本方針等に基づき策定することになりますが、策定にあたっては、本町の上位計画である「寒川町一般廃棄物処理基本計画」（平成18年3月）やブロック内他2市の「一般廃棄物処理基本計画」における基本方針等、及び「神奈川県湘南東地域循環型社会形成推進地域計画」（平成19年3月）の内容等も踏まえた計画とします。



第2節 基本方針

1 リサイクルセンター整備の必要性

本町では、分別収集した資源物を現在は休止しているごみ焼却施設内で処理していますが、かんの選別施設等は老朽化が著しく、プラスチック製容器包装類の処理については民間業者に委託しています。びん・ペットボトルの選別処理等も施設は簡略なもので未整備のため、リサイクルセンターの早期整備が必要となっています。

茅ヶ崎市では、現在の資源物選別施設が平成5年に設置されていますが、びん・かん類は一つのラインで選別する方式であり、ペットボトルは施設が未整備のため、民間業者に委託しています。また、今後、分別収集する予定のプラスチック製容器包装類についても対応が求められているため、早期に施設整備が必要となっています。

2 上位計画の基本方針

広域化実施計画では、ごみ処理の広域化を図り循環型社会を形成するために、『リサイクル推進型＋バイオガス利用（残渣焼却）・最終処分場負荷軽減型』のごみ処理システムを構築するものとしています。このため、現状の処理システムの中で、さらなる3R推進を行い、ごみの減量化・資源化を図るとともに、広域的かつ総合的に適正な処理施設を整備していくものとしています。このうち第1期地域計画事業として、平成19年度から平成23年度の5年間で、老朽化している資源化施設を建て替えるものとし、ブロック内に2箇所のリサイクルセンターを整備するものとしています。

■広域化実施計画におけるリサイクルセンター施設整備の基本方針

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①リサイクルセンターは湘南東ブロック対応の施設として位置づけ、2市1町の既存施設用地の有効活用及び収集効率を配慮して施設整備を行います。施設建設に必要な面積を確保する関係から、藤沢リサイクルセンター(仮称)は、資源化施設用地とします。茅ヶ崎・寒川リサイクルセンター(仮称)は寒川町クリーンセンター用地とします。②広域化事業として取り組み、整備は焼却処理施設の改修時期等と重複しないようにします。③リサイクルセンターの規模は、処理施設の年間稼働日数、処理対象ごみの月変動係数を配慮して決定します。④施設を2箇所に配置することにより、効率的な収集、運搬とリスク分散を確保します。⑤リサイクルセンターの運営は、施設整備を行う自治体が施設整備時の実情に応じ、実現の可能性が高い事業形態を導入するものとしします。 |
|---|

なお、この事業は施設規模等の調整を広域で検討しますが、施設建設、運営のための一部事務組合等は設立せず、施設用地を管理しているそれぞれの自治体が主体となって整備するものとしています。

本町の「一般廃棄物処理基本計画」では、循環型社会を4Rの推進により構築し、併せて環境への負荷を低減するとともに、ごみ処理施設の整備を湘南東ブロックの基本方針に沿って推進し、適正な廃棄物処理を行うこととし、さらに資源循環型まちづくりを目指したごみ処理システムや市民、事業者、行政の協力体制を確立していくこととしています。

茅ヶ崎市の「一般廃棄物処理基本計画」では、資源循環型まちづくりを推進し快適都市茅ヶ崎を実現するために、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を推進し、資源循環型まちづくりを目指したごみ処理システムを構築するとともに、市民・事業者・行政の協力体制を確立するものとしています。

3 施設整備の基本方針

上位計画の基本方針や整備方針等を踏まえて、リサイクルセンター整備の基本方針を以下のとおり設定します。

① 効率的な処理システムとします

資源物等の分別区分を湘南東ブロックで統一を図るとともに、容器包装リサイクル法や地域のリサイクルルートを考慮して、リサイクルセンターで処理するものと直接資源化するものを明確にし、効率的に再資源化が図れるようなシステムを整備します。

また、施設整備規模については、2施設で資源物最大搬入時の相互受け入れをするなど湘南東ブロック全体で広域化のメリットを考慮した規模設定とします。

② 資源物を確実・安全・安定的に再資源化できる施設とします

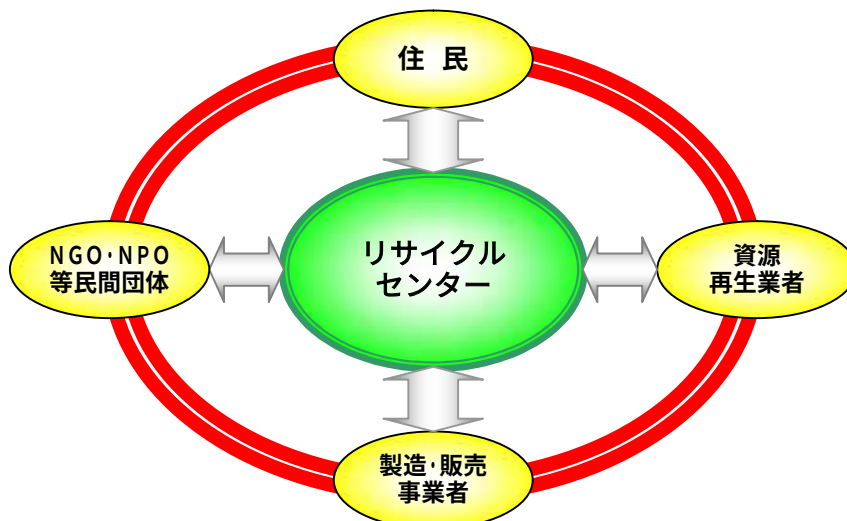
分別搬入された資源物を確実かつ安定的に再資源化するため、信頼性の高い実用的な技術システムを採用します。

また、事故防止のための安全対策を講じるとともに、災害等にも強い施設とすることにより、見学者を含む来訪者や施設内の職員及び搬入車等の安全を確保します。

③ リサイクル活動の拠点となる施設とします

リサイクルセンターの基本は、資源物等の再資源化を適性かつ効率的に行うとともに、再生品の展示等をおしてごみの排出抑制の意識を高めるなど、3Rの普及啓発等を推進することが重要です。

リサイクルセンターにおいては、住民のリサイクル活動のための情報交換の場を提供し、リサイクルの輪を広げていくとともに、環境教育やリサイクルに関する事業を展開し、住民の関心や知識を深め、積極的な取り組みが行えるようにするなど、地域における「リサイクル活動の拠点」としての役割を担うための施設とします。



④ 周辺環境に配慮した施設とします

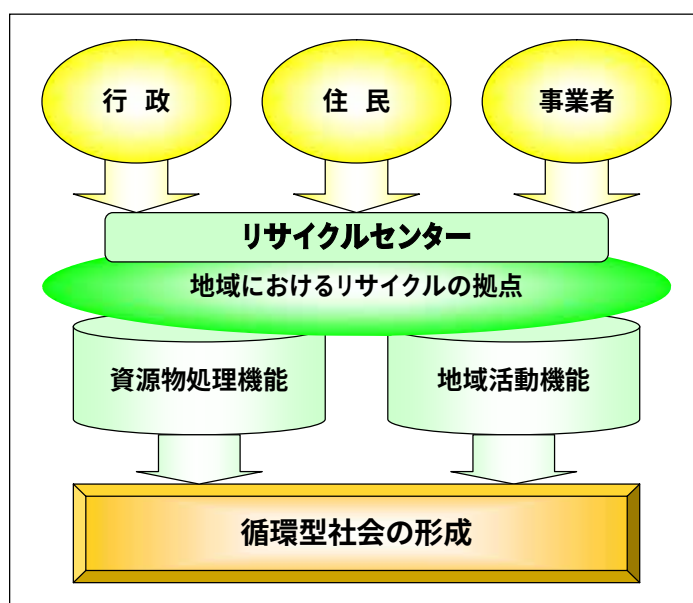
施設は、地域の自然環境や周辺環境に配慮したデザインの採用や、地域に開かれた親しみやすい施設とします。

また、施設内で発生する騒音・振動等については、十分な環境保全対策を講じるとともに、搬出入車両に対しても安全性や環境性に配慮します。

⑤ 経済性に優れた施設の管理運営体制とします

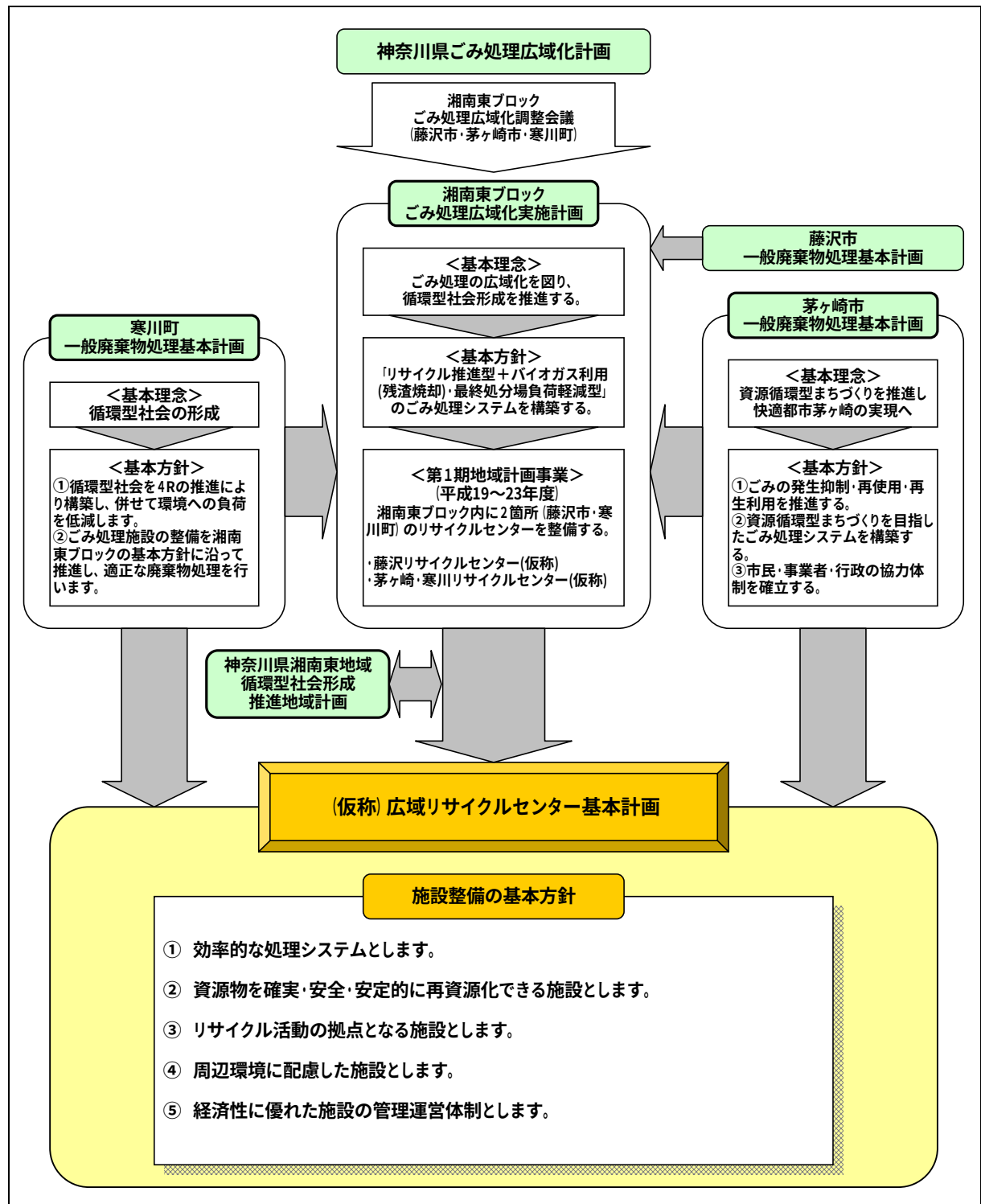
施設の管理運営にあたっては、民間の事業者を積極的に活用するなど、財政支出が可能な限り低減できる経済性に優れた施設とします。

■リサイクルセンターの担う役割



本計画の位置づけ及び基本方針等を整理すると、以下のとおりです。

■計画の位置づけ及び基本方針等



第2章 計画条件

第1節 立地条件

1 位置・面積

建設用地は町の北東端、藤沢市との境界付近に位置し、現寒川町クリーンセンター用地となっています。現寒川町クリーンセンター用地は、ごみ焼却施設及び資源ごみ処理施設（昭和59年3月竣工）用地として使用していましたが、平成14年11月に焼却施設を休止し、現在は資源ごみ処理施設のみが稼働しています。

■建設用地の位置・面積

位 置	神奈川県高座郡寒川町宮山 2524 番地（図 2-1-1 参照。）
面 積	14,370m ² （図 2-1-2 参照。）

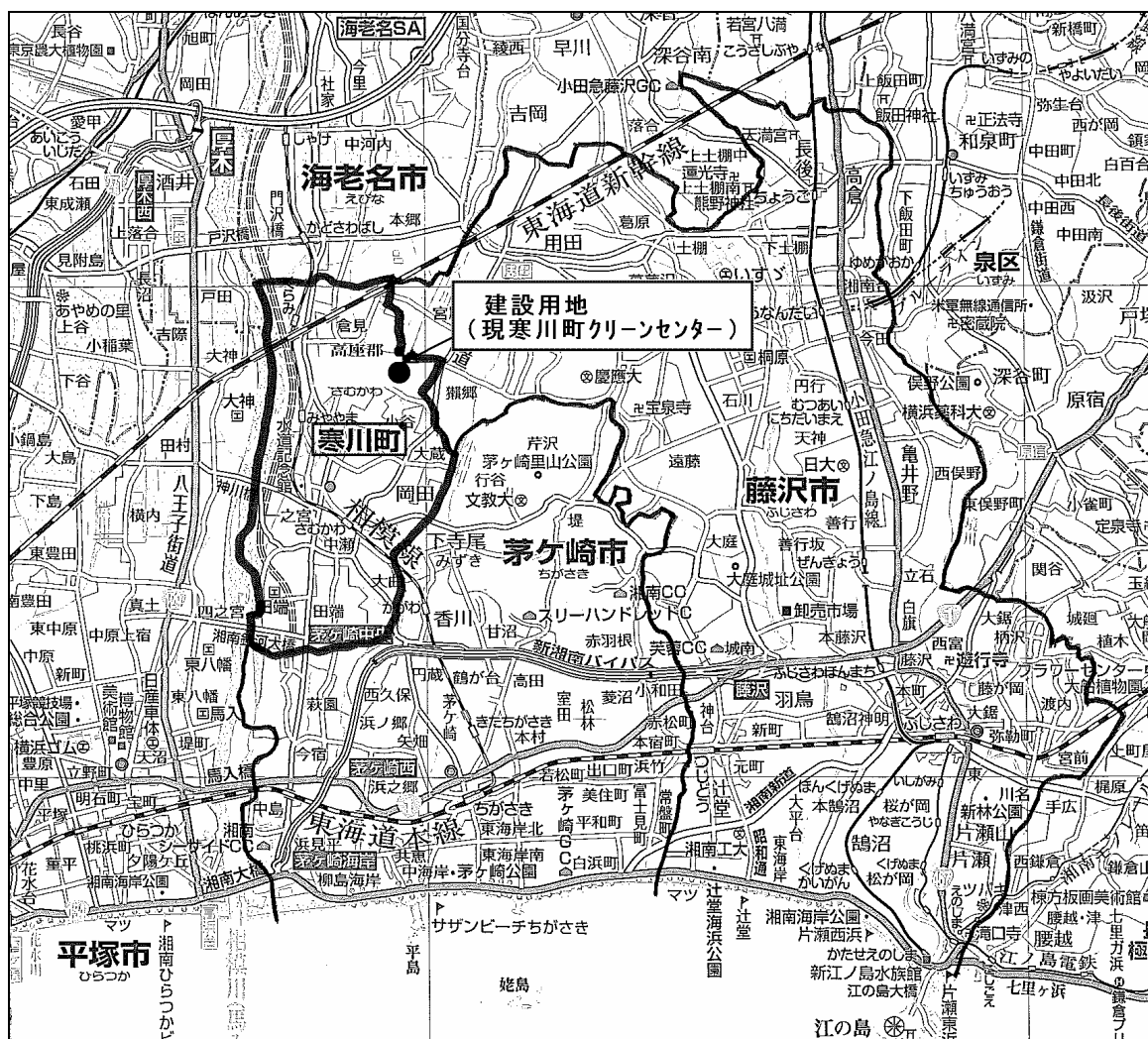


図 2-1-1 建設用地の位置図

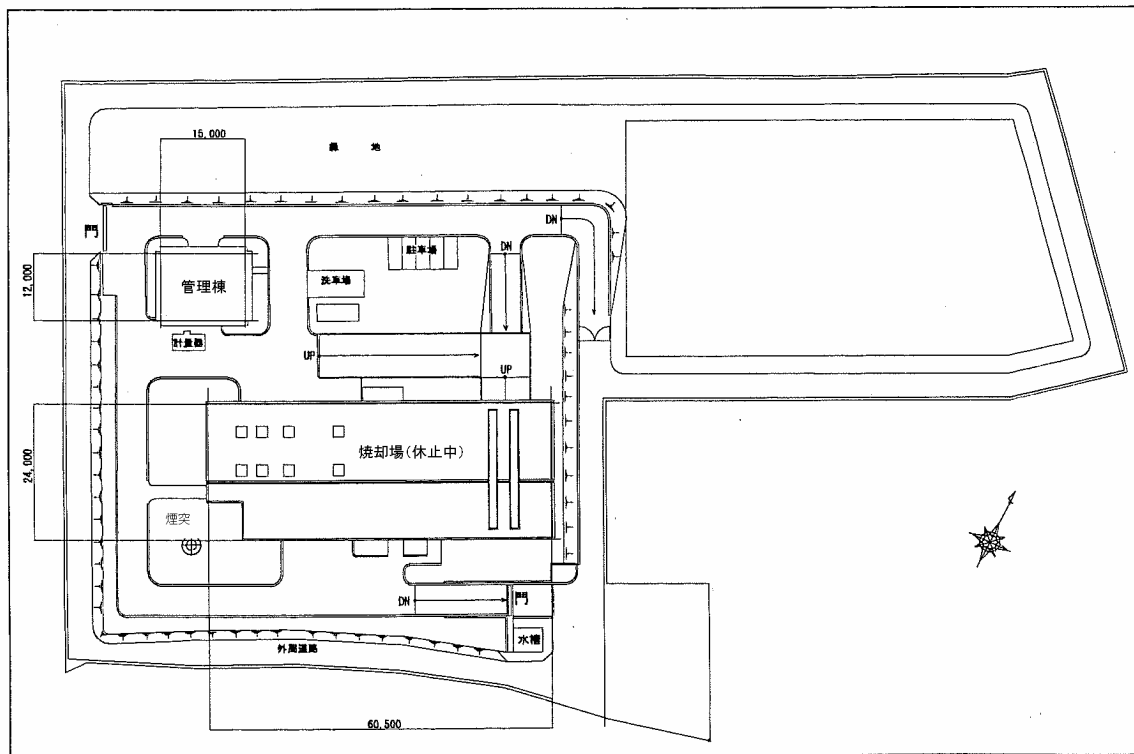


図 2-1-2 建設用地の現況図

2 地形・地質

地形的には、相模川の左岸に広がる沖積低地で、近くには目久尻川が流れ、東側には相模原台地及び高座丘陵が位置しています。

また、建設用地付近の沖積低地は「後背湿地」であり、水田地帯となっていることから、地質的には腐植土層を含む軟弱土層が厚く堆積しており、杭基礎の支持層となる安定した土層はGL-30m程度と深くなっています。(図 2-1-3 参照)

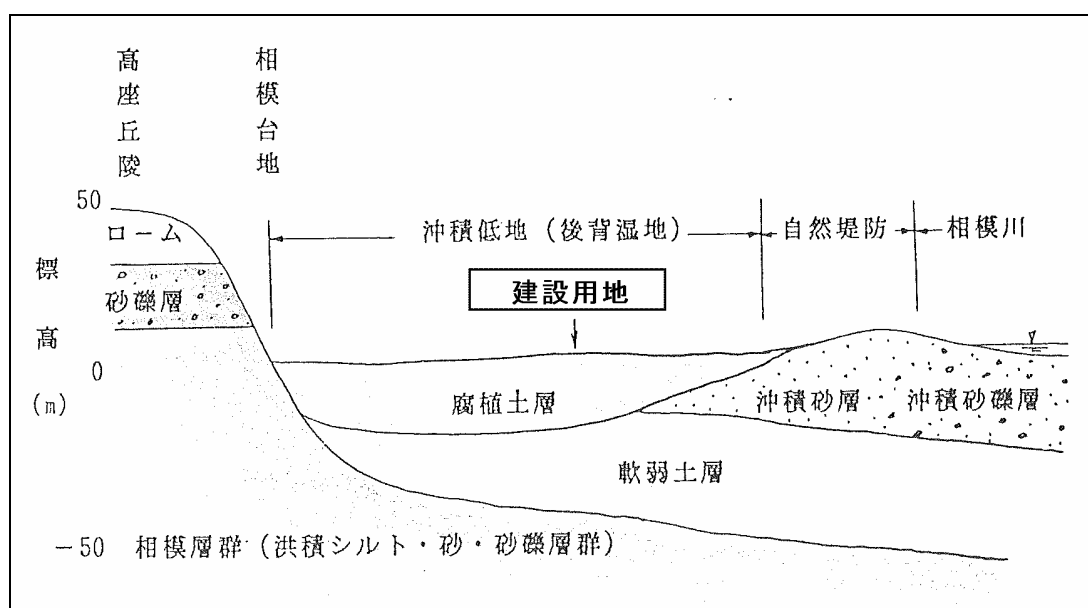


図 2-1-3 地質模式図

3 周辺土地利用状況

建設用地の北側には目久尻川が流れており、東側には「寒川町老人憩の家」が隣接しています。また、用地周辺は水田地帯となっており、約 120m 北側には住宅地があります。(図 2-1-4 参照)



図 2-1-4 建設用地の周辺状況図

4 敷地周辺設備

建設用地は、現寒川町クリーンセンター用地であることから、電気・水道等の設備は既に整備されています。

■建設用地の周辺設備

電 気	既設構内第 1 柱より引き込む。(東京電力)
電 話	既設構内第 1 柱より引き込む。(N T T)
ガ ス	プロパンガス
用 水	既設構内県水道メータより引き込む。
排 水	生活排水：浄化槽処理後、水路へ放流 プラント排水：処理後放流（検討中）

第2節 処理対象物の搬出入条件

1 処理対象物の現状

本町及び茅ヶ崎市における現状の資源物分別・収集・処理状況は、表 2-2-1 のとおりです。また、現状の資源物内訳は表 2-2-2 に示すとおりです。

表 2-2-1 資源物の分別・収集・処理状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

市町	分別区分			排出方法	収集頻度	収集主体	搬入先	処理方法
寒川町	紙・ボロ類	紙類	新聞・広告紙	ひもで結束	月2回	委託	資源ごみ処理施設	保管
			雑誌・本・書籍	ひもで結束				
			ダンボール	ひもで結束				
			牛乳パック	ひもで結束				
			菓子箱等	ひもで結束				
			ざつ紙	ひもで結束、 又は紙袋				
		ボロ布		ひもで結束				
	プラスチック製容器包装			町指定袋 (有料)	週1回	委託	資源ごみ処理施設	圧縮減容処理
	資源ごみ	ペットボトル		専用メッシュ袋	月1回	委託	資源ごみ処理施設	圧縮減容処理
		金属類	かん類	専用メッシュ袋			資源ごみ処理施設	選別・圧縮 (スチール・アルミ)
			鉄くず類				資源ごみ処理施設	選別 (鉄・アルミ)
		びん・ガラス類	びん類	専用コンテナ			資源ごみ処理施設	選別 (生びん・カレット無色・茶・込み)
			ガラス類				資源ごみ処理施設	
		天ぷら油		専用コンテナ (透明 ボトル等に入れ)			資源ごみ処理施設	(保管)
		茅ヶ崎市	資源物 現状)	びん・かん			無色透明・ 半透明袋	隔週1回
ペットボトル				無色透明・ 半透明袋	隔週1回	委託	資源物選別 処理施設	圧縮減容処理
古紙	新聞・チラシ			ひもで結束	隔週1回	委託	再生処理業者	※持込分は資源物選別処理施設 で保管
	本・雑誌・雑紙			ひもで結束		委託		
ダンボール				ひもで結束	隔週1回	委託	再生処理業者	※持込分は資源物選別処理施設 で保管
飲料用紙パック				無色透明・ 半透明袋	隔週1回	委託	再生処理業者	※持込分は資源物選別処理施設 で保管
衣類・布類				無色透明・ 半透明袋	月1回	委託	資源物選別 処理施設	保管

表 2-2-2 現状の資源物分別内訳（平成 20 年 4 月 1 日現在）

区分	寒 川 町		茅 ヶ 崎 市	
紙類	紙類	新聞紙・広告紙	古紙	新聞・チラシ
		雑誌・本・書籍		本・雑誌・雑紙（ポスター、ノート、カタログ、包装紙、手つけ紙袋等）
		ダンボール		ダンボール、ボール紙、厚紙（菓子箱やラップの芯等）
		牛乳パック	ダンボール	ダンボール、ボール紙、厚紙（菓子箱やラップの芯等）
		ボール紙・菓子箱・ティッシュペーパーの箱・手つけ紙袋等 ざつ紙（トイレトペーパーの芯・はがき・パンフレット・包装紙・名刺・メモ用紙等）	飲料用紙パック（300mL以上のもの）	※直接搬入紙類：新聞・チラシ、本・雑誌・雑紙、ダンボール
布類	ボロ布	布類全般・靴下・タオル・手ぬぐい等	衣類・布類	衣類、毛布、シャツ、カーテン、タオル、肌着等
プラスチック製容器包装	プラスチック製容器包装	袋（インスタントラーメン・お菓子・スナック等の袋、スーパーのレジ袋、野菜が入っているネット等） ラップ（弁当や魚などが載っているトレイのラップ等） トレイ（食品用のトレイ等） パック（コンビニ弁当の容器、卵パック、豆腐の容器、レトルト食品パック等） カップ（カップ入り麺・スープ・味噌汁の容器、バター・マーガリンの容器、プリン等の容器等） ボトル（化粧品・シャンプー・洗剤の容器、消臭・芳香剤の容器、食用油・ソースの容器等） チューブ（からし・ケチャップ・マヨネーズ・わさびのチューブ、化粧品・歯磨粉のチューブ、チューブのり等） ふた（ビン・ペットボトルのプラスチック製の蓋） その他、家具・電化製品の緩衝材（エアパッキン・発泡スチロール等） ※「プラマーク」の表示されたもの。	※可燃ごみとして収集（平成24年度から分別収集を予定）	
ペットボトル	ペットボトル	飲料・酒類・醤油・みりんの容器	ペットボトル	飲料用・酒類・醤油・みりんの容器
かん・金属類	かん類	飲料かん・菓子かん・缶詰かん・スプレーかん・金属製の茶筒等	びん・かん	飲料用・酒類・菓子類・その他の食料用のかん、スプレーかん 食料・飲料用のガラスびん ※金属類やガラス類は、不燃ごみとして収集（金属類は平成24年度から分別収集を予定）
	鉄くず類	オーブントースター・トースター・ガステーブル・カセットコンロ・ホットプレート 釜・トング・なべ・フライパン・やかん 傘の骨 自転車・カーテンレール・湯沸し器 石油ストーブ（ファンヒーターは除く） 波板タン その他アルミ・鉄・銅等の金属類でできているもの ※大きさ80cm×50cm×50cm以内・重さ20kgまで		
	びん類	びん類		
	ガラス類	板ガラス・ガラスのコップなど		
廃食用油	天ぷら油	植物性油のみ（ラード等動物性油はまぜない）	※可燃ごみとして収集（平成24年度から分別収集を予定）	

2 処理対象物の種類

リサイクルセンターにおける処理対象物は、本町と茅ヶ崎市から搬入される資源物とし、不燃ごみ及び粗大ごみについては「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」に基づき、第2期地域計画事業（平成24年度～）として別途整備予定の「茅ヶ崎・寒川粗大ごみ処理施設（仮称）」において処理するものとします。

（1）紙 類

現在、本町では分別収集した「紙類」を、クリーンセンターに搬入（保管）した後に再生処理業者へ引き渡していますが、茅ヶ崎市では分別収集した「古紙、ダンボール、飲料用紙パック」を直接再生処理業者に引き渡しており、直接搬入分のみを市の資源物選別処理施設で保管しています。

リサイクルセンター稼働後は、本町でも効率的な資源回収を行うために、茅ヶ崎市と同様に分別収集された紙類を直接再生処理業者に引き渡すようにし、「直接搬入紙類」のみを保管対象物と予定します。

（2）布 類

現在、本町では分別収集した「ボロ布」をクリーンセンターで保管しており、茅ヶ崎市でも分別収集した「衣類・布類」を市の資源物選別処理施設で保管しています。

リサイクルセンター稼働後も、両市町の「布類」を保管対象物とします。

（3）プラスチック製容器包装

現在、本町では平成17年度から「プラスチック製容器包装」の分別収集を実施していますが、茅ヶ崎市では分別収集されていません。

リサイクルセンター稼働後は、茅ヶ崎市でも分別収集を実施する計画であることから、両市町の「プラスチック製容器包装」を処理対象物と予定します。

（4）ペットボトル

現在、両市町とも「ペットボトル」の分別収集を実施しています。

リサイクルセンター稼働後も、両市町の「ペットボトル」を処理対象物とします。

（5）びん類

現在、本町では「びん類」を「ガラス類（板ガラス・ガラスコップ等）」とともに「びん・ガラス類」として分別収集しています。また、茅ヶ崎市では「びん・かん」混合で分別収集しており、ガラス類は不燃ごみとして収集しています。

リサイクルセンター稼働後は、茅ヶ崎市で「びん・かん」の別々収集を実施する計画であり、両市町の「びん類」を処理対象物としますが、本町の「ガラス類」については、不燃ごみとして分別します。

(6) かん・金属類

現在、本町では「かん類」を「鉄くず類」とともに「金属類」として分別収集しています。また、茅ヶ崎市では「びん・かん」混合で分別収集しており、金属類は不燃ごみとして収集しています。

リサイクルセンター稼働後は、茅ヶ崎市で「びん・かん」の別々収集を実施する計画であり、両市町の「かん類」を処理対象物とし、本町の「鉄くず類」と併せて、茅ヶ崎市の「金属類」も処理対象物と予定します。

(7) 廃食用油

現在、本町では「天ぷら油」の分別収集を実施していますが、茅ヶ崎市では分別収集されていません。

リサイクルセンター稼働後は、茅ヶ崎市でも分別収集を実施する計画であることから、両市町の「廃食用油」を処理対象物と予定します。

■処理対象物の種類

処理対象物	寒 川 町		茅 ヶ 崎 市	
直接搬入 紙 類	新聞・広告紙 雑誌・本・書籍 ダンボール 菓子箱・雑紙等	収集分を直接再生処理 業者へ引き渡し、直接搬 入分のみの保管を予定	新聞・チラシ 本・雑誌・雑紙 ダンボール	収集分は、現状どおり直 接再生処理業者へ引き渡 し、直接搬入分のみの保 管を予定
布 類	ボロ布	保管	衣類・布類	保管
プラスチック 製容器包装	プラスチック製 容器包装		プラスチック製 容器包装	平成24年度から分別収集 を予定
ペットボトル	ペットボトル		ペットボトル	
びん類	びん類	ガラス類を不燃ごみとし て分別	びん類	平成24年度から、かん類 との別々収集を予定
かん・金属類	かん類		かん類	平成24年度からびん類と の別々収集を予定
	鉄くず類	鉄くず類は別途分別する	金属類	平成24年度から金属類の 分別収集を予定
廃食用油	天ぷら油	保管	廃食用油	平成24年度から分別収集 を予定

3 処理対象物の収集容器

現在、本町ではかん類、びん・ガラス類及びペットボトルを集積場の回収容器（メッシュ袋、コンテナ）にそれぞれ入れることになっていますが、茅ヶ崎市ではびん・かん及びペットボトルをそれぞれ透明・半透明袋で収集しています。

リサイクルセンター稼働後も、現状の収集容器による搬入を基本としますが、茅ヶ崎市では将来的に袋収集を廃止し、本町と同様の回収容器で収集を行う方針としています。

(1) 収集容器の特徴

一般に、袋による収集を行った場合、袋自体がごみになるとともに、異物が混入する可能性も高いことから、選別残渣が搬入量の1～2割程度発生します。茅ヶ崎市の袋収集においても、びん・かんの残渣量が搬入量の17%、ペットボトルで9%、衣類・布類で12%となっています。（表2-2-3参照）

これに対して、コンテナ等の回収容器による収集は、袋収集に比べて異物の混入も少なく残渣の発生量は少なくなりますが、回収容器の配置や管理等が必要となります。

なお、プラスチック製容器包装については、形状や材質が様々であることから、袋収集が一般的となっており、本町でも指定袋による収集を行っています。

(2) 県内市町村の収集容器

神奈川県内の市町村についてみると、びん類は袋収集よりも回収容器の方が僅かに多く、かん類は袋収集の方が僅かに多く、ペットボトルは袋収集の方が多くなっています。

また、プラスチック製容器包装の分別収集を行っている自治体は、いずれも袋収集になっています。（表2-2-4参照）

■処理対象物の収集容器

区 分	寒 川 町		茅 ヶ 崎 市	
直接搬入紙類	新聞・広告紙 雑誌・本・書籍 ダンボール 菓子箱・雑紙等	品目ごとに ひもで結束	新聞・チラシ 本・雑誌・雑紙 ダンボール	品目ごとに ひもで結束
布 類	ボロ布	袋収集 (透明・半透明袋)	衣類・布類	袋収集 (透明・半透明袋)
プラスチック製 容器包装	プラスチック製 容器包装	袋収集 (町指定袋)	プラスチック製 容器包装	袋収集 (透明・半透明袋)
ペットボトル	ペットボトル	回収容器 (メッシュ袋)	ペットボトル	袋収集※ (透明・半透明袋)
びん類	びん類	回収容器 (コンテナ)	びん類	袋収集※ (透明・半透明袋)
かん・金属類	かん類	回収容器 (メッシュ袋)	かん類	袋収集※ (透明・半透明袋)
	鉄くず類	回収容器 (コンテナ)	金属類	回収容器を検討
廃食用油	天ぷら油	回収容器(コンテナ:透明 ボトル等に入れて)	廃食用油	回収容器(コンテナ:透明 ボトル等に入れて)を検討

※茅ヶ崎市の「ペットボトル」、「びん類」、「かん類」は将来的に回収容器による収集を行う

表 2-2-3 茅ヶ崎市資源物袋収集に伴う選別残渣発生量

区分\年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		3年間平均 構成比
		(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	
びん・かん	搬入量	2,984.93	100.0%	2,960.54	100.0%	2,882.50	100.0%	100.0%
	資源回収量	2,412.51	80.8%	2,450.28	82.8%	2,483.63	86.2%	83.2%
	残渣量	572.42	19.2%	510.26	17.2%	398.87	13.8%	16.8%
ペットボトル	搬入量	825.66	100.0%	804.05	100.0%	798.10	100.0%	100.0%
	資源回収量	709.01	85.9%	743.29	92.4%	750.21	94.0%	90.7%
	残渣量	116.65	14.1%	60.76	7.6%	47.89	6.0%	9.3%
衣類・布類	搬入量	926.44	100.0%	934.19	100.0%	1,043.66	100.0%	100.0%
	資源回収量	831.98	89.8%	762.80	81.7%	949.36	91.0%	87.6%
	残渣量	94.46	10.2%	171.39	18.3%	94.30	9.0%	12.4%

表 2-2-4 神奈川県内市町村のびん、かん等資源物収集容器

市町村	びん類	かん類	ペットボトル	プラスチック製 容器包装	備 考
横浜市	袋 (混合)			袋	びん・かん・ペット混合
川崎市	容器	袋 (混合)			かん・ペット混合
横須賀市	袋 (混合)			袋	びん・かん・ペット混合
平塚市	指定なし	コンテナ	袋	袋	
鎌倉市	コンテナ	コンテナ	袋	袋	
藤沢市	コンテナ	ネット袋	ネット袋	袋	
小田原市	袋	袋	袋	袋	
茅ヶ崎市	袋 (混合)			袋	びん・かん混合
逗子市	袋	袋	袋	袋	
相模原市	袋	袋	拠点回収	袋	
三浦市	袋	袋	袋	袋	
秦野市	コンテナ	ネット	袋	袋	
厚木市	コンテナ	コンテナ	網カゴ	袋	トレイのみ
大和市	コンテナ	コンテナ	回収ネット	袋	
伊勢原市	コンテナ	袋	袋	袋	
海老名市	袋	袋	指定なし	袋	
座間市	袋	袋	袋	袋	
南足柄市	指定なし	指定なし	コンテナ	袋	かん・びん・不燃ごみ
綾瀬市	カゴ	カゴ	カゴ	袋	
葉山町	袋	袋	袋	袋	
寒川町	コンテナ	メッシュ袋	メッシュ袋	袋	
大磯町	コンテナ	網カゴ	拠点回収	袋	
二宮町	袋	袋	袋	袋	
中井町	コンテナ	指定なし	指定なし	袋	
大井町	コンテナ	指定なし	袋	袋	
松田町	コンテナ	指定なし	指定なし	袋	
山北町	コンテナ	袋	回収ネット	袋	
開成町	コンテナ	コンテナ	袋	袋	
箱根町	分別ケース	分別ケース	袋	袋	
真鶴町	袋	袋	袋	袋	
湯河原町	コンテナ	コンテナ	指定なし	袋	
愛川町	袋	袋	袋	袋	トレイのみ
清川村	袋	袋	袋	袋	トレイのみ
袋	14	17	20	24	
回収容器	17	12	9	0	
指定なし	2	4	4	0	
計	33	33	33	24	

注) 各市町村のホームページより調査
指定なし: そのまま集積所に出す場合

4 処理対象物の搬出入

(1) 搬出入ルート、搬入時間帯

本町における搬出入ルート及び搬入時間帯は、建設用地が現寒川町クリーンセンター用地であることから、現状と同様の搬出入ルート及び搬入時間帯となります。

茅ヶ崎市の搬入ルートは、搬入先が現寒川町クリーンセンター用地となるため、市内から主に寒川町内の幹線道路等を経ることになります。

リサイクルセンター整備に伴う搬出入ルートについては、新たな茅ヶ崎市の搬入車両による影響や道路条件を調査し、必要に応じた安全対策や周辺環境も考慮して検討します。

■搬出入ルート、搬入時間帯

搬出入ルート	搬入ルート	検討中（県道：小谷→旭橋→施設） （県道：馬場→旭小学校→旭橋→施設）
	搬出ルート	検討中（同上ルートを使用し、県道を北上または南下）
搬入時間帯	収集車両	検討中 月～土曜日：9時～12時、13時～16時
	直接搬入車両	検討中 月～金曜日：9時～12時、13時～16時



図 2-2-1 搬出入ルート図

(2) 搬出入車の仕様、台数等

リサイクルセンターにおける搬出入車両の仕様、台数等は表 2-2-5,6 に示すとおりです。

表 2-2-5 資源物搬入車両の仕様、台数等

区 分	寒 川 町				茅 ヶ 崎 市			
	車 種	日延台数 (台/日)	時間平均 台数 (台/h)	ピーク時 台数 (台/h)	車 種	日延台数 (台/日)	時間平均 台数 (台/h)	ピーク時 台数 (台/h)
紙 類	自己搬入車	1	1	1	自己搬入車	3	1	1
布 類	2tパッカー車 2tダンプ車	2	1	1	2t平ボディ車	15	3	5
プラスチック 製容器包装	2tパッカー車	19	4	7	2tパッカー車	54	11	18
ペットボトル	2tダンプ車	7	2	3	2tパッカー車	28	6	10
かん・金属類	2tダンプ車				2tパッカー車			
びん類	2tダンプ車	3	1	1	2t平ボディ車	13	3	5
廃食用油	2tダンプ車	1	1	1	2t平ボディ車	1	1	1

表 2-2-6 資源物搬出車両の仕様、台数等

区 分	車 種	日延台数 (台/日)
紙 類	2tダンプ車	1
布 類	10tダンプ車	1
プラスチック 製容器包装	10tウィング車	1
ペットボトル	10tウィング車	1
かん・金属類	10tダンプ車	2
びん類	10tダンプ車	2
廃食用油	ローリー車	1

(3) 搬出入車の場内管理条件

搬入車両の臭気対策として、洗車スペースを確保します。

場内道路は、搬出入車両が円滑な流れとなるような車両動線とし、安全走行を第一に速度制限（20km/h 以下）を設けるとともに、できるだけ一方通行方式として一般車両等と交差しない動線計画とします。また、計量機の手前には適切な滞車スペースを設け、搬入車両のピーク時に対応します。

第3節 施設整備に係る法規制条件

1 都市計画の指定状況

建設用地は市街化調整区域にあり、現寒川町クリーンセンターが「寒川町ごみ焼却場（昭和56年12月19日決定 寒川町告示第51号）」として、都市計画決定されています。今回、既設のごみ焼却場を撤去し、新たにリサイクルセンターを整備することから、都市計画法第21条に基づき都市計画の変更手続きが必要となります。

■都市計画の指定状況

市街化調整区域内外	市街化調整区域
建ぺい率	50%
容積率	100%
高度地区	指定なし
防火地域	指定なし

2 関係法令及び条例

（1）土地利用規制及び設備等に関する法令

一般に、リサイクルセンター等ごみ処理施設を整備する場合、表2-3-1に示す土地利用に関する規制（1で述べた都市計画法を除きます。）や建設場所特有の設備基準等の立地規制に配慮する必要があります。

今回の計画施設の立地条件では、用地の一部に河川法の規制が適用される部分があります。

表 2-3-1 施設の設置、土地利用規制及び設備等に関する法令

法律名	適用範囲等
河川法	河川区域内の土地において工作物を新築し、改築し、又は除去する場合は河川管理者の許可が必要。
急傾斜の崩壊による災害防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域における、急傾斜地崩壊防止施設以外の設置、又は工作物の設置・改造の制限。
宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域内に、ごみ処理施設を建設する場合。
海岸法	海岸保全区域において、海岸保全施設以外の施設、又は工作物を設ける場合。
道路法	電柱、電線、水管、ガス管等、継続して道路を使用する場合。
都市緑地保全法	緑地保全地区内において、建築物その他の工作物の新築、改築又は増築をする場合。
自然公園法	国立公園又は国定公園の特別地域において工作物を新築し、改築し、又は増築する場合。国立公園又は国定公園の普通地域において、一定の基準を超える工作物を新築し、改築し、又は増築する場合。
鳥獣保護及び狩猟に関する法律	特別保護地区内において工作物を設置する場合。
農地法	工場を建設するために農地を転用する場合。
港湾法	港湾区域又は、港湾隣接地域内の指定地域において、指定重量を超える構築物の建設、又は改築をする場合。臨港地区内において、廃棄物処理施設の建設、又は改良をする場合。
都市再開発法	市街地再開発事業の施工地区内において、建築物その他の工作物の新築、又は改築等を行う場合。
土地区画整理法	土地区画整理事業の施行地区内において、建築物その他の工作物の新築、又は改築等を行う場合。
文化財保護法	土木工事によって「周知の埋蔵文化財包蔵地」を発掘する場合。
工業用水法	指定地域内の井戸（吐出口の断面積の合計が 6cm ² をこえるもの）により地下水を採取して、これを工業の用に供する場合。
建築物用地下水の採取の規制に関する法律	指定地域内の揚水設備（吐出口の断面積の合計が 6cm ² をこえるもの）により冷暖房設備、水洗便所、洗車設備の用に供する地下水を採取する場合。
建築基準法	51 条で都市計画決定がなければ、建築できないとされている。同上ただし書きでは、その敷地の位置が都市計画に支障ないと認めて許可した場合及び増築する場合はこの限りではない。建築物を建築しようとする場合、建築主事の確認が必要。なお、用途地域別の建築物の制限有り。
消防法	建築主事は、建築物の防火に関して、消防長又は消防署長の同意を得なければ、建築確認等は不可。重油タンク等は危険物貯蔵所として本法により規制。
航空法	進入表面、転移表面又は、平表面の上に出る高さの建造物の設置に制限。地表面又は水面から 60m 以上の高さの物件及び省令で定められた物件には、航空障害灯が必要。昼間において航空機から視認が可能であると認められる煙突、鉄塔等で地表又は水面から 60m 以上の高さのものには昼間障害標識が必要。
電波法	伝播障害防止区域内において、その最高部の地表からの高さが 31m を超える建築物その他の工作物の新築、増築等の場合。
有線電気通信法	有線電気通信設備を設置する場合。
有線テレビジョン放送法	有線テレビジョン放送施設を設置し、当該施設により有線テレビジョン放送の業務を行う場合。
高圧ガス取締法	高圧ガスの製造、貯蔵等を行う場合。
電気事業法	特別高圧（7,000V 以上）で受電する場合。高圧受電で受電電力の容量が 50kW 以上の場合。自家発電設備を設置する場合及び非常用予備発電装置を設置する場合。
労働安全衛生法	事業場の安全衛生管理体制等ごみ処理施設運営に関連記述が存在。

出典：ごみ処理施設整備の計画・設計要領

（２）環境保全関係法令等

リサイクルセンターの整備にあたっては、施設から発生する粉じん、騒音、振動、排水、悪臭等について関係法令や条例に適合する必要があります。

■環境保全関係法令等の状況

粉じん	リサイクルセンターは、大気汚染防止法上の粉じん発生施設ではないが、大気汚染防止法に加え労働安全衛生法に基づく作業環境面から粉じん対策が求められています。
騒音・振動	騒音規制法及び振動規制法の規定に基づき、県知事が規制地域を指定し、特定工場等(原動機の定格出力が 7.5kW 以上の圧縮機等を設置する場合)で発生する騒音・振動について規制基準を定めており、寒川町は県知事の定める指定地域となっています。 また、神奈川県では「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」第 32 条の規定に基づき、事業所において発生する騒音・振動の許容限度を定めており、寒川町は適用地域となっています。(各規制基準は表 2-3-2 及び表 2-3-3 参照)
悪 臭	悪臭防止法の規定に基づき、県知事が規制地域を指定し、規制対象地域内にある全ての工場・その他の事業場について規制基準を定めており、寒川町は県知事指定の規制地域となっています。(表 2-3-4 参照) また、神奈川県では「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」の規定に基づき、悪臭の防止に関する規制基準を定めるとともに、著しい悪臭を発生する行為を住居系地域において禁止する等の対策を行っており、寒川町は適用地域となっています。
排 水	施設から公共用水域へ排出される水は、水質汚濁防止法及び関連条例で定める排水基準値以下(表 2-3-5 参照)、また、公共下水道に排除される水にあつては、下水道法及び関連条例で定める水質基準値以下でなければなりません。

表 2-3-2 騒音の規制基準(建設用地の敷地境界)

法令等	用途地域	午前 8 時から 午後 6 時まで	午前6時から午前8時まで及 び午後6時から午後11時まで	午後 11 時から 午前 6 時まで
騒音規制法	その他の地域	55 デシベル	50 デシベル	45 デシベル
県条例	その他の地域	55 デシベル	50 デシベル	45 デシベル

注) その他の地域:市街化調整区域

表 2-3-3 振動の規制基準(建設用地の敷地境界)

法令等	用途地域	午前 8 時から 午後 7 時まで	午後 7 時から 午前 8 時まで
振動規制法	その他の地域	65 デシベル	55 デシベル
県条例	その他の地域	65 デシベル	55 デシベル

注) その他の地域:市街化調整区域

表 2-3-4 悪臭の規制基準

区 分	規制地域	規 制 基 準
敷地境界線上	2 種地域	臭気指数 15
気体排出口	排出口高さ 15m未満	法施行規則第 6 条の 2 第 1 項第 2 号により算出される臭気指数
排水水	2 種地域	臭気指数 31

注) 臭気指数=10×Log(臭気濃度)

表 2-3-5 水質汚濁防止法による排水基準

<有害物質>

排水基準を定める総理府令（昭和46年6月21日総令35）

項 目	許容限度 (mg/l)	項 目	許容限度 (mg/l)
カドミウム及びその化合物	0.1	1,1-ジクロロエチレン	0.2
シアン化合物	1	1,1,2-ジクロロエチレン	0.4
有機燐化合物	1	1,1,1-トリクロロエタン	3
鉛及びその化合物	0.1	1,1,2-トリクロロエタン	0.06
六価クロム化合物	0.5	1,3-ジクロロプロペン	0.02
砒素及びその化合物	0.1	チウラム	0.06
水銀及び有機水銀その他の水銀化合物	0.005	シマジン	0.03
アルキル水銀化合物	検出されないこと	チオベンガルブ	0.2
P C B	0.003	ベンゼン	0.1
トリクロロエチレン	0.3	セレン及びその化合物	0.1
テトラクロロエチレン	0.1	ほう素及びその化合物	海域以外 10、海域 230
ジクロロメタン	0.2	ふっ素及びその化合物	海域以外 8、海域 15
四塩化炭素	0.02	アモニア、アモニウム化合物	アモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの
1,2-ジクロロエタン	0.04	亜硝酸化合物及び硝酸化合物	亜硝酸化合物及び硝酸化合物の合計量 100

<生活環境項目> 排水基準を定める総理府令（昭和46年6月21日総令35）別表第二（第一条関係）

項 目	許 容 限 度
p H（水素イオン濃度）	海域以外 5.8～8.6 海域 5.0～9.0
B O D（生物化学的酸素要求量）	160mg/l（日間平均 120mg/l）
C O D（化学的酸素要求量）	160mg/l（日間平均 120mg/l）
S S（浮遊物質）	200mg/l（日間平均 150mg/l）
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 （鉱油類含有量）	5mg/l
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 （動植物油脂類含有量）	30mg/l
フェノール類含有量	5mg/l
銅含有量	3mg/l
亜鉛含有量	5mg/l
溶解性鉄含有量	10mg/l
溶解性マンガン含有量	10mg/l
クロム含有量	2mg/l
弗素含有量	15mg/l
大腸菌群数	日間平均 3,000 個/cm ³
窒素含有量	120mg/l（日間平均 60mg/l）
磷含有量	16mg/l（日間平均 8mg/l）

注）生活環境項目に係る基準は、一日の平均的な排水量 50m³ 以上の工場・事業場に適用する。

第4節 計画処理量

1 将来人口

(1) 寒川町

広域化実施計画における寒川町の将来人口は、本町の「一般廃棄物処理基本計画」（平成18年3月）における将来人口と同値です。

平成19年度における予測値49,780人を実績値の47,587人と比較すると、予測値の方が実績値よりも2,193人（4.6%）多くなっています。

(2) 茅ヶ崎市

広域化実施計画における茅ヶ崎市の将来人口と、市の「一般廃棄物処理基本計画」（平成20年3月）の将来人口は異なり、広域化実施計画における将来人口の方が僅かに少なくなっています。

平成19年度における実績値230,565人と比較すると、広域化実施計画の予測値230,144人は実績値よりも421人（0.2%）少なく、基本計画の予測値230,469人は実績値よりも僅か96人（0.04%）少なくなっている程度です。

表2-4-1 寒川町及び茅ヶ崎市の将来人口

単位：人

年 度		寒川町			茅ヶ崎市		
		実績値	基本計画	広域化計画	実績値	基本計画	広域化計画
実 績	平成15	46,809			226,106		
	平成16	47,166			227,659		
	平成17	47,457	48,961		228,430		
	平成18	47,456	49,351	49,351	228,889		228,879
	平成19	47,587	49,780	49,780	230,565	230,469	230,144
予 測	平成20		50,599	50,599		232,059	231,408
	平成21		51,707	51,707		233,649	232,673
	平成22		53,026	53,026		235,240	233,937
	平成23		53,223	53,223		236,112	234,765
	平成24		53,390	53,390		236,984	235,593
	平成25		53,526	53,526		237,856	236,421
	平成26		53,630	53,630		238,728	237,249
	平成27		53,701	53,701		239,600	238,077
	平成28		53,754	53,754		239,866	238,377
	平成29		53,772	53,772		240,132	238,677
	平成30		53,758	53,758		240,398	238,976
	平成31		53,712	53,712		240,664	239,276
	平成32		53,638	53,638		240,934	239,576
	平成33			53,593			239,281
	平成34			53,549			238,985

注) 実績値：各年度10月1日現在

基本計画：一般廃棄物処理基本計画（茅ヶ崎市：H20.3、寒川町：H18.3）

寒川町：平成10年10月1日の住民基本台帳に基づいた町企画課資料

茅ヶ崎市：平成19年度茅ヶ崎市推計人口による。

広域化計画：湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画（H20.3）

茅ヶ崎市：平成19年度茅ヶ崎市推計人口による。

2 リサイクルセンター処理量

(1) 寒川町

広域化実施計画では、平成17年度までの実績値を用いて排出量及び処理量を予測しており、寒川町のリサイクルセンター処理量は表2-4-2に示すとおりです。

平成18、19年度の実績値（搬出量ベース）と予測値を比較すると、いずれも実績値よりも予測値の方が多くなっており、前述の将来人口の差も影響しているものと考えられます。

表2-4-2 広域化実施計画によるリサイクルセンター処理量（寒川町）

単位:t/日									
年 度	紙類(直搬分)	布類	ペットボトル	プラ容器	びん類	かん・金属類	廃食用油	計	備 考
実 績	平成15		0.36	0.27		1.04	1.18	0.04	2.89
	平成16		0.42	0.30		0.98	1.05	0.05	2.80
	平成17		0.31	0.33	1.76	0.94	0.94	0.05	4.33
	平成18		0.44	0.33	1.97	0.98	1.05	0.05	4.82 搬出量ベース
	平成19		0.40	0.34	1.91	0.87	0.99	0.05	4.56 搬出量ベース
予 測	平成18	0.13	0.32	0.36	2.06	0.99	1.05	0.05	4.96 実施計画の予測値
	平成19	0.13	0.33	0.36	2.30	1.03	1.14	0.05	5.34 //
	平成20	0.13	0.33	0.37	2.44	1.04	1.16	0.05	5.52
	平成21	0.14	0.34	0.38	2.58	1.05	1.19	0.05	5.73
	平成22	0.14	0.35	0.39	2.64	1.06	1.22	0.05	5.85
	平成23	0.14	0.35	0.39	2.65	1.06	1.22	0.05	5.86
	平成24	0.14	0.35	0.39	2.65	1.05	1.23	0.05	5.86 稼働開始
	平成25	0.14	0.35	0.40	2.66	1.04	1.23	0.05	5.87
	平成26	0.14	0.35	0.40	2.66	1.03	1.23	0.05	5.86
	平成27	0.14	0.35	0.40	2.66	1.02	1.24	0.05	5.86
	平成28	0.14	0.35	0.41	2.66	1.01	1.24	0.05	5.86
	平成29	0.14	0.35	0.41	2.65	1.00	1.24	0.05	5.84
	平成30	0.14	0.35	0.41	2.65	0.99	1.24	0.05	5.83 稼働後7年目
	平成31	0.14	0.35	0.41	2.64	0.98	1.23	0.05	5.80
	平成32	0.14	0.35	0.41	2.64	0.97	1.23	0.05	5.79
	平成33	0.14	0.34	0.41	2.63	0.95	1.23	0.05	5.75
	平成34	0.14	0.34	0.41	2.62	0.94	1.23	0.05	5.73
最大値(H24～)		0.14	0.35	0.41	2.66	1.05	1.24	0.05	5.85

注) :ブロック全体のピーク年度における処理量
紙類(直搬分)の実績値は不明

(2) 茅ヶ崎市

広域化実施計画による茅ヶ崎市のリサイクルセンター処理量は、表2-4-3に示すとおりです。平成18、19年度の実績値と予測値を比較すると、紙類（直搬分）と布類に多少の差はあるが概ね整合しています。

表 2-4-3 広域化実施計画によるリサイクルセンター処理量（茅ヶ崎市）

単位:t/日									
年 度	紙類 (直搬分)	布類	ペットボトル	プラ容器	びん類	かん類	廃食用油	計	備 考
実績	平成15	0.62	2.50	2.01		8.38		13.51	
	平成16	0.59	2.40	2.22		8.15		13.36	
	平成17	0.62	2.53	2.26		8.18		13.59	
	平成18	0.69	2.55	2.20		8.11		13.55	
	平成19	0.56	2.86	2.19		7.90		13.51	
予測	平成18	0.68	2.32	2.20		5.24	2.83	13.27	実施計画の予測値
	平成19	0.68	2.32	2.19		5.12	2.82	13.13	〃
	平成20	0.69	2.14	2.21		5.11	2.90	13.05	
	平成21	0.71	2.20	2.24		5.09	2.98	13.22	
	平成22	0.73	2.26	2.27		5.08	3.05	13.39	
	平成23	0.74	2.33	2.29		5.05	3.13	13.54	
	平成24	0.76	2.98	2.32	4.73	5.02	3.20	19.25	稼動開始
	平成25	0.77	3.04	2.34	7.55	5.00	3.27	22.21	
	平成26	0.78	3.11	2.37	7.53	4.97	3.34	22.34	
	平成27	0.80	3.18	2.39	7.51	4.94	3.41	22.47	
	平成28	0.81	3.23	2.41	7.47	4.90	3.48	22.54	
	平成29	0.82	3.29	2.43	7.45	4.86	3.54	22.63	
	平成30	0.83	3.30	2.44	7.46	4.80	3.55	22.62	稼動後7年目
	平成31	0.83	3.31	2.44	7.46	4.75	3.56	22.59	
	平成32	0.83	3.31	2.44	7.47	4.69	3.56	22.54	
	平成33	0.83	3.30	2.44	7.46	4.62	3.56	22.45	
	平成34	0.83	3.47	2.44	7.46	4.56	3.56	22.56	
最大値 (H24～)		0.83	3.47	2.44	7.55	5.02	3.56	0.24	22.87

注) :ブロック全体のピーク年度における処理量

表 2-4-4 広域化実施計画によるリサイクルセンター処理量（寒川町＋茅ヶ崎市）

単位:t/日									
年 度	紙類 (直搬分)	布類	ペットボトル	プラ容器	びん類	かん・金属類	廃食用油	計	備 考
実績	平成15	0.62	2.86	2.28	0.00	9.42	1.18	0.04	16.40
	平成16	0.59	2.82	2.52	0.00	9.13	1.05	0.05	16.16
	平成17	0.62	2.84	2.59	1.76	9.12	0.94	0.05	17.92
	平成18	0.69	2.99	2.53	1.97	9.09	1.05	0.05	18.37
	平成19	0.56	3.25	2.52	1.91	8.75	0.99	0.05	18.03
予測	平成18	0.81	2.64	2.56	2.06	6.23	3.88	0.05	18.23
	平成19	0.81	2.65	2.55	2.30	6.15	3.96	0.05	18.47
	平成20	0.82	2.47	2.58	2.44	6.15	4.06	0.05	18.57
	平成21	0.85	2.54	2.62	2.58	6.14	4.17	0.05	18.95
	平成22	0.87	2.61	2.66	2.64	6.14	4.27	0.05	19.24
	平成23	0.88	2.68	2.68	2.65	6.11	4.35	0.05	19.40
	平成24	0.90	3.33	2.71	7.38	6.07	4.43	0.29	25.11
	平成25	0.91	3.39	2.74	10.21	6.04	4.50	0.29	28.08
	平成26	0.92	3.46	2.77	10.19	6.00	4.57	0.29	28.20
	平成27	0.94	3.53	2.79	10.17	5.96	4.65	0.29	28.33
	平成28	0.95	3.58	2.82	10.13	5.91	4.72	0.29	28.40
	平成29	0.96	3.64	2.84	10.10	5.86	4.78	0.29	28.47
	平成30	0.97	3.65	2.85	10.11	5.79	4.79	0.29	28.45
	平成31	0.97	3.66	2.85	10.10	5.73	4.79	0.29	28.39
	平成32	0.97	3.66	2.85	10.11	5.66	4.79	0.29	28.33
	平成33	0.97	3.64	2.85	10.09	5.57	4.79	0.29	28.20
	平成34	0.97	3.81	2.85	10.08	5.50	4.79	0.29	28.29
最大値 (H24～)		0.97	3.81	2.85	10.21	6.07	4.79	0.29	28.70

注) :ブロック全体のピーク年度における処理量
紙類 (直搬分) の実績値は茅ヶ崎市分のみ。(寒川町分は不明)

3 月変動係数

広域化実施計画では、主に平成13年度～平成17年度までの月別搬入実績を用いて計画月最大変動係数を設定しており、新たに平成18、19年度の実績も加えると表2-4-5、6に示すとおりです。

表2-4-5 月変動係数（寒川町）

区分	広域化実施計画		寒川町月最大変動係数					
	寒川町	ブロック平均	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平均
新聞	1.77	1.39	2.11	1.49	2.07	1.53	1.44	1.73
雑誌	1.26	1.23	1.26	1.20	1.23	1.13	1.24	1.21
ダンボール	1.25	1.20	1.28	1.21	1.33	1.32	1.27	1.28
紙類平均	1.43	1.27	1.55	1.30	1.54	1.33	1.32	1.41
布類	1.57	1.51	1.67	1.51	1.54	1.34	1.43	1.50
牛乳パック	1.55	1.36	1.61	1.53	1.73	1.36	1.91	1.63
ペットボトル	1.51	1.39	1.40	1.56	1.51	1.40	1.42	1.46
プラ容器		1.14			1.20	1.15	1.17	1.17
びん類	1.29	1.24	1.28	1.32	1.36	1.40	1.53	1.38
かん・金属類	1.26	1.21	1.18	1.19	1.10	1.09	1.15	1.14
廃食用油			1.71	1.78	1.55	1.47	1.29	1.56
備考	H13～17平均	2市1町平均	搬出量へース	搬出量へース	搬出量へース	搬出量へース	搬出量へース	5年平均

表2-4-6 月変動係数（茅ヶ崎市）

区分	広域化実施計画		茅ヶ崎市月最大変動係数					
	茅ヶ崎市	ブロック平均	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平均
新聞	1.26	1.39	1.26	1.27	1.17	1.26	1.22	1.24
雑誌	1.26	1.23	1.28	1.26	1.21	1.43	1.15	1.27
ダンボール	1.20	1.20	1.23	1.17	1.19	1.27	1.23	1.22
紙類平均	1.24	1.27	1.26	1.23	1.19	1.32	1.20	1.24
布類	1.50	1.51	1.53	1.38	1.61	1.37	1.51	1.48
牛乳パック		1.36	1.29	1.41	1.27	1.22	1.10	1.26
ペットボトル	1.35	1.39	1.17	1.34	1.53	1.55	1.44	1.41
プラ容器		1.14						
びん類	1.19	1.24	1.18	1.23	1.22	1.14	1.15	1.18
かん類		1.21						
備考	H13～17平均	2市1町平均						5年平均

4 施設整備規模

広域化実施計画では、以下の式によりリサイクルセンターの施設整備規模を設定しています。

$$\text{施設整備規模} = \text{計画処理量} \times \text{月変動係数} \div \text{稼働率} (0.67)$$

このうち、計画処理量は広域でリサイクルセンターの施設整備に取り組むことのメリットを引き出すために、品目ごとに湘南東ブロック全体の処理量がピークとなる年度の処理量を計画処理量のベースとすることにより、全体の施設整備規模を小さくすることとしています（2施設体制により処理量オーバー分に対応）。

処理量のピーク年度については、従来の国庫補助要綱において施設稼働開始後7年以内（今回は平成24～30年度）とされていますが、今回は人口増加のピークがブロック全体で平成32年度になること、リサイクル品目ごとの分別収集ヘシフトする割合が2市1町で異なること等により、品目によっては処理量のピーク年度が稼働後7年を超えるものがあることから、平成34年度までの期間でピーク年度を設定しています。

なお、寒川町の人口は、平成19年度において予測値が実績値よりも2,193人（4.6%）多くなっており、処理量も予測値が実績値よりも多くなっています。そこで、平成19年度における人口の差（4.6%）を考慮することにより、寒川町の計画処理量を見直します。

月変動係数については、最大月の処理がその期間内に処理できる能力を有するものとして、品目ごとの月別実績量から設定しています。

稼働率については、施設休止日を土・日曜日104日、定期補修期間12日、年末年始4日とし、年間稼働日数を245日として0.67としています。

以上のことから、リサイクルセンター施設整備規模を算出すると、表2-4-7に示すように55.5t/日となります。

表2-4-7 リサイクルセンター施設整備規模

区 分	計画処理量 (t/日)				月変動係数		施設整備規模 (t/日)		
	寒川町		茅ヶ崎市	計	寒川町	茅ヶ崎市	寒川町	茅ヶ崎市	計
	予測値	人口補正值							
紙類(直搬分)	0.14	0.13	0.82	0.95	1.41	1.24	0.5	1.5	2.0
布 類	0.34	0.32	3.47	3.79	1.50	1.48	1.0	7.5	8.5
ペットボトル	0.41	0.39	2.44	2.83	1.46	1.41	1.0	5.0	6.0
プラスチック製容器包装	2.64	2.52	7.47	9.99	1.17	(1.17)	4.5	13.0	17.5
びん類	1.05	1.00	5.02	6.02	1.38	(1.38)	2.0	10.5	12.5
かん・金属類	1.23	1.17	3.56	4.73	1.14	(1.14)	2.0	6.0	8.0
廃食用油	0.05	0.05	0.24	0.29	1.56	(1.56)	0.5	0.5	1.0
計	5.86	5.53	23.02	28.55			11.5	44.0	55.5

計画処理量：寒川町（人口補正值）＝予測値×0.954（人口の差による補正）

月変動係数：紙類は新聞・雑誌・ダンボールの平均値。茅ヶ崎市のプラ容器、びん類、かん類、廃食用油は寒川町の値
施設整備規模：計画処理量×月変動係数÷稼働率（0.67）

稼働率（0.67）：（365日－停止日数120日）÷365日

停止日数120日：土日曜日104日＋定期補修12日＋年末年始4日

施設整備規模は0.3t/日未満を切り捨てて0.5t/日単位で表示

但し、寒川町の紙類（直搬分）と廃食用油は0.3t/日未満となるため、0.5t/日とした。

第5節 計画ごみ質

1 処理対象物の組成

リサイクルセンターに搬入される資源物の組成は、表 2-5-1 のとおりです。また、搬入資源物の選別内訳組成は、表 2-5-2 に示すように両市町の過去 3 年間における選別内訳実績を基に設定し、プラスチック製容器包装については他都市の事例より設定しました。

表 2-5-1 搬入資源物の組成

区 分	規模 (t/日)	組成 (%)	備 考
直接搬入紙類	2.0	3.6%	新聞・チラシ、本・雑誌・雑紙、ダンボール
布 類	8.5	15.3%	
ペットボトル	6.0	10.8%	
プラスチック製容器包装	17.5	31.5%	
びん類	12.5	22.5%	寒川町：リターナブルびん含む
かん・金属類	8.0	14.4%	茅ヶ崎市：かん類のみ
廃食用油	1.0	1.8%	
合 計	55.5	100.0%	

表 2-5-2 搬入資源物の選別内訳組成

区 分		寒川町		茅ヶ崎市		合 計		備 考
		(t/日)	組成	(t/日)	組成	(t/日)	組成	
直接搬入紙類	新聞・チラシ					0.2	8.2%	茅ヶ崎市の過去3年間平均組成(資料2-3下表参照)
	本・雑誌・雑紙					1.2	63.2%	
	ダンボール					0.6	28.6%	
	計	0.5	100.0%	1.5	100.0%	2.0	100.0%	
布 類		1.0	100.0%	7.5	100.0%	8.5	100.0%	
ペットボトル	資源回収物	1.0	100.0%	4.5	90.7%	5.5	91.7%	茅ヶ崎市：過去3年間平均組成(資料2-3参照)
	選別残渣			0.5	9.3%	0.5	8.3%	
	計	1.0	100.0%	5.0	100.0%	6.0	100.0%	
プラスチック製容器包装	資源回収物					14.0	80.0%	他都市の事例組成
	選別残渣					3.5	20.0%	
	計	4.5	100.0%	13.0	100.0%	17.5	100.0%	
びん類	リターナブルびん	0.1	2.5%			0.1	0.8%	両市町の過去3年間平均組成(資料1-3、2-3参照)
	カレット(無色)	1.0	51.4%	4.5	43.4%	5.5	44.0%	
	カレット(茶色)	0.6	31.7%	2.8	26.9%	3.4	27.2%	
	カレット(その他色)	0.3	14.4%	1.4	12.9%	1.7	13.6%	
	選別残渣			1.8	16.8%	1.8	14.4%	
	計	2.0	100.0%	10.5	100.0%	12.5	100.0%	
かん・金属類	スチール缶	0.5	25.6%	3.0	50.5%	3.5	44.0%	両市町の過去3年間平均組成(茅ヶ崎市のスプレー缶組成は寒川町のスチール・アルミ缶に占める比率を用いた)(資料1-3、2-3参照)
	アルミ缶	0.3	16.2%	1.9	32.1%	2.2	27.7%	
	スプレー缶	0.01	0.3%	0.1	0.6%	0.1	1.3%	
	鉄	1.1	55.6%			1.1	13.8%	
	アルミガラ	0.1	2.3%			0.1	0.6%	
	選別残渣			1.0	16.8%	1.0	12.6%	
	計	2.0	100.0%	6.0	100.0%	8.0	100.0%	
廃 食 用 油		0.5	100.0%	0.5	100.0%	1.0	100.0%	
合 計		11.5		44.0		55.5		

注) 各市町の平成17～19年度の組成比率平均値を用いた。(共通の組成比率を用いる場合は合計量のみ表示)
茅ヶ崎市のペットボトル、びん類、かん類は袋収集。プラ容器は両市町とも袋収集。

2 処理対象物の見掛け比重

リサイクルセンターに搬入される資源物の見掛け比重は、本町の平成17年度調査結果及び茅ヶ崎市の平成18年度調査結果より、表2-5-3のとおりとします。

表 2-5-3 処理対象物の見掛け比重

区 分	寒川町		茅ヶ崎市		全 体		参考値
	規模 (t/日)	比重(t/m ³)	規模 (t/日)	比重(t/m ³)	規模 (t/日)	比重(t/m ³)	
直接搬入紙類	0.5	0.076	1.5	0.117	2.0	0.107	0.08～0.15
布 類	1.0	0.090	7.5	0.108	8.5	0.106	0.1～0.15
ペットボトル	1.0	0.038	5.0	0.048	6.0	0.046	0.02～0.05
プラスチック製容器包装	4.5	0.031	13.0	0.040	17.5	0.038	0.01～0.03
びん類	2.0	0.415	10.5	0.439	12.5	0.435	0.2～0.65
かん類	2.0	0.168	6.0	0.118	8.0	0.131	0.03～0.1
廃食用油	0.5	0.890	0.5	0.890	1.0	0.890	
合 計	11.5		44.0		55.5		

注) 寒川町の見掛け比重は平成17年度調査結果より、茅ヶ崎市は平成18年度調査結果より。

廃食用油の比重は、他都市の事例より。但し、搬入時はペットボトルや樹脂ボトル等に入れた状態。

全体の見掛け比重は、両市町の見掛け比重を基に加重平均により算出した。

参考値:「ごみ処理施設整備の計画・設計要領」((社)全国都市清掃会議)における参考値

表 2-5-4 資源物見掛け比重の調査結果

単位:t/m³

区 分		寒川町 (平成17年度)			茅ヶ崎市 (平成18年度)					
		家庭系ごみ			家庭系ごみ			事業系ごみ		
		可燃ごみ	不燃ごみ	全体	可燃ごみ	不燃ごみ	全体	可燃ごみ	不燃ごみ	全体
ペットボトル		0.035	0.040	0.038	0.205	0.040	0.050	0.036	0.058	0.042
その他プラスチック製容器包装		0.021	0.043	0.031	0.027	0.053	0.038	0.042	0.079	0.052
	内発泡トレイ	0.028	0.050	0.030	0.024	0.031	0.024	0.023		0.023
飲料用紙パック		0.032		0.032	0.038	0.032	0.038	0.050		0.050
ダンボール		0.068	0.040	0.063	0.082	0.500	0.084	0.125		0.125
その他紙製容器包装		0.034	0.053	0.035	0.036	0.109	0.037	0.048		0.048
古紙類		0.071	0.517	0.076	0.119	0.152	0.120	0.113		0.113
布類		0.093	0.086	0.090	0.123	0.088	0.104	0.141		0.141
かん類	スチール缶	0.207	0.239	0.235	0.178	0.163	0.163	0.180	0.070	0.070
	アルミ缶	0.110	0.119	0.119	0.072	0.123	0.116	0.081	0.500	0.106
	計	0.167	0.168	0.168	0.116	0.156	0.155	0.105	0.070	0.071
びん類	ワンウェイビン	0.650	0.381	0.383	1.200	0.434	0.435		0.471	0.471
	リターナブルビン		0.800	0.800					0.539	0.539
	計	0.650	0.414	0.415	1.200	0.434	0.435		0.506	0.506

第3章 施設基本計画

第1節 処理システム計画

1 受入・供給システム

受入・供給システムは、資源物の搬出入を管理する計量機、搬入資源物を一時貯留する受入ヤード又は受入ピット、受入ホッパ、受入コンベヤ等で構成されます。なお、搬入された資源物のうち直接搬入紙類、布類、鉄くず類及び廃食用油については選別処理等を行わないため、直接貯留・搬出することとし、びん類、かん類、ペットボトル、及びプラスチック製容器包装を受入ホッパ等へ投入します。

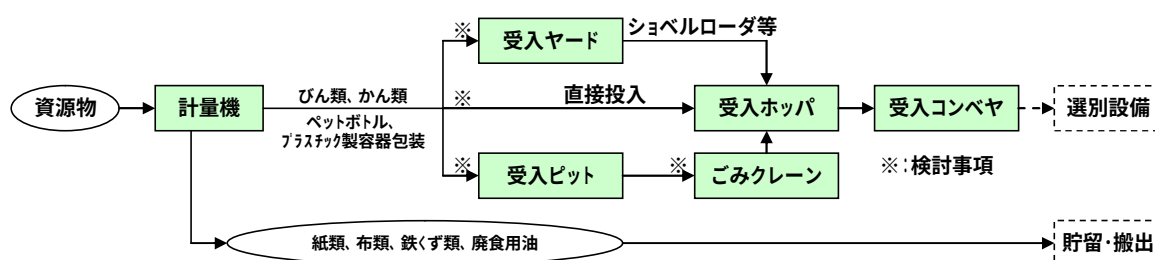


図 3-1-1 受入・供給フロー

受入ホッパへの投入方法としては、収集・運搬車からの直接投入、受入ピットからクレーンによる投入、受入ヤードからショベルローダ等による投入、ダンピングボックスからの投入、コンテナによる投入方式があります。（表 3-1-1 参照）

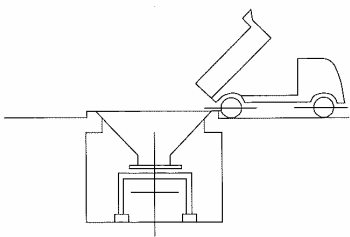
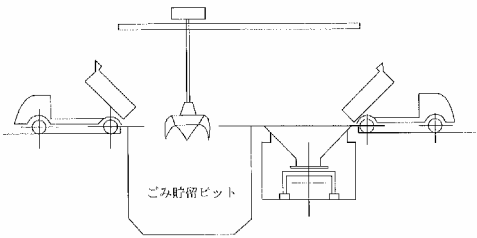
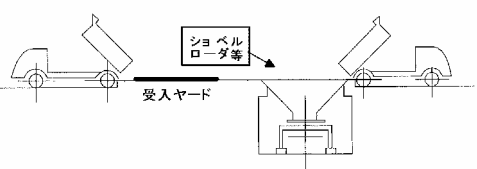
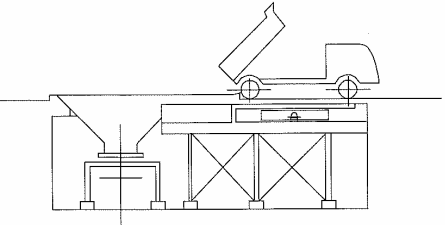
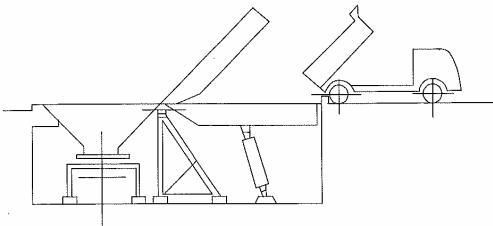
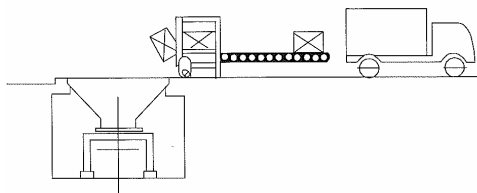
このうち受入ピット及び受入ヤードは、搬入量の変動や処理設備の緊急点検並びに補修（1～2 日程度）に対応するためのもので、その容量は最低 1～2 日分程度確保する必要があります。

受入ピットは、比較的中規模以上（一系列 20t/日以上）の施設に適用され、ピット内から受入ホッパへ供給するためのクレーンを設置する必要があります。クレーンの運転には資格が必要であり、構成機器の保守点検や維持管理が必要となります。また、ピット内の臭気や汚水対策も必要となります。

受入ヤードは、比較的小規模（一系列 20t/日以下）の施設に適用され、構造が簡単でショベルローダ等でヤードから受入ホッパへ供給することになります。また、ヤードの構造により集積する高さの目安は以下のとおりです。

- ・平面構造の場合：概ね 1m 程度
- ・囲いを設ける場合：概ね 2m 程度
- ・コンテナ積みの場合：概ね 2～3m 程度

表 3-1-1 受入ホッパへの投入方式の種類と概要

方式		概要図	概要
直接投入方式			搬入車両から直接、受入ホッパに投入する方式。
ピットアンド クレーン方式 (直接投入と併用)			搬入車両から一旦、受入ピットに投入し、クレーンで受入ホッパに供給する方式。
受入ヤード方式 (直接投入と併用)			搬入車両から一旦、受入ヤードに降ろし、ショベルローダ等で受入ホッパに供給する方式。
ダンピング ボックス投入方式	プッシャ方式		搬入車両から一旦、ダンピングボックスに投入し、ボックス上での選別作業や受入ホッパへの適時供給機能を有する。
	傾胴方式		主に、搬入ごみに含まれる危険物や処理困難物を事前に選別除去するために用いられる。 受入ホッパへの供給は、台を傾斜する傾胴方式と、台を固定し押し出すプッシャ方式とがあり、それぞれ油圧力等により作動。
コンテナ投入方式			コンテナにより収集された資源物等を受入ホッパに投入する方式。

(1) びん類

本町のびん類は専用コンテナにより搬入され、リターナブルびんも含まれるため、一旦受入ヤードに降ろし、リターナブルびんを回収した後に受入ホッパへ投入します。また、受入ホッパへの投入については、「コンテナ投入方式」を導入します。

茅ヶ崎市のびん類は袋により搬入されるため、基本的には受入ホッパへの直接投入方式とし、搬入量の変動や緊急時の対応として受入ヤードにより貯留します。

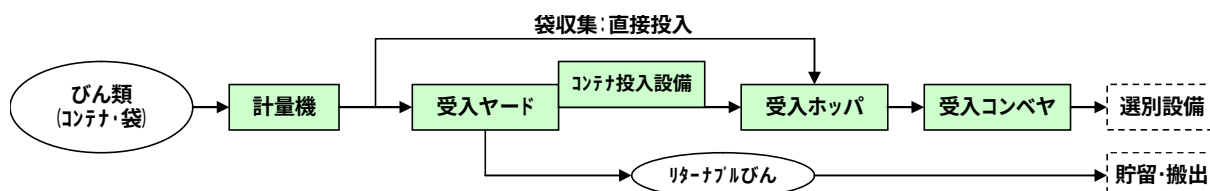


図 3-1-2 びん類受入・供給フロー

(2) かん類

本町のかん類は専用メッシュ袋により搬入され、メッシュ袋を開く作業が必要のため、一旦受入ヤードに降ろし開く作業をした後に、ショベルローダ等で受入ホッパへ投入します。茅ヶ崎市のかん類は袋により搬入されるため、基本的には受入ホッパへの直接投入方式とし、搬入量の変動や緊急時の対応として受入ヤードにより貯留します。

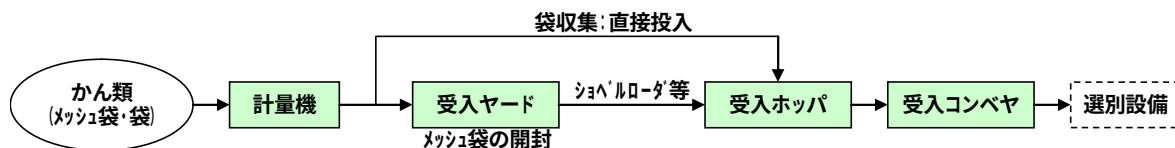


図 3-1-3 かん類受入・供給フロー

(3) ペットボトル

本町のペットボトルは専用メッシュ袋により搬入されるため、一旦受入ヤードに降ろし開く作業をした後に、ショベルローダ等で受入ホッパへ投入します。茅ヶ崎市は袋により搬入されるため、基本的には受入ホッパへの直接投入方式とし、搬入量の変動や緊急時の対応として受入ヤードにより貯留します。

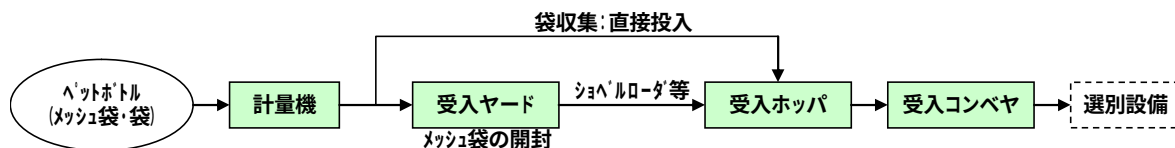


図 3-1-4 ペットボトル受入・供給フロー

(4) プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装は両市町とも袋により搬入され、基本的には受入ホッパへの直接投入方式としますが、他の資源物に比べて搬入量が多いため、その変動や緊急時の対応として受入ヤード又は受入ピットにより貯留します。

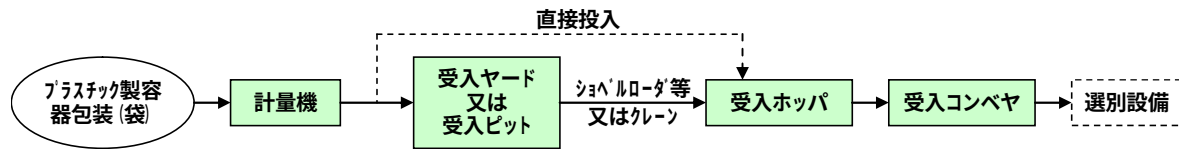


図 3-1-5 プラスチック製容器包装受入・供給フロー

2 選別・再生（圧縮）システム

選別・再生（圧縮）システムは、受入・供給された資源物を選別し、目的の有価物を回収するためのシステムで、破除袋機（袋収集の場合）、選別機、圧縮機、圧縮梱包機等で構成されます。

受入コンベヤから供給されたびん類、かん類、ペットボトル、及びプラスチック製容器包装の選別・再生（圧縮）処理システムは以下のとおりとします。

（1）びん類

茅ヶ崎市のびん類は袋により搬入されるため、破除袋機により袋を除去した後に選別します。びん類の選別方式には、「自動色選別方式」と「手選別方式」があります。

自動色選別方式は、搬送コンベヤ上で不適物を除去（手選別）し、整列装置等により識別しやすいように並べた後に自動色選別装置によりカレットの色選別等を行います。自動色選別装置は、電磁波（可視光線等）を照射して色を選別判定し、エア等を利用して機械的に分離選別させるもので、物体の形状をあらかじめ記憶させることにより、リターナブルびんの形状選別も可能となっています。しかし、搬入物に汚れたものや割れたもの等の混入による選別精度の低下や、割れたものを残渣として扱う可能性があるため回収率も低下する可能性があります。特に袋収集の場合は、汚れたものや割れたもの等が混入する可能性が高くなり、100%近い選別純度を確保するためには、自動色選別されたものを再度確認する「精選コンベヤ」を設置し手選別をする必要があります。

手選別方式は、平ベルトコンベヤ上で人的に選別する方式で、古くから採用されており、自動色選別方式に比べて機器構成がシンプルで、設置スペースも小さく維持管理も容易で経済的にも安価です。なお、作業環境には配慮する必要があります。

以上のことから、リサイクルセンターでは「手選別方式」の採用が妥当と考えられます。

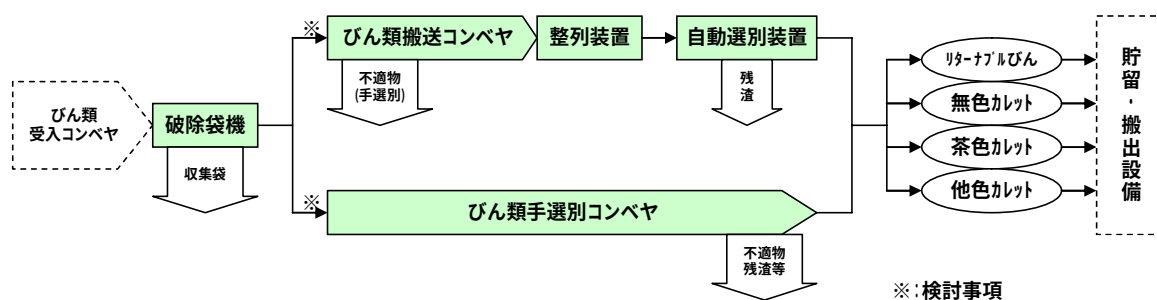


図 3-1-6 びん類選別フロー

（2）かん類

茅ヶ崎市のかん類は袋により搬入されるため、破除袋機により袋を除去した後に選別します。破除袋後のかん類を、搬送コンベヤ上で不適物とスプレー缶を手選別し、磁選機によりスチール缶を回収した後に、アルミ缶を回収します。また、アルミ缶の回収にあたっては、回収精度をあげるためにアルミ選別機を設置します。

選別されたスチール缶とアルミ缶は、それぞれ金属圧縮機により圧縮成型します。

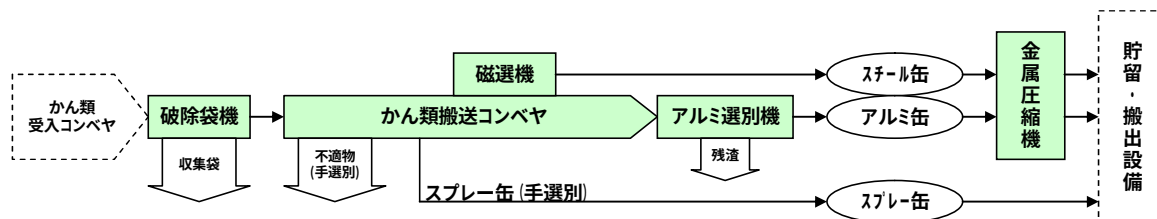


図 3-1-7 かん類選別・再生フロー

(3) ペットボトル

茅ヶ崎市のペットボトルは袋により搬入されるため、破除袋機により袋を除去した後、選別します。破除袋後のペットボトルを、コンベヤ上で不適物を除去（手選別）し、圧縮梱包機により圧縮梱包します。なお、圧縮梱包品の寸法については、容器包装リサイクル協会が以下の寸法を推奨しています。

- ・ 600mm×400mm×300mm
- ・ 600mm×400mm×600mm
- ・ 1,000mm×1,000mm×1,000mm

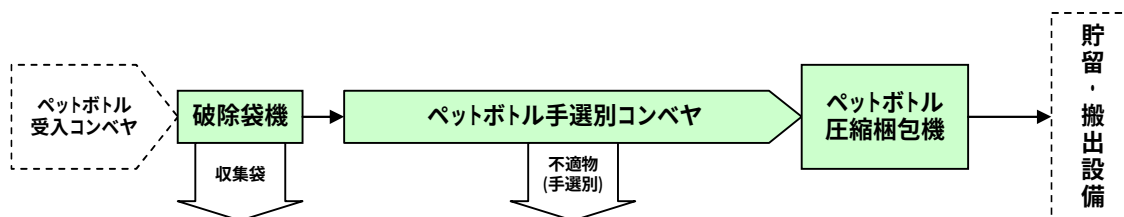


図 3-1-8 ペットボトル選別・再生フロー

(4) プラスチック製容器包装

袋により搬入されたプラスチック製容器包装は破袋機により破袋し、後段の手選別作業の負荷を軽減するために、風力及び比重差等により軽量プラスチック製容器包装と重量プラスチック製容器包装及び残渣に選別します。さらに、各コンベヤ上で不適物等を除去（手選別）し、圧縮梱包機により圧縮梱包します。なお、圧縮梱包品の寸法については、容器包装リサイクル協会がペットボトルと同様の寸法を推奨しています。

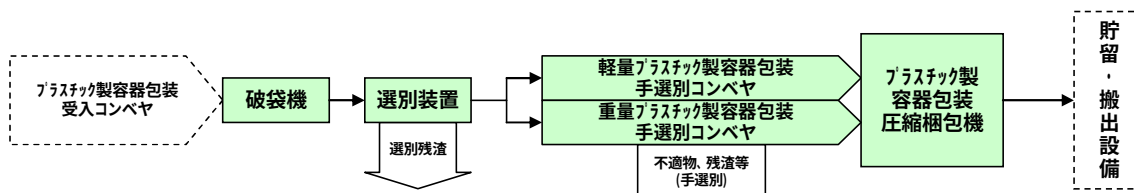


図 3-1-9 プラスチック製容器包装選別・再生フロー

3 貯留・搬出システム

選別・再生（圧縮）された有価物や選別残渣等を、円滑に貯留・搬出できる構造とします。

なお、貯留容量については「容器包装廃棄物の分別収集に関する省令」でスチール缶、アルミ缶、びん類（カレット）、飲料用紙パック、ペットボトル、及びプラスチック製容器包装については、10t車1台分の貯留容量を規定しています。

貯留方法には、貯留ホップ方式、貯留ヤード方式、コンパクタ方式、コンパクタコンテナ方式、コンテナ方式、ピット方式及びサイロ方式がありますが、資源物等の貯留には貯留ヤード方式もしくは貯留ホップ方式が一般的となっています。

貯留ホップ方式は、直接搬出車に積み込むことができるため、びん類（カレット）や選別残渣等の貯留・搬出に適用できますが、貯留容量が比較的小さいため一日に数回搬出する場合もあり、かん類やプラスチック類の圧縮成型品の貯留は難しくなります。

貯留ヤード方式は、搬出車に積み込むのにショベルローダやフォークリフトが必要となりますが、構造が簡単で貯留ホップよりも大きな容量を確保でき、経済的な配置が可能です。

リサイクルセンターでは、選別・再生（圧縮）されたびん類（カレット）、かん類（スチール缶・アルミ缶）、ペットボトル、及びプラスチック製容器包装を10t車で搬出する計画であることから、10t車1台分の貯留容量を確保するために貯留ヤード方式とします。また、鉄くず類については直接貯留ヤードに搬入し、鉄類とアルミ類に分けて貯留・搬出します。

直接搬入紙類、布類、廃食用油、金属類についても直接貯留ヤードに搬入し、品目ごとに貯留・搬出します。なお、廃食用油については専用のタンクに貯留します。

資源選別残渣については、袋等の飛散しやすいものが多いため貯留ホップ方式とし、可燃物残渣と不燃物残渣に分け、それぞれをホップで貯留します。

4 処理フローシート

1～3で検討した各システムに基づき、リサイクルセンターの処理フローシートを整理すると、次図に示すとおりです。

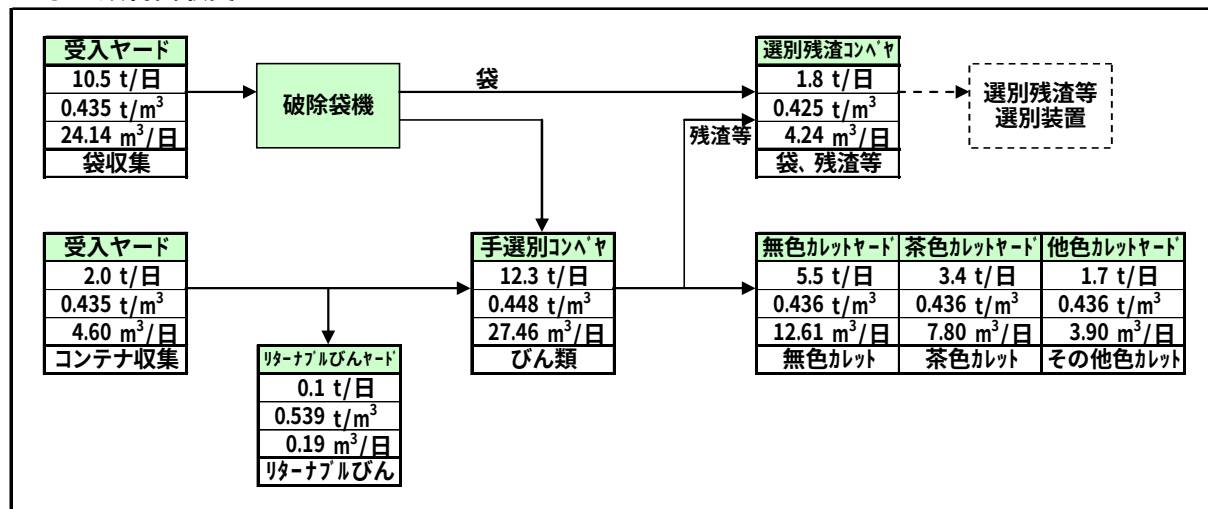
■リサイクルセンター 処理フローシート

[illegible]

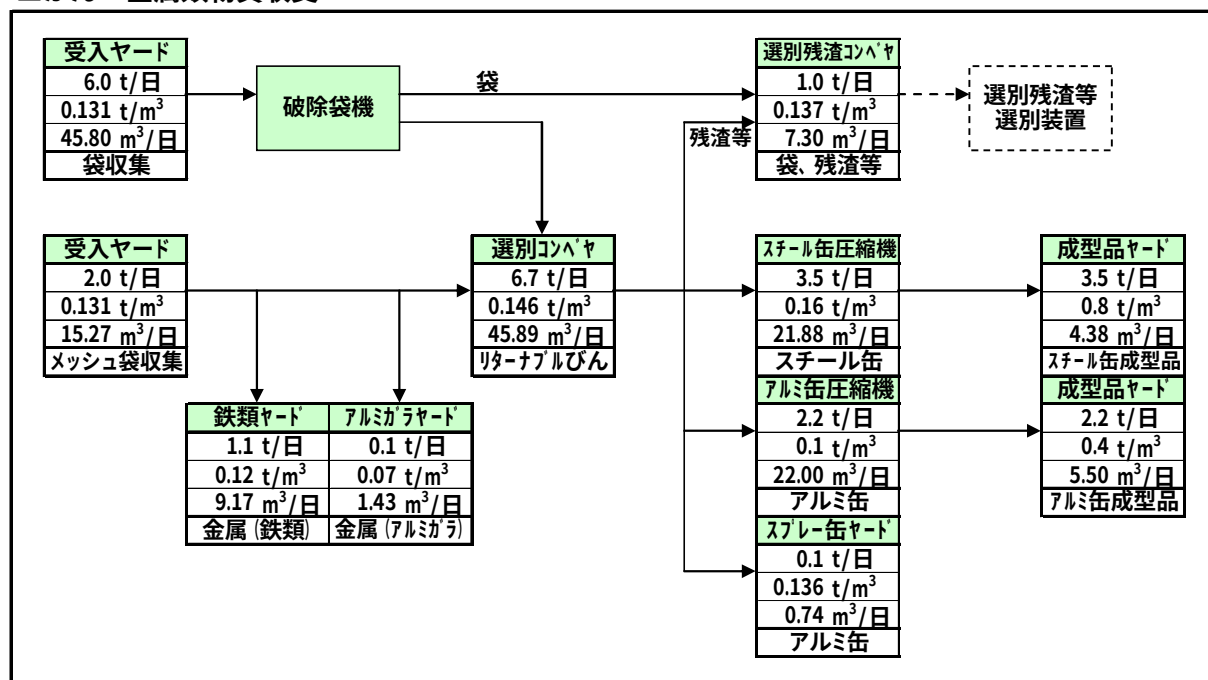
5 物質収支の算定

リサイクルセンターにおける処理対象物ごとの物質収支を以下のとおりとします。

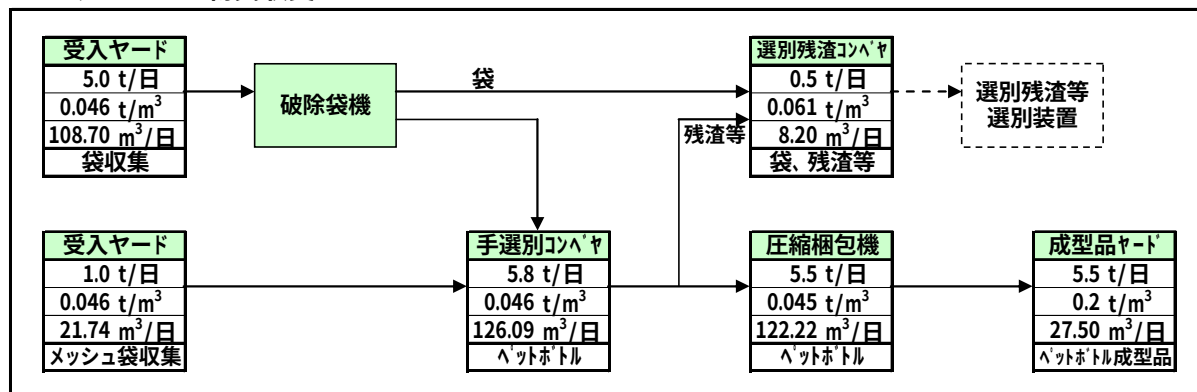
■びん類物質収支



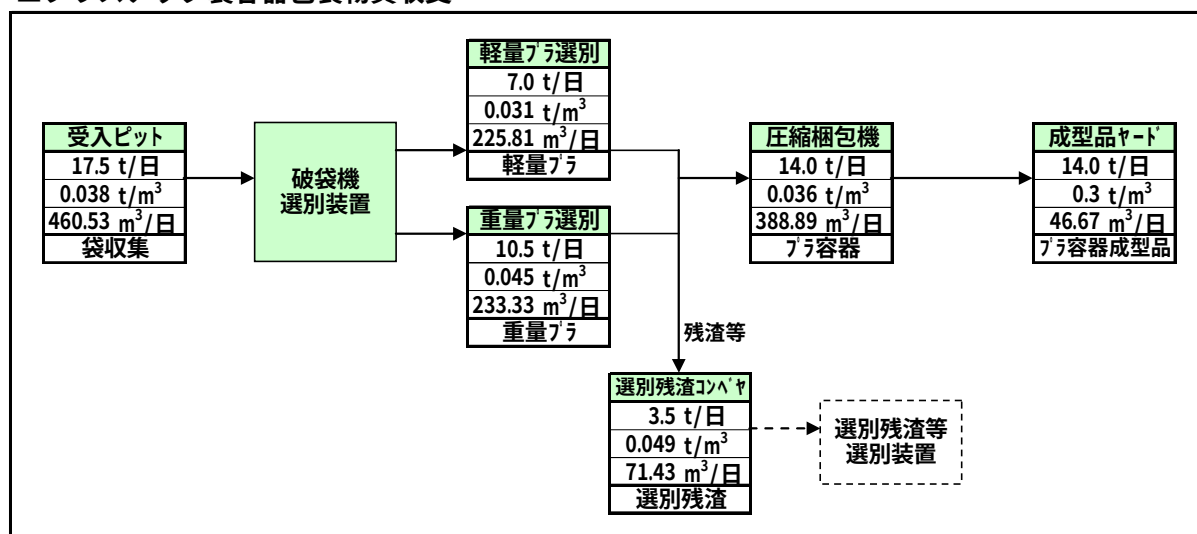
■かん・金属類物質収支



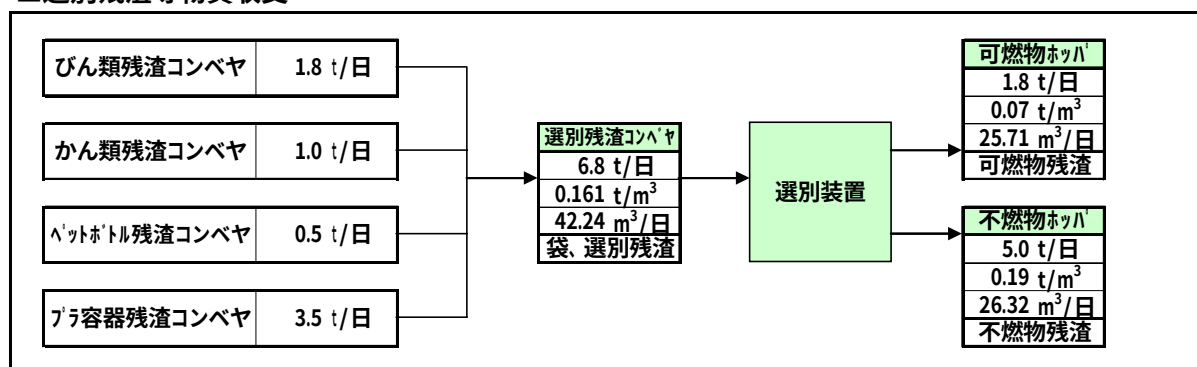
■ペットボトル物質収支



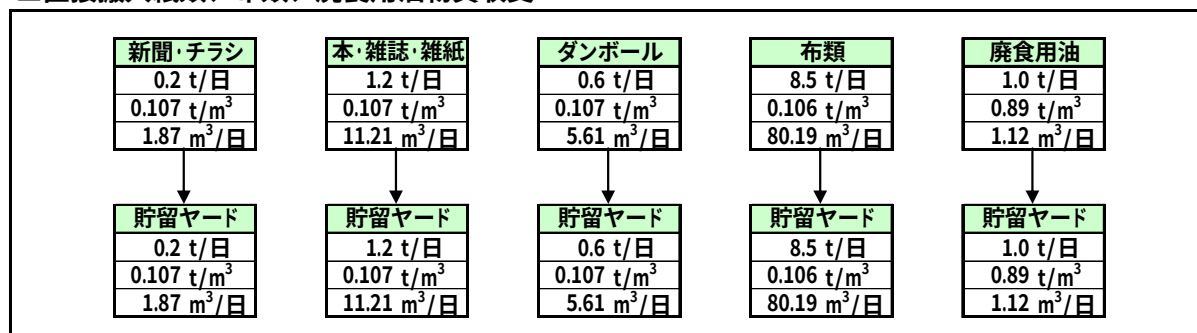
■プラスチック製容器包装物質収支



■選別残渣等物質収支



■直接搬入紙類、布類、廃食用油物質収支



第2節 環境保全計画

1 環境保全目標の設定

リサイクルセンターでは、資源物の処理に伴い粉じん、騒音、振動、悪臭、排水など周辺環境への負荷が想定されます。これらの発生をできる限り押さえ、周辺環境を保全していくために環境保全目標を設定します。

環境保全目標の設定にあたっては、法令等による規制基準の遵守を第一とし、法令等による規制のないものについては、自主的な保全目標を定め、これを遵守していくこととします。

(1) 粉じん

リサイクルセンターは、大気汚染防止法上の粉じん発生施設ではありませんが、「ごみ処理施設整備の計画・設計要領」では、破碎機による粉じん対策として“集じん器を設置した場合の排気中の粉じん濃度は、一般的に $0.1 \text{ g/m}^3\text{N}$ 以下にすることが望ましい。”としています。今回、破碎機の設置はありませんが、本計画ではこれに準じて排気中の粉じん濃度を $0.1 \text{ g/m}^3\text{N}$ 以下とすることを保全目標とします。

(2) 騒音・振動

建設用地は、騒音規制法及び振動規制法の規定に基づく県知事が定める規制地域（その他の地域：市街化調整区域）であるとともに、県条例に基づき事業所において発生する騒音・振動の許容限度を定める適用地域（その他の地域：市街化調整区域）となっていることから、それぞれ敷地境界上での規制基準値以下とすることを保全目標とします。

■騒音・振動の環境保全目標（敷地境界）

区 分	目標値	備 考
騒 音	55 デシベル以下	午前 8 時～午後 6 時
振 動	65 デシベル以下	午前 8 時～午後 7 時

(3) 悪 臭

建設用地は、悪臭防止法の規定に基づく県知事が定める規制地域であることから、それぞれの規制基準値以下とすることを保全目標とします。

■悪臭の環境保全目標（敷地境界）

区 分	規制地域	規 制 基 準
敷地境界線上	2 種地域	臭気指数 15
気体排出口	排出口高さ 15m 未満	法施行規則第 6 条の 2 第 1 項第 2 号により算出される臭気指数
排水水	2 種地域	臭気指数 31

注) 臭気指数 = $10 \times \text{Log(臭気濃度)}$

(4) 排 水

リサイクルセンターは、水質汚濁防止法上の特定施設ではありませんが、排水を水路等公共用水域へ排出するため、水質汚濁防止法による排水基準値以下とすることを保全目標とします。

2 環境保全対策

(1) 粉じん対策

粉じんの発生箇所としては、受入・供給部分（受入ヤード・ホッパ）、選別部分、搬出部分等が考えられますが、これらの発生箇所については、以下のような対策を行います。

- 粉じん発生箇所の建屋内設置
- 施設内負圧化による外部への飛散の防止
- 防じんカバー等により、粉じんが発生・飛散しにくい構造の採用
- 粉じん発生箇所から吸引し、集じん器（表 3-2-1 参照）による処理
- 局所的な散水

表 3-2-1 集じんシステムの種類と概要

方 式	バグフィルタ単独方式	サイクロン+バグフィルタ併用方式
概 要	バグフィルタのみで集じんを行う方式。	サイクロンで大径の粉じんを集じん後、バグフィルタで小径の粉じんを集じんする方式。
保守性	・フィルタの「ろ布」の目詰まりの点検と堆積したダストの頻繁な除去作業が必要。 ・バグフィルタ以外の機器は、それほど保守点検の必要はない。	・バグフィルタの「ろ布」の目詰まりの点検が主で、ダストが堆積することはほとんどない。 ・バグフィルタ以外の機器は、それほど保守点検の必要はない。
特 徴	・大径ダストを吸引すると「ろ布」に目詰まりを起こし、また「ろ布」の間にダストが堆積するため集じん効率が低下する。 ・補修したダストの払い落としは容易。 ・排風機の正圧が少なくてすむ。 ・構成機器が少ないため経済的。 ・大径ダストの吸引の少ない施設での採用が多い。	・サイクロンで大径ダストが除去されているため、バグフィルタの「ろ布」の目詰まりを起こしにくい。 ・補修したダストの払い落としは容易。 ・構成機器が多くなるためコストが高くなる。

(2) 騒音対策

騒音の発生源としては、受入ヤード・ホッパ、コンベヤ、排風機等がありますが、これらの騒音の防止については以下のような対策を行います。

- 低騒音型の機器の選定
- 騒音発生源を建屋内に収容
- 排風口における消音対策
- 排気管内に吸音材を内貼するなど、防音構造に配慮
- 受入・供給設備のホッパ部および排出設備（シュート部）に落下音の発生を抑える構造の採用
- 必要箇所に遮音壁の設置
- できる限り敷地境界までの距離をとり、距離による騒音の減衰を図る

(3) 振動対策

振動の発生源は、騒音とほぼ同様であり、以下のような対策を行います。

- 低振動型の機器の選定
- 振動が発生する機器に防振ゴム等の伝播を防止する緩衝支持装置を設置
- 地耐力に基づいた機械基礎の設計
- 特に大きな振動発生源となりうる機器等は、建物基礎から独立した堅固な支持杭及び基礎の上に据付

(4) 悪臭対策

悪臭の発生源としては、受入・供給部分（受入ヤード・ホッパ）、選別部分、搬出部分、排水部分等が考えられ、以下のような対策を行います。

- 発生源箇所の建屋内への収容
- 施設内負圧化による外部漏えいの遮断
- 発生源箇所における消臭剤の散布
- 活性炭などを利用し、臭気の除去を行う排気システムの採用

(5) 排水対策

生活系排水（施設内の水洗式便所や洗面所・浴室等からの排水）については、建築基準法施行令第31条第2項並びに第32条に基づき、浄化槽による適正な処理を行います。

プラント系排水（洗車排水、床洗浄排水、散水排水等）については、排水処理設備による適正な処理を行います。

(6) 周辺環境対策

リサイクルセンター周辺における不法投棄対策として、パトロール等の強化や広報・啓発による周知徹底を図ります。

また、リサイクルセンター周辺に憩いの場を整備して、人が集まりやすい状況を作ることにより、不法投棄に対する抑止力を高める等の対策も講じていきます。

3 安全衛生管理計画

(1) 安全対策

安全対策については、基本設計から試運転まで各段階を通じて検討します。安全衛生上で重要なことは、設備の構造・作業方法を安全面から見直し、危険性や有害性のない構造、工程とすることです。誤操作や故障があっても機器が安全側に働き災害に至らないようにするなどの対策や、複雑な操作そのものを排除するなど、人間の注意力に頼らないで済む安全対策が必要となります。

また、労働災害や誤操作を防止するために、危険場所を知らせる表示や安全用具の使用を喚起する表示などの安全標識の充実も重要です。

リサイクルセンターでは、その運営上、車両の通行、機器の運転、選別作業などにより事故に繋がる恐れがあるため、安全には充分注意する必要があります。以下に、リサイクルセンターにおいて必要な安全対策を示します。

- a. 全体配置計画にあたっては、各種車両及び歩行者の通行の安全性を考慮した車両動線計画を行う。
- b. 搬入退出路及びその他車両通行の多い構内道路には、必要に応じて歩道、ガードレール、交通標識等を設置する。
- c. 受入ホップの天端は床面より高くするなど転落防止を考慮し、ホップ内部には点検を考慮してステップを設けるものとする。
- d. コンベヤ等の機側には緊急停止装置を設けるものとし、特に機側で日常作業を行う箇所では、作業場所の付近に設けるものとする。緊急停止した場合は、当該装置だけを停止させるのではなく安全上、停止が必要と考えられる全ての機器を停止させるものとする。
- e. 一連の流れ作業を構成する機器のうち、いずれかの機器が停止した場合には、その上流側の機器は自動的に停止するものとし、再起動に際して上流側の機器からは起動できない機構とする。処理物の停滞および閉塞を未然に防止するため、上流から停止し、下流から起動することを基本とする。
- f. 高所に設置されるコンベヤには、原則として点検歩廊を設けるものとし、必要に応じて中間に退避場所（避難はしご付）を設けるものとする。
- g. コンベヤは、搬送物の形状を考慮して余裕ある巾を確保するものとする。
- h. 配置計画にあたっては、日常点検や避難通路はもちろん緊急時の機器操作・動線を検討する。単体機器周りの点検歩廊を確保するにあたり、全体動線が複雑化しないよう考慮する。
- i. 施設内の点検通路、歩廊、階段等は作業者が容易に歩行できる十分な幅と高さや傾斜とし、必要に応じて手すり等の転落防止対策を行う。
- j. 歩廊は原則として行き止まりのないようにする。
- k. 点検通路部分にやむを得ず配管を設ける場合には、つまずき、滑り、衝突が生じないような対策を図る。

- l. 床の上り下り箇所はできるだけ減らし、床上にある配管やコンベア類を跨ぐための踏み切り橋はできるだけ統合化する。
- m. のぞき窓、マンホール、シュートの点検口等の周辺は、作業が容易に行えるよう十分なスペースを確保する。
- n. 機器、配管等の設置計画にあたっては、周囲に点検、修理及び取替えを行うために必要なスペースと通路を確保する。
- o. 設備の修理時に足場を組み立てる必要がある場所に他の設備を設置しない。
- p. 作動部分の防護のため、回転部分、運動部分、突起部分へは必要に応じて安全囲いを設置する。また、危険表示の彩色を施す。
- q. 弁類は容易に操作できる位置に取り付ける。また、操作が紛らわしい配置を避ける。
- r. ガス、油、薬品等の配管は、漏れが容易に発見、修理できるよう特に配置を工夫し、また、識別表示を明確にする。
- s. 配管、弁類及び電気配管等には、種類ごとにあらかじめ定められた彩色を施し、名称、記号及び矢印による流れ方向の表示を行う。
- t. 感電防止のため、湿潤している場所に電気機械器具を設ける場合には、感電防止装置を設置する。
- u. 遠方操作のできる電気回路方式を採用する場合は、点検作業中にその器具を遠方から電源投入できないような方式を採用する。
- v. 高電圧を使用する機器には、危険表示のため標識及び通電表示灯を設置する。また、それら機器へ通じる通路には、立ち入り禁止措置を講じることも考慮する。
- w. 建屋内の照明は作業を行うために必要な照度を確保する。また、停電時において最低必要限度の設備の操作を行えるように保安灯を設置する。
- x. 施設内へ情報を速やかに伝達するための放送設備、インターホン設備等を設置する。

(2) 火災対策

リサイクルセンターでは、破碎機を設置しないため破碎処理による爆発、火災等の発生はありませんが、処理対象物にはスプレー缶等も含まれるため、消防法の定めによるほか併せて専用の消火設備を設けるなどの対策を行います。

受入・供給、選別・再生、貯留・搬出の各工程において、防じん対策を兼ねた消火散水設備、消火器、消火栓等を効率よく設けます。また、火災発生の検知器や報知設備等についても適正に配置します。

第3節 処理機能

1 先進施設の事例

神奈川県内の施設を中心に、資源回収機能を有する資源化施設と、地域活動機能を有する啓発施設について調査しました。（別紙参照）

（1）資源化施設

先進施設におけるびん類、かん類、ペットボトル、及びプラスチック製容器包装の処理内容は以下のとおりです。

① びん類

手選別を行っている施設のうち、「平塚市リサイクルプラザ」ではコンテナにより搬入されたびん類がコンテナのままコンベヤを流れ、一人がひとつのコンテナ内のびんを選別する方式で、搬入量に応じて作業人数が変更でき、コンテナのまま選別するためびんの割れが少なくなります。

また、自動色選別を行っている施設のうち、「門真市リサイクルプラザ」では選別純度及び回収率を向上させるために、自動色選別機の後に精選手選別ラインを設けています。

② かん類

各施設とも磁選機とアルミ選別機による選別と、金属圧縮機による圧縮成型を行っており、アルミ選別機は残渣等の混入を防ぐためにも必要となっています。

③ ペットボトル、プラスチック製容器包装

各施設とも、それぞれ手選別と圧縮梱包を行っており、「川崎市南部リサイクルセンター」では破袋した袋等も別途圧縮成型結束しています。

（2）啓発施設

先進施設における啓発施設の内容は、家具や自転車等の再生利用機能（再生・展示・販売）をはじめ、以下に示す情報発信機能、リサイクル体験機能、交流・イベント機能等となっています。

① 情報発信機能

環境・ごみ問題やリサイクルに関する情報等を、以下の方法により提供しています。

- 図書・パンフレット・ビデオ等の閲覧・貸出、パソコンの利用等
- リサイクル製品の紹介・展示・販売等
- 模型、パネル：地球環境学習パネル、ごみ減量模型、ごみ分別ゲーム等
- 掲示板（不用品交換情報、各種情報等）

② リサイクル体験機能

リサイクル体験機能を整理すると表 3-3-1 に示すとおりです。

表 3-3-1 リサイクル体験機能の内容

利用品目	体験機能の内容	備 考
廃食用油	●石けん作り ●エコキャンドル作り	
牛乳パック	●紙すき(ハガキ等の作成) ●小物作り	
古紙類	●コサージュ作り(新聞紙) ●バスケット作り(チラシ)	
古布・古着	●布ぞうり作り ●裂き織り(かばん、ポーチ、衣類等) ●チャンティ織り(余り毛糸等) ●エコバッグ作り(古布・傘布) ●パッチワーク ●衣類リフォーム、和服のリサイクル ●着物の着付け	
生ごみ	●堆肥作り ●エコクッキング教室	
その他	●ガラス工芸 ●廃木材工作 ●おもちゃの病院 ●PP バンドでかご作り ●家具、自転車、傘等修理・修繕 ●包丁・はさみ研ぎ ●押花、園芸、草木染め	

③ 交流・イベント機能

研修室、会議室、多目的ホール等は、住民団体等が活動や交流の場として利用し、講演や講座等も開催されています。

また、休憩・談話コーナーでは、住民や団体等の交流の場として利用されています。

さらに、施設内や屋外にイベントスペースを設けて、フリーマーケットやエコフェスタ等のイベントを開催しており、イベントスペースがない施設では駐車場を利用してフリーマーケット等を開催しています。

④ その他

- リサイクル文庫：古本の持込・提供
- 見学者スペース
- キッズコーナー

(3) その他環境に配慮した施設

施設内での雨水や太陽光等を利用した施設を整備しているところもあります。

- 雨水再利用：施設の屋根や屋上に降った雨水を貯留し、植栽散水や洗車に使用
- 太陽光発電：施設の屋根や屋上に設置した太陽電池により発電し、場内で利用
- 太陽熱利用：太陽の熱エネルギーを利用して温水を作り、給湯に利用
- 風力発電：風力発電装置により発電し、場内で利用
- 水蓄熱：割安な夜間電力で水を作り、昼間の冷房運転に利用
- 屋上・壁面緑化：屋上の庭園や壁面緑化により、断熱・保温効果を得る

(4) 管理運営主体

資源化施設では、民間委託しているところが多く、近年では「長期包括的運営委託方式」を採用する施設が増えています。これは、従来の運転管理業務に加え、施設の点検・補修、物品や用役の調達など施設運営管理業務すべてについて、長期間にわたって包括的に委託する方式です。

また、啓発施設は財団法人を設立して委託する場合と、住民団体等のNPO法人に委託するケースが多くなっています。

2 施設の構成

リサイクルセンターの構成は、資源回収機能を備えた「資源化施設」と地域活動機能を備えた「啓発施設」を基本に、これらの施設を補完する「付帯施設」とします。

(1) 資源化施設の構成

資源化施設の設備構成については、処理システム計画及び環境保全計画等の内容を踏まえて表3-3-2のとおりとします。

表 3-3-2 資源化施設の設備構成

設 備	主要機器	処理対象物等
受入・供給設備	計量機	かん類、びん類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙類、布類、廃食用油、鉄くず類
	受入ヤード (又は受入ピット・クレーン)	かん類、びん類、ペットボトル プラスチック製容器包装
	コンテナ投入装置 (コンテナ洗浄装置含む)	びん類
	受入ホッパ	かん類、びん類、ペットボトル、プラスチック製容器包装
	受入コンベヤ	かん類、びん類、ペットボトル、プラスチック製容器包装
選別・再生設備	破除袋機	かん類、びん類、ペットボトル
	破袋機	プラスチック製容器包装
	プラ製容器包装選別装置	プラスチック製容器包装
	手選別コンベヤ	かん類、びん類、ペットボトル、プラスチック製容器包装
	磁選機	かん類(スチール缶)
	アルミ選別機	かん類(アルミ缶)
	金属圧縮機	かん類(スチール缶・アルミ缶)
	圧縮梱包機	ペットボトル、プラスチック製容器包装
	選別残渣等搬送コンベヤ	収集袋、選別残渣、不適物等
	選別残渣等選別装置	収集袋、選別残渣、不適物等
貯留・搬出設備	貯留ヤード	リターナブルびん、無色カレット、茶色カレット、その他色カレット、スチール缶成型品、アルミ缶成型品、スプレー缶、鉄、アルミガラ、ペットボトル成型品、プラ容器成型品、新聞・チラシ、本・雑誌・雑紙、ダンボール、布類、廃食用油
	貯留ホッパ	可燃性選別残渣等、不燃性選別残渣等
集じん設備	集じん器	各工程で発生する粉じん
給水設備	水槽、ポンプ等	上水
排水処理設備	浄化槽	し尿、生活雑排水
	排水処理機器	床洗浄排水等
電気・計装設備	受変電・配電・動力設備	計装盤、ITV 装置等

(2) 啓発施設の構成

一般に啓発施設は、家具や自転車等の再生・展示・販売等を行う再生利用施設と、環境・ごみ問題やリサイクルに関する学習機能（情報発信・体験・見学等）や住民団体等の交流・活動拠点となるような施設により構成されます。

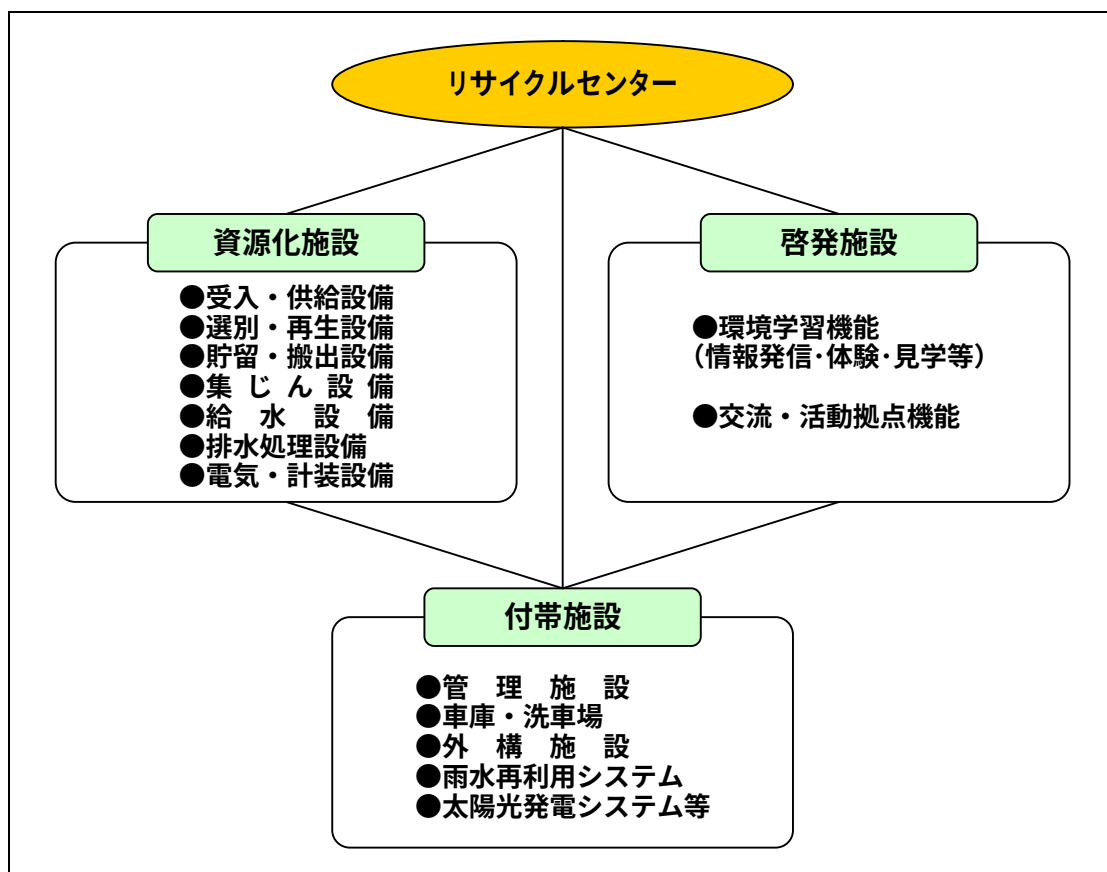
このうち、再生利用施設についてはリサイクルセンターで粗大ごみを受け入れないため、啓発施設では学習機能（情報発信・体験・見学等）や交流・活動拠点機能を有した施設について検討します。

(3) 付帯施設

付帯施設は、管理施設（事務室、休憩室、トイレ等）、搬出入車両のための車庫・洗車場、及び外構施設（構内道路、駐車場、構内排水設備、植樹・芝張り、門・フェンス、構内照明設備、電気・水道等引込み設備等）により構成されます。

また、先進施設の事例も踏まえて「雨水再利用システム」や「太陽光発電システム」等の導入についても検討します。

■リサイクルセンターの施設構成



3 資源回収機能の検討

資源回収機能については、単に搬入された資源物から資源を回収するだけでなく、リサイクルセンター内での雨水再利用や太陽光発電等の環境に配慮した資源回収機能についても検討します。

(1) 資源化施設回収機能

資源化施設における回収機能及び回収資源は、処理システム計画より表 3-3-3 のとおりとします。

表 3-3-3 資源化施設の回収機能及び回収資源

搬入資源物	回収機能	回収資源	備 考
び ん 類	選 別	リターナブルびん	
		無色カレット	
		茶色カレット	
		その他の色カレット	
かん・金属類	選別・圧縮	スチール缶 (成型品)	
		アルミ缶 (成型品)	
	選 別	スプレー缶	
		鉄	
		アルミガラ	
ペットボトル	選別・圧縮梱包	ペットボトル (成型品)	
プラスチック製容器包装	選別・圧縮梱包	プラスチック製容器包装 (成型品)	
紙 類	保 管	新聞・チラシ	
		本・雑誌・雑紙	
		ダンボール	
布 類	保 管	布 類	
廃食用油	保 管	廃食用油	

(2) 雨水再利用

施設の屋根や屋上に降った雨水を集水して貯留槽等に溜め、植栽等への散水用として再利用することを検討します。

雨水再利用システムは、集水設備、貯留設備、処理設備、給水設備から構成され、利用用途により設備の内容も異なります。

集水設備は、経済的で比較的良好な水質が集水できる屋根や屋上面からの集水とします。

貯留設備の容量は、一般的に雨水使用想定量の 10～20 日分、または集水面積の 1/10～1/20 となる値の容量とすることが多く、平塚市リサイクルプラザ（散水用）では 2m³

の容量としています。なお、貯留槽の設置場所は地上あるいは地下の浅い位置にすると、オーバーフロー水を自然排水できます。

処理設備は、集水される雨水の水質と利用用途により異なり、主に混入物の除去と消毒の二つの工程により構成されます。

(3) 太陽光発電

太陽電池を用いて太陽の光エネルギーを直接電気に変換する発電システムで、太陽電池はシリコンなどの半導体で作られており、この半導体に光が当たると日射強度に比例して発電します。建物の屋根や屋上、壁面あるいは遊休地など太陽の当たるところなら基本的には設置可能で、太陽電池の種類には主にシリコン系のものと化合物半導体系のものがあ、現在最も多く使われているのはシリコン系太陽電池です。

表 3-3-4 主な太陽電池の種類

シリコン系	結晶系	単結晶シリコン太陽電池 多結晶シリコン太陽電池	単結晶又は多結晶のシリコン基板を使用したもので、発電効率が優れ、現在最も多く生産されている。
	非結晶系	アモルファスシリコン太陽電池	ガラス又は金属等の基板の上に、薄膜状のアモルファスシリコンを形成させて作られ、将来の低価格化が期待されている。
化合物半導体系	結晶系	単結晶化合物半導体太陽電池 多結晶化合物半導体太陽電池	複数の元素を主原料としたもので、単結晶のものは人工衛星などの特殊用途に使われているものがある。多結晶のものには用途や使用方法に合わせて多様な材料や構造のものがある。

4 地域活動機能の検討

啓発施設では、住民のリサイクル活動のための情報交換の場を提供し、リサイクルの輪を広げていくとともに、環境教育やリサイクルに関する事業を展開し、住民の関心や知識を深め、積極的な取り組みが行えるような地域活動機能について検討します。

(1) 環境学習機能

住民が、環境・ごみ問題やリサイクルについての情報を気軽に得られるように、必要な情報を収集・提供します。具体的な内容については、先進施設の事例や表 3-3-5 に示す内容例を基に検討します。

また、普段はごみとして出しているものを材料として、リサイクルを楽しく学べるように様々な体験教室を定期的に開催します。具体的な内容については、先進施設の事例も踏まえて検討します。

さらに、住民が分別排出した資源物が、実際に資源回収されていく工程を見学し、適正な分別排出の必要性について理解してもらうために見学機能を充実します。

表 3-3-5 情報発信機能の内容例

情報の内容	環境に関する情報	地球温暖化、オゾン層破壊、森林破壊、砂漠化等の地球環境問題に関する情報
	ごみに関する情報	・ごみデータ(ごみ量、ごみ質、処理経費等) ・行政情報(経緯、排出方法、助成制度等) ・減量化情報(家庭でできる減量化手法等) ・施設紹介
	リサイクル情報	・リサイクルの必要性、法令、手法等 ・リサイクルのしくみ、流れ等 ・リサイクル製品の紹介等
	不用品交換情報	住民同士の不用品交換のための情報
情報の提供方法	図書、パンフレット、ビデオ	閲覧、貸出し、上映会等
	パソコン	インターネット検索等
	模型、パネル等	地球環境学習パネル、ごみ減量模型、ごみ分別ゲーム等
	掲示板	不用品交換情報等
	講演会等	

(2) 交流・活動拠点機能

住民団体・グループの活動拠点として、会議室や情報を提供するとともに、住民同士や住民団体が気軽に情報交換、交流できる機能についても整備します。

また、より多くの住民が集い、楽しめるようなイベントやフリーマーケット等を開催できる機能の整備について検討します。

第4節 施設配置・動線計画

1 全体施設配置計画

リサイクルセンターの施設配置計画にあたっては、関係法令を遵守し、合理的かつ経済的な配置について検討します。

(1) 資源化施設

資源化施設は、リサイクルセンターの中核となる施設であり、また騒音・振動源にもなりやすい部分であることから、できるだけ敷地の中央部に配置するものとし、近接する敷地境界線側には緑地帯などの空間を設けることや、出入口等の開口部を避けるようにします。

(2) 啓発施設

啓発施設は、地域活動機能の拠点となる施設であり、利用者の安全性と利便性を考慮して資源化施設の作業動線と交差しない配置とします。

(3) 付帯施設

管理施設（事務室、休憩室、トイレ等）や車庫・洗車場は、職員の作業効率を考慮した配置とし、車庫・洗車場は一对として施設の奥側に設けます。

また、外構施設として構内道路、駐車場、構内排水設備、植樹・芝張り、門・フェンス、構内照明設備、電気・水道等引込み設備等を適性かつ効率的に配置します。

なお、緑地率については「神奈川県土地利用調整条例 審査指針」に準じて 35%（乙地域）とします。

2 動線計画

リサイクルセンターの動線計画については、搬出入車両や各メンテナンス車両のほか、職員や利用者・見学者の車両等が、円滑かつ安全に通行できる動線となるよう検討します。

(1) 搬出入車両等の動線

搬入車両は、一定の時間帯に集中しやすく台数も多いため、優先的に入口ゲート→計量機→プラットホーム→退出ゲートの経路で円滑に流れるようにするとともに、見学者等一般車両の動線と平面で交差することのないようにし、できる限り一方通行方式とします。また、計量機の手前には適切な滞車スペースを設けます。

搬出車両は、最大10t車が貯留・搬出設備→計量機→退出ゲートの経路で円滑に流れるようにするとともに、一般車両等の動線と平面で交差することのないようにします。

なお、メンテナンス車両については、補修工事等を考慮して適所に大型重機車両が寄り付ける場所を確保するようにします。

(2) 職員、見学者等の動線

作業動線は、職員が安全かつ効率的に作業ができるような動線とし、原則的に一般の見学者や利用者とは別の動線とします。

見学者ルートは、原則的に作業動線とは別の専用通路（原則一方通行）とし、要所にホール（休憩所）を設けるなど、見学者が安全かつ快適に施設全体を見学できるようにします。

(3) 駐車台数

リサイクルセンター内で保管する搬出入車両は保有台数分の車庫を設け、職員用の駐車場は職員数分の台数を確保します。

来客用の駐車場は、見学者用に大型バス(2)台分、一般車両用(30)台分、身障者用(2)台分を確保します。（※台数は配置計画等にもよるため要検討）

第5節 建築計画

1 平面・断面計画

(1) 資源化施設

資源化施設は各種設備で構成され、選別機等の機器を収容する各室は処理の流れに沿った配置とし、これに付随した監視室や職員のための諸室、見学者用スペース等を適正かつ効率的に配置します。

① 受入・供給設備

計量機は、付属棟（事務室等と兼用）として設けるか、別に計量機棟として設けるか検討します。

プラットホームは、受入ヤード及び受入ピットに接して設け、搬入車両が安全かつ容易に搬出入及び積み降ろしができる広さを確保します。

また、受入ヤードはショベルローダ等が単純な動線で資源物の一時貯留と受入ホッパ等への投入ができ、メッシュ袋を開く作業やリターナブルびんの回収・保管等も考慮した広さを確保します。

なお、プラットホームを2階に設置する場合は、プラットホーム取付け道路を設置し、搬入車両が安全かつ容易に通行できる幅員、勾配等を持った構造とします。

② 選別・再生設備

選別・再生設備の配置は、貯留・搬出設備と連絡の良い位置に設け、コンベヤ類や選別機等の維持管理に必要な足場及び保全のためのスペースの確保、並びに機材の搬入扉又はハッチの設置等を考慮した配置とします。

③ 貯留・搬出設備

選別・圧縮された資源物等の一時貯留と、搬出車への積み込みが容易にできるよう配置し、貯留ホッパについてはホッパ上部に建屋を設け、積み込み時の粉じんの飛散を防止する構造とします。

また、紙類、布類及び廃食用油は直接貯留場へ搬入されるため、搬入車両が安全かつ容易に搬出入及び積み降ろしができる広さを確保します。

④ 集じん設備、排水処理設備等

集じん器設置場所は、騒音源であるため可能な限り敷地境界線から離れた位置に配置し、排水処理設備は排水系統上連係が適切な位置に配置します。

また、機械、電気設備関係は、それぞれの系統の中で隣接する室との連係が適切に保てるよう出入口を設け、保守点検に必要なルート・スペースを確保します。

⑤ 管理居室等

主に職員が使用する管理居室等については、以下のものを検討します。

- 管理事務室（5名程度）
- プラットホーム監視室
- 会議室（10名程度）
- 作業員控室・休憩室・更衣室・湯沸室
- 倉庫・書庫
- 便所（男・女・身障者）
- 工作室
- その他必要な部屋

⑥ 見学者スペース

見学者が安全かつ快適に施設を見学できるよう、以下の事項について配慮します。

- 必要に応じて標識、色彩等で明示します。
- 見学者（小学生・身障者を含む）が立ち入る危険性のある場所は、標識、施錠等により容易に立ち入りできない構造とします。
- 身障者に配慮し、身障者用便所を設けるとともに、必要に応じて身障者用スロープ及び手摺等を設けます。
- 必要に応じて専用照明または遮光設備を設けて見学し易いように配慮します。

(2) 啓発施設

啓発施設は、住民が利用しやすく地域活動機能が効果的に発揮できるような構造にするとともに、身障者等にもやさしい構造とします。

具体的な居室等については、先進施設の事例等も踏まえて検討します。

- 情報展示スペース
- 多目的室（リサイクル体験教室）
- 研修室（講演会等）
- 会議室（住民団体等の活動拠点）
- 見学スペース
- 屋外イベントスペース（駐車場スペース）
- 事務室、給湯室、更衣室、倉庫、トイレ（男・女・身障者用）等
- その他（河川沿い休憩用ベンチ、東屋等）

2 デザイン計画

施設のデザインについては、従来の廃棄物処理施設の持つイメージを払拭し、周辺環境との調和にも十分配慮したものとします。

3 仕上げ計画

(1) 外部仕上げ

外部は、周辺環境に適合した仕上げ計画にするとともに、違和感のない清潔感のあるものとし、施設全体の統一性を図ります。

また、材料は経年変化が少なく耐久性の高いものとし、再生資材等の利用についても検討します。

(2) 内部仕上げ

内部は、各部屋の機能や用途に応じた仕上げ計画にするとともに、薬品、油脂の取り扱い、水洗等それぞれの作業に応じて必要な仕上げ計画とし、温度や湿度等の環境状況も十分考慮した計画とします。

4 構造計画

建築物は十分な構造耐力を有する構造とするとともに、地震時を考慮して重量の大きい設備は剛強な支持架構で支持します。また、振動を伴う機械は十分な防振対策を考慮します。

(1) 基礎構造

建築物は地盤条件に応じた基礎構造とし、荷重の遍在による不等沈下を生じない基礎計画とします。

また、杭の工法については荷重条件、地質条件、施工条件を考慮し、地震時や風圧時の水平力も十分検討して決定します。

(2) 躯体構造

建築物の躯体構造は、強度や剛性を兼ね備えたものとし、特に地震時に受ける地震荷重を安全に支持し得るものとします。なお、重量の大きい設備を支持する架構は鉄筋コンクリート造とします。

(3) 一般構造

屋根、壁、床等の性能は、空間を覆う・仕切る・支えるという形を通して、防火、防水、防臭、防音、防振、換気、採光等の機能を満たし、防錆、防食、耐候、耐衝撃等の耐久性を保持します。

5 建築設備計画

建築設備は、表 3-5-1 に示す設備等から構成されており、施設の機能の維持及び作業環境の向上を図るとともに、安全で経済的かつ維持管理の容易なものとします。

表 3-5-1 建築設備の種類と主要機器

設備名称	設備項目	主要機器名、種類その他
給排水衛生	給水 給湯 消火器具 衛生器具 排水 浄化槽	上水受水槽、揚水ポンプ、高置水槽 給湯用熱交換器、予備ボイラ 屋内外消火栓、消防用水、水噴霧消火設備等 各種陶器、金物 生活排水、通気 合併処理浄化槽
空気調和	熱源機器 空調 自動制御	冷凍機、ヒートポンプパッケージ等 室調機、ダクト 計器、計装
換気	換気 排煙 エアーカーテン	換気ファン、換気扇、ルーフファン、ダクト 排煙ファン エアーカーテン
ガス	ガス	プロパンガス
電気	幹線 動力 電灯、コンセント 照明器具 防災	電源は通常プラント設備 〃 一般照明、非常照明、保安照明、誘導灯、外灯 〃 自動火災報知、煙感連動装置
通信	電話配管 構内交換機 拡声 テレビ共聴	電線管 電話交換機 放送 アンテナ
エレベータ	エレベータ	エレベータ、リフト
避雷	避雷	避雷針、棟上導帯

6 外構計画

敷地の形状や周辺環境との調和を考慮した合理的な設備とし、施工及び維持管理の容易さ、経済性等を考慮した計画とします。

(1) 構内道路

十分な強度と耐久性を持つ構造及び無理のない動線計画とし、必要箇所に白線や道路標識を設け安全性に配慮します。

(2) 構内排水設備

敷地内に適切な雨水排水設備を設け、位置、寸法、勾配、耐圧を考慮し、不等沈下や漏水のない構造とします。

(3) 植栽・芝張り

敷地境界側をはじめ可能な限り広い範囲に植栽・芝張りをします。

なお、緑地率は県条例に基づき 35%以上とします。

(4) 構内照明設備

敷地内に道路灯、街路灯、庭園灯、防犯灯及び屋外の点検灯等の外灯を必要に応じて設置します。

(5) 散水設備

緑地部分の水まき用に散水栓を適宜（概ね 50m 以内ごと）配置します。なお、散水には雨水再利用水を使用します。

第6節 管理運営計画

1 管理・運営体制

一般廃棄物処理施設整備等の公共事業は、これまで公設公営方式が主体でしたが、近年では「PFI 事業方式」を採用する自治体が増えつつあります。

PFI 事業方式は、公共と民間の適正な役割分担により民間企業の資金及びノウハウを活用し、長期的かつ効率的に事業運営を行うもので、主な特徴として「費用の削減」「財政支出の平準化」「資金調達の多様性」「事業リスクの分担」「産業振興」などがあります。

PFI の基本には、公共資金（税金等）の最も効果的な運用という VFM（Value For Money）の考え方があり、PFI を適用する際にはこの VFM が確保されることが前提になります。

廃棄物処理事業において採用される PFI 事業は、主に大規模な発電設備を有した熱回収施設が多く、今回のような資源物を対象とした小規模なリサイクルセンターの場合、VFM の確保が難しいため採用事例もほとんどありません。また、小規模な事業においては、社会経済状況によって、資金調達や事業の採算性が確保できない可能性があります。

さらに、PFI 事業の導入にあたっては、導入可能性調査も含めて事業者の選定までに 3 年間程度の期間を要し、これまでの入札方法とは異なる複雑な手続きが必要となり、それに伴う費用も必要となります。

以上のことから、リサイクルセンターにおいては PFI 事業方式を採用しないこととし、施設の管理・運営体制について以下のとおり検討を行うこととします。

リサイクルセンターは、資源回収機能を有した資源化施設と、地域活動機能を有した啓発施設という性格が異なる二施設で構成されています。そのため、管理・運営体制は施設ごとに、それぞれ適切な体制について検討します。

（1）資源化施設の管理・運営体制

資源化施設は、資源物を適正かつ効率的に処理（資源回収）するための施設です。このため、最小の経費で最大の効果があげられるように施設の管理体制を構築していくことが重要です。また、資源化施設のプラント設備は経常的にメンテナンスが必要となり、そのためのノウハウや技術力も必要となります。これらの点を考慮し、資源化施設の管理・運営は、リサイクル施設の運営に十分な能力を有する民間企業に委託していくことを基本とします。

資源化施設の管理運営業務は、運転管理業務、物品・用役調達業務、及び点検・補修業務に大別されます。これらの業務を民間に委託する場合、従来は単年度で仕様（役務）発注されているのが一般的でしたが、近年では運転管理業務に加え、施設の点検・補修、物品、用役の調達など、施設運営管理業務すべてについて、施設竣工後の長期間にわたり、包括的に委託する「長期包括的業務委託方式」が採用されています。

長期包括的業務委託方式と従来の委託契約と比較すると表 3-6-1 に示すとおりです。

表 3-6-1 従来の委託契約と長期包括的業務委託

項 目	長期包括的業務委託	従来の民間委託
民間企業の役割	運転主体者 想定するごみ量などを受け入れ、定められた基準値以下に処理し、関連する一連の業務を提携する。	公共団体の補助者 施設の運転方法、仕様書に記載された内容を満足するための役務の提供。
委託業務の範囲	包括的委託 施設の運転管理業務、設備点検業務、清掃業務、物品管理業務、緑地管理業務などを一括して受託する。	限定的委託 施設の運転管理業務、設備点検業務、清掃業務、物品管理業務、緑地管理業務などは業務仕様が規定されており、物品については支給される場合が多い。
契約年数	複数年	単年度
業務遂行の自由度	大きな自由度がある。 性能が満足していれば、職員数などは民間企業の自由裁量が原則。	限定される。 仕様に定められた職員数が必要。
契約に基づく責任分担	明確に規定 想定範囲にあるごみ質、ごみ量であれば責任を持って基準値以内に処理する必要がある。	契約上では明確な規定が少ない。 仕様書に記載された役務の提供を行っている限り、責任は委託した公共側にある。
維持管理効率化に向けたインセンティブ	民間企業の創意工夫が民間企業にとってメリットにつながるため、維持管理の効率化が期待できる。	民間企業の創意工夫が反映できる余地が少なく、維持管理の効率化は期待できない。

また、長期包括的業務委託には、大きく分けて表 3-6-2 に示す3つのレベルがあり、委託レベルの違いによる経費節減のイメージは下図に示すとおりです。

■委託レベルの違いによる経費節減のイメージ

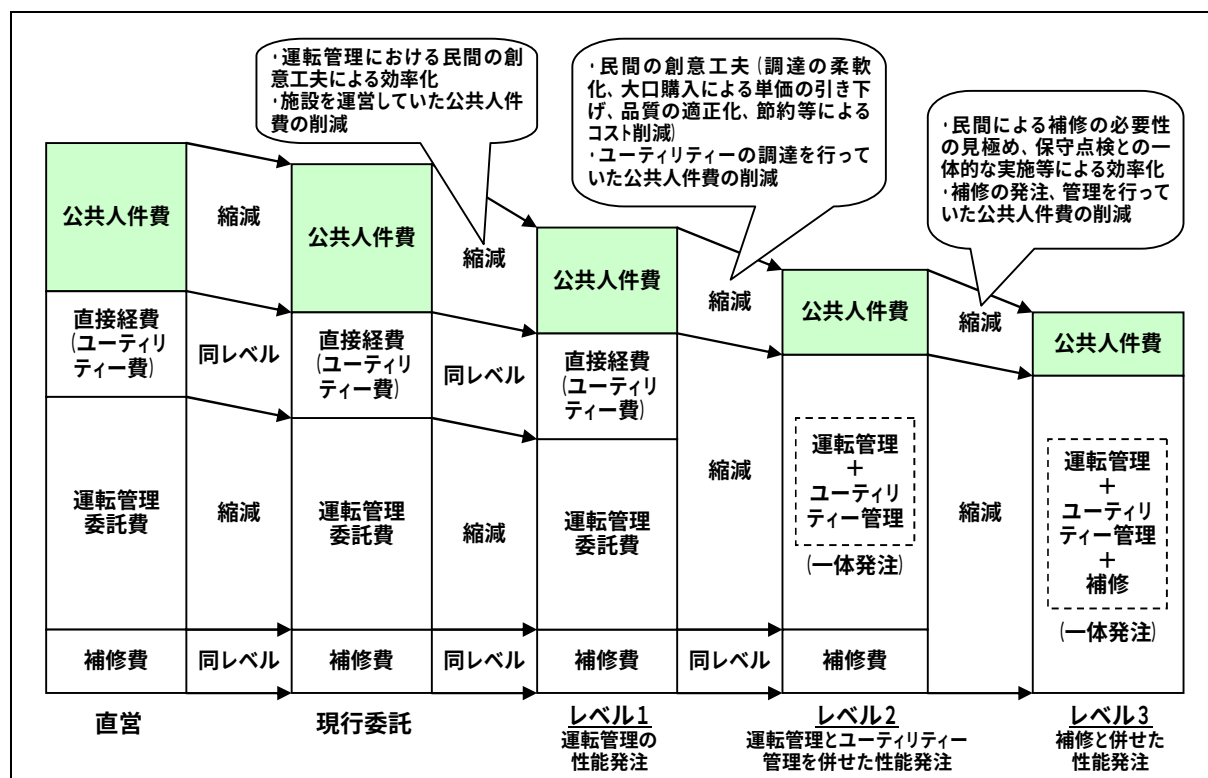


表 3-6-2 長期包括的業務委託のレベル

レベル	内 容
レベル1	運転管理のみを性能発注するもので、運転管理における民間の創意工夫で効率化を図るもの。
レベル2	物品調達などを含めた委託とすることによって、大口購入など民間の創意工夫の範囲を広げるもの。
レベル3	PFI 事業方式における運営管理同様、施設の補修を含めて運営・管理に関するすべての要素を委託することによって、保守点検と一体的な補修の見極め等を含め、民間の創意工夫を最大限に発揮させるようとするもの。

長期包括的業務委託方式は、平成 18 年に環境省が策定した「廃棄物処理施設建設工事等の入札・契約の手引き」においても「運営を含めたトータル事業での競争を促し、長期間にわたる運営をも含めた契約によりライフサイクルコストの低減を図ることが可能となるため、市町村等において、この発注方式を積極的に導入することが有効である。」とされています。

一般的には、コストの削減と適切な運営・管理につながるとされていますが、契約期間、メリット、デメリットなどを十分見極め、長期包括的業務委託方式の導入について検討します。

(2) 啓発施設の管理・運営体制

啓発事業を推進するためには、環境・ごみ問題やリサイクルに関する情報の受発信に努め、体験教室やイベントを企画・運営していく必要があります、これらの実施にあたっては、住民団体・グループの協力やボランティアの活用を図っていくことが重要です。

啓発施設の運営体制としては、行政による運営、資源化施設と同様に民間委託による運営、NPO 委託による運営があり、先進施設の事例をみると、住民団体等の NPO 法人や財団法人を設立して運営を委託している施設が多くなっています。

地域活動機能への参加と運営への協力の両面において、NPO、住民団体、民間企業のノウハウを引き出しつつ、住民の積極的な関わりを促すような管理・運営体制について検討します。

表 3-6-3 啓発施設の運営体制の種類と特徴

区 分	行政による運営	民間委託による運営	NPO 委託による運営
長 所	公共サービスとして提供されるため、運営の継続性が確保されやすい。	民間ならではのノウハウと効率性が活かされる。	住民の自発的な活動が促され、運営にかかる行政の財政負担が軽減される。
短 所	アイデアに限界がある。住民の依存度が高まる。機動性やコストで他に劣る。	運営能力のない事業者の場合、地域活動機能のレベルが低下する。事業採算の確保が優先される。	リーダー的人材がいない場合、運営が機能しにくい。活動を支援する仕組みがないと持続的な運営が難しい。

2 概算事業費の検討

リサイクルセンター等の廃棄物処理施設整備の多くは性能発注による発注方式が採用されています。このため、図面発注方式のような積算ではなく、過去の受注実績から処理能力 1t 当たりの建設単価を算定し処理規模に乗じる方法で概算事業費の算定を行っています。

平成 18 年度に策定された神奈川県湘南東地域循環型社会形成推進地域計画（以下、地域計画）では、平成 13～16 年度における処理規模 30t/日以上のリサイクルセンターの落札実績を参考に建設単価を 38,490 千円/t と算出し、処理規模 53t/日として概算事業費を設定しています。

本計画では、処理対象品目の決定に伴う施設整備規模の見直しや処理システムの検討を行うとともに、太陽光発電等の環境に配慮した設備も取り入れた施設整備を予定していますが、本町と茅ヶ崎市では、地域計画の建設単価を基準として今後の詳細な設計条件や選別内容等の検討を行い、安価で効率的な処理システムを構築するための協議をしていくものとしします。

3 財源計画

(1) 交付金対象事業

循環型社会形成推進交付金制度に基づく、リサイクルセンター（マテリアルリサイクル推進施設）の交付対象となる設備等の範囲は表 3-6-4 に示すとおりであり、交付額は対象事業費の 1/3 です。

また、施設整備に関する計画支援事業として、廃棄物処理施設整備事業実施のために必要な調査、計画、測量、設計、試験及び周辺環境調査等に要する費用も交付対象となります。

なお、既存焼却炉の解体費については、交付要件として「廃焼却炉解体と廃棄物処理施設整備を一体として行う事業であること。なお、3ng/g 以上のダイオキシン類に汚染されている場合には、解体後 5 年以内(解体の翌年度から起算)に廃棄物処理施設整備に着手すればよい。」としており、解体費が施設整備費を上回る場合においても、交付対象となります。また、総務省が「地方財政制度による廃焼却炉解体に対する支援制度」を整備しており、解体撤去工事に要する費用については、既存建物を撤去しなければ新增築できない場合など、新施設の建設事業を実施するために直接必要と認められる場合は、新施設と一体の事業として、該当の事業債の対象とすることとしています。さらに、総務省は平成 13 年度から、各事業債(上記の地方債)の対象とならない場合や、跡地利用計画がなく更地にする場合など、一般財源負担(地方単独事業)により解体撤去工事を実施する場合には、解体に要する経費の 30%を特別交付税として措置しています。

表 3-6-4 交付の対象となる設備等の範囲

マテリアルリサイクル推進施設
i. マテリアルリサイクル推進施設に必要な設備の範囲は、次に掲げるものであること。 ①受入・供給設備(搬入・退出路を除く。) ②破碎・破袋設備 ③圧縮設備 ④選別設備・梱包設備・その他ごみの資源化のための設備 ⑤中古品・不用品の再生を行うための設備 ⑥再生利用に必要な保管のための設備 ⑦再生利用に必要な展示、交換のための設備 ⑧分別収集回収拠点の整備 ⑨電動ごみ収集車及び分別ごみ収集車の整備 ⑩その他、地域の実情に応じて、容器包装リサイクルの推進に資する施設等の整備 ⑪灰溶融設備・その他焼却残さ処理及び破碎残さ溶融に必要な設備 ⑫燃焼ガス冷却設備 ⑬排ガス処理設備 ⑭余熱利用設備(発生ガス等の利用設備を含む。) ⑮通風設備 ⑯スラグ・メタル・残さ物等処理設備(資源化、溶融飛灰処理設備を含む。) ⑰搬出設備 ⑱排水処理設備 ⑲換気、除じん、脱臭等に必要な設備 ⑳冷却、加温、洗浄、放流等に必要な設備 ㉑前各号の設備の設置に必要な電気、ガス、水道等の設備 ㉒前各号の設備の設置に必要な建築物 ii. i の設備を補完する設備の範囲は、次に掲げるものであること。 ①管理棟 ②構内道路 ③構内排水設備 ④搬入車両に係る洗車設備 ⑤構内照明設備 ⑥門、囲障 ⑦搬入道路その他ごみ搬入に必要な設備 ⑧電気、ガス、水道等の引込みに必要な設備 ⑨ i の設備及び前各号の設備の設置に必要な植樹、芝張、擁壁、護岸、防潮壁等 iii. i の⑧、⑨、⑩の各設備を整備する場合は、複数を互いに組み合わせるものであること。

(2) 財源内訳

リサイクルセンターの建設事業費については、循環型社会形成推進交付金制度の活用を図るとともに、地方債（起債）等による財源調達を図っていく必要があります。

具体的な財源の構成については表 3-6-5 に示します。また、2 ヶ年の整備期間の建設事業費の割合については、一般的な工事進捗率から 1 年目を約 20%、2 年目を約 80%と想定し、有効的な財源計画を図っていくものとします。

表 3-6-5 財源の構成

総事業費	今後の実施段階において算定
交付金対象事業費 交付金 地方債(起債) 一般財源	総事業費のうち 90%程度で算定 ※交付金の対象となるもの（表 3-6-4 参照） 交付金対象事業費の 3 分の 1 交付金対象事業費から交付金を差し引いた金額の 90% 交付金対象事業費から交付金を差し引いた金額の 10%
単独事業費 地方債（起債） 一般財源	総事業費のうち 10%程度で算定 ※交付金対象外となるもの（例：太陽光発電設備等） 単独事業費の 75% 単独事業費の 25%

※各項目の年度割は 1 年目を約 20%、2 年目を約 80%と想定します。

4 施設整備スケジュール

リサイクルセンターの整備スケジュールは、平成20年度に本計画の策定及び「測量、地質調査」を行い、平成21年度には「生活環境影響調査」及び「既存焼却施設の解体工事」を行い、平成22～23年度の2ヵ年で整備し、平成24年度から供用開始するものとします。

■リサイクルセンター整備スケジュール(案)

工 種	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1. 測量、地質調査	●————●				
2. 生活環境影響調査		●————●			
3. 施設整備基本設計	●————●				
1) 施設基本計画の策定	●-----●				
2) 工事発注仕様書の作成		●-----●			
3) 都市計画決定(変更)手続き			●-----●		
4. 既設解体工事 (ごみ焼却施設)		●————●			
5. 建設工事			●————●		
6. 稼働開始					●————→

資 料 編

－ 資 料 編 目 次 －

資料 1	寒川町資源物実績データ	66
資料 2	茅ヶ崎市資源物実績データ	73
資料 3	処理システム計画資料	81
資料 4	処理機能資料（先進施設の事例）	90
資料 5	管理運営計画資料	94
計画策定の経過及び委員名簿		
用語解説		

資料1 寒川町資源物実績データ

資料1-1 寒川町 資源物搬出量の実績

区分\年度			年間量 (t/年)					日平均量 (t/日)					備 考
			平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	
紙・ボ口類	紙類	新聞	8.27	6.51	19.62	15.12	18.59	0.02	0.02	0.05	0.04	0.05	
		雑誌	857.34	817.13	1,131.28	1,164.82	1,111.40	2.34	2.24	3.10	3.19	3.04	
		ダンボール	370.40	366.90	406.29	397.74	387.67	1.01	1.01	1.11	1.09	1.06	
		牛乳パック	3.24	2.75	8.04	7.97	4.25	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	
		計	1,239.25	1,193.29	1,565.23	1,585.65	1,521.91	3.39	3.27	4.29	4.34	4.16	
	ボ口類	129.90	150.22	119.17	160.12	146.14	0.35	0.41	0.33	0.44	0.40		
プラスチック製容器包装					636.78	717.34	699.83			1.74	1.97	1.91	
資源ごみ	かん・金属類	ペットボトル	92.42	108.74	119.56	121.84	126.05	0.25	0.30	0.33	0.33	0.34	
		鉄	249.01	254.50	213.83	212.06	203.69	0.68	0.70	0.59	0.58	0.56	
		鉄プレス	112.97	103.90	102.78	97.55	89.66	0.31	0.28	0.28	0.27	0.24	
		アルミプレス	55.26	60.75	61.77	62.24	59.16	0.15	0.17	0.17	0.17	0.16	
		スプレー缶	0.77	1.00	1.10	1.25	1.27	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	
		アルミガラ	4.37	4.95	6.03	8.52	7.90	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	
		アルミサッシ	1.79	1.08	1.38	1.18		0.005	0.003	0.004	0.003		H18.10～:アルミガラに統一
		計	424.17	426.18	386.89	382.80	361.68	1.16	1.17	1.06	1.05	0.99	
	びん・ガラス類	リターナブルびん	11.85	10.45	9.26	8.19	7.54	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	
		カレット無色	189.20	180.30	182.61	181.28	159.90	0.52	0.49	0.50	0.50	0.44	
		カレット茶色	115.93	104.85	111.57	106.39	104.17	0.32	0.29	0.31	0.29	0.28	
		カレット込み	40.55	58.79	37.74	60.42	47.92	0.11	0.16	0.10	0.17	0.13	
計		357.53	354.39	341.18	356.28	319.53	0.98	0.97	0.93	0.98	0.87		
天ぷら油		16.33	16.63	16.92	17.21	16.73	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05		
合 計		2,259.60	2,249.45	3,185.73	3,341.24	3,191.87	6.17	6.16	8.73	9.15	8.72		

資料1-2 (1) 寒川町 資源物月別搬出量及び月別変動係数の実績

寒川町 (新聞)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	0.81	0.03	1.20	0.59	0.02	1.10	3.34	0.11	2.07	1.16	0.04	0.93	1.48	0.05	0.97
5月	1.48	0.05	2.11	0.42	0.01	0.75	0.56	0.02	0.34	1.64	0.05	1.28	1.49	0.05	0.94
6月	0.74	0.02	1.08	0.44	0.01	0.83	0.41	0.01	0.25	1.17	0.04	0.94	1.57	0.05	1.03
7月	1.30	0.04	1.85	0.53	0.02	0.96	1.24	0.04	0.74	1.97	0.06	1.53	1.89	0.06	1.20
8月	0.64	0.02	0.91	0.55	0.02	1.00	1.61	0.05	0.97	0.84	0.03	0.65	1.75	0.06	1.11
9月	0.00	0.00	0.00	0.44	0.01	0.81	2.05	0.07	1.27	0.74	0.02	0.60	1.24	0.04	0.81
10月	0.89	0.03	1.27	0.67	0.02	1.21	1.69	0.05	1.01	1.26	0.04	0.98	1.27	0.04	0.80
11月	0.59	0.02	0.87	0.48	0.02	0.90	2.00	0.07	1.24	1.38	0.05	1.11	1.02	0.03	0.67
12月	0.55	0.02	0.78	0.44	0.01	0.79	1.16	0.04	0.70	0.88	0.03	0.69	1.18	0.04	0.75
1月	0.00	0.00	0.00	0.59	0.02	1.07	1.32	0.04	0.79	1.27	0.04	0.99	1.90	0.06	1.20
2月	0.82	0.03	1.30	0.54	0.02	1.08	2.20	0.08	1.46	1.24	0.04	1.07	2.05	0.07	1.44
3月	0.45	0.01	0.65	0.82	0.03	1.49	2.04	0.07	1.22	1.57	0.05	1.22	1.75	0.06	1.11
計	8.27	0.02		6.51	0.02		19.62	0.05		15.12	0.04		18.59	0.05	
最大			2.11			1.49			2.07			1.53			1.44
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.73															

寒川町 (雑誌)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	81.27	2.71	1.15	76.18	2.54	1.13	114.53	3.82	1.23	108.03	3.60	1.13	113.30	3.78	1.24
5月	68.41	2.21	0.94	68.97	2.22	0.99	108.41	3.50	1.13	102.18	3.30	1.03	103.39	3.34	1.10
6月	72.99	2.43	1.04	75.64	2.52	1.13	75.54	2.52	0.81	97.67	3.26	1.02	81.01	2.70	0.89
7月	73.25	2.36	1.01	51.78	1.67	0.75	97.37	3.14	1.01	83.56	2.70	0.84	87.69	2.83	0.93
8月	54.61	1.76	0.75	68.67	2.22	0.99	85.53	2.76	0.89	106.95	3.45	1.08	93.52	3.02	0.99
9月	85.88	2.86	1.22	67.49	2.25	1.00	89.41	2.98	0.96	82.72	2.76	0.86	85.15	2.84	0.93
10月	69.67	2.25	0.96	52.08	1.68	0.75	84.74	2.73	0.88	97.02	3.13	0.98	88.26	2.85	0.94
11月	52.71	1.76	0.75	80.80	2.69	1.20	88.40	2.95	0.95	90.55	3.02	0.95	94.36	3.15	1.03
12月	91.89	2.96	1.26	76.90	2.48	1.11	110.44	3.56	1.15	97.57	3.15	0.99	112.36	3.62	1.19
1月	68.85	2.22	0.95	61.90	2.00	0.89	97.04	3.13	1.01	111.25	3.59	1.12	88.79	2.86	0.94
2月	65.82	2.35	1.00	67.82	2.42	1.08	81.31	2.90	0.94	85.27	3.05	0.95	75.51	2.70	0.89
3月	72.00	2.32	0.99	68.90	2.22	0.99	98.60	3.18	1.03	102.05	3.29	1.03	88.06	2.84	0.93
計	857.34	2.35		817.13	2.24		1,131.28	3.10		1,164.82	3.19		1,111.40	3.04	
最大			1.26			1.20			1.23			1.13			1.24
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.21															

寒川町 (ダンボール)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	30.34	1.01	1.00	28.70	0.96	0.95	38.59	1.29	1.16	31.95	1.07	0.98	33.49	1.12	1.05
5月	27.71	0.89	0.88	30.14	0.97	0.97	38.13	1.23	1.10	32.11	1.04	0.95	33.75	1.09	1.03
6月	29.72	0.99	0.98	32.26	1.08	1.07	25.69	0.86	0.77	33.02	1.10	1.01	26.49	0.88	0.83
7月	33.00	1.06	1.05	28.43	0.92	0.91	38.10	1.23	1.10	31.54	1.02	0.93	31.24	1.01	0.95
8月	25.47	0.82	0.81	34.68	1.12	1.11	35.82	1.16	1.04	40.09	1.29	1.19	39.55	1.28	1.20
9月	37.42	1.25	1.23	29.56	0.99	0.98	34.02	1.13	1.02	28.96	0.97	0.89	25.41	0.85	0.80
10月	32.67	1.05	1.04	23.72	0.77	0.76	30.48	0.98	0.88	28.78	0.93	0.85	31.77	1.02	0.96
11月	24.92	0.83	0.82	36.40	1.21	1.21	32.72	1.09	0.98	36.15	1.21	1.11	34.83	1.16	1.09
12月	40.35	1.30	1.28	33.79	1.09	1.08	45.80	1.48	1.33	33.99	1.10	1.01	35.19	1.14	1.07
1月	31.02	1.00	0.99	31.54	1.02	1.01	30.95	1.00	0.90	44.47	1.43	1.32	41.82	1.35	1.27
2月	29.94	1.07	1.05	30.98	1.11	1.10	27.54	0.98	0.88	28.60	1.02	0.94	26.08	0.93	0.88
3月	27.84	0.90	0.89	26.70	0.86	0.86	28.45	0.92	0.82	28.08	0.91	0.83	28.05	0.90	0.85
計	370.40	1.01		366.90	1.01		406.29	1.11		397.74	1.09		387.67	1.06	
最大			1.28			1.21			1.33			1.32			1.27
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.28															

資料1-2(2) 寒川町 資源物月別搬出量及び月別変動係数の実績

寒川町(紙パック)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	0.28	0.01	1.05	0.22	0.01	0.98	0.55	0.02	0.83	0.47	0.02	0.72	0.31	0.01	0.89
5月	0.37	0.01	1.35	0.19	0.01	0.81	0.38	0.01	0.56	0.81	0.03	1.20	0.69	0.02	1.91
6月	0.00	0.00	0.00	0.31	0.01	1.35	0.34	0.01	0.51	0.75	0.03	1.14	0.32	0.01	0.92
7月	0.44	0.01	1.61	0.25	0.01	1.08	0.47	0.02	0.69	0.61	0.02	0.90	0.32	0.01	0.89
8月	0.28	0.01	1.01	0.19	0.01	0.81	0.84	0.03	1.23	0.81	0.03	1.20	0.57	0.02	1.58
9月	0.36	0.01	1.36	0.19	0.01	0.84	1.14	0.04	1.73	0.70	0.02	1.07	0.31	0.01	0.89
10月	0.31	0.01	1.12	0.22	0.01	0.95	0.76	0.02	1.11	0.92	0.03	1.36	0.30	0.01	0.83
11月	0.32	0.01	1.20	0.23	0.01	1.03	0.58	0.02	0.88	0.87	0.03	1.33	0.30	0.01	0.86
12月	0.21	0.01	0.75	0.36	0.01	1.53	0.94	0.03	1.38	0.38	0.01	0.56	0.27	0.01	0.75
1月	0.27	0.01	0.97	0.17	0.01	0.72	0.68	0.02	1.00	0.25	0.01	0.37	0.18	0.01	0.50
2月	0.19	0.01	0.75	0.18	0.01	0.85	0.71	0.03	1.15	0.74	0.03	1.21	0.37	0.01	1.13
3月	0.22	0.01	0.79	0.24	0.01	1.04	0.65	0.02	0.95	0.66	0.02	0.98	0.31	0.01	0.86
計	3.24	0.01		2.75	0.01		8.04	0.02		7.97	0.02		4.25	0.01	
最大			1.61			1.53			1.73			1.36			1.91
計画月最大変動係数(最大値の平均値)							1.63								

寒川町(ボロ布)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	10.87	0.36	1.02	11.97	0.40	0.97	14.96	0.50	1.53	14.42	0.48	1.10	14.88	0.50	1.24
5月	13.79	0.44	1.25	17.49	0.56	1.37	14.69	0.47	1.45	18.17	0.59	1.34	17.77	0.57	1.43
6月	8.97	0.30	0.84	18.67	0.62	1.51	4.74	0.16	0.48	15.44	0.51	1.17	16.45	0.55	1.37
7月	11.13	0.36	1.01	11.51	0.37	0.90	4.00	0.13	0.40	11.76	0.38	0.86	7.92	0.26	0.64
8月	7.51	0.24	0.68	9.42	0.30	0.74	6.46	0.21	0.64	10.12	0.33	0.74	12.24	0.39	0.99
9月	10.12	0.34	0.95	10.87	0.36	0.88	8.57	0.29	0.87	7.48	0.25	0.57	10.10	0.34	0.84
10月	11.43	0.37	1.04	8.92	0.29	0.70	12.58	0.41	1.24	17.00	0.55	1.25	11.83	0.38	0.95
11月	8.44	0.28	0.79	17.55	0.59	1.42	15.06	0.50	1.54	16.44	0.55	1.25	15.66	0.52	1.30
12月	18.38	0.59	1.67	17.41	0.56	1.36	12.16	0.39	1.20	12.59	0.41	0.93	11.19	0.36	0.90
1月	7.65	0.25	0.69	8.35	0.27	0.65	7.06	0.23	0.70	13.29	0.43	0.98	8.55	0.28	0.69
2月	10.01	0.36	1.00	8.55	0.31	0.74	8.13	0.29	0.89	10.65	0.38	0.87	9.26	0.33	0.83
3月	11.59	0.37	1.05	9.49	0.31	0.74	10.76	0.35	1.06	12.76	0.41	0.94	10.29	0.33	0.83
計	129.90	0.36		150.22	0.41		119.17	0.33		160.12	0.44		146.14	0.40	
最大			1.67			1.51			1.54			1.34			1.43
計画月最大変動係数(最大値の平均値)							1.50								

寒川町(プラスチック製容器包装)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月							33.62	1.12	0.64	60.32	2.01	1.02	50.21	1.67	0.87
5月							64.71	2.09	1.20	69.82	2.25	1.15	69.37	2.24	1.17
6月							44.07	1.47	0.84	60.36	2.01	1.02	53.07	1.77	0.92
7月							61.03	1.97	1.13	53.06	1.71	0.87	62.74	2.02	1.06
8月							63.06	2.03	1.17	59.68	1.93	0.98	67.61	2.18	1.14
9月							54.31	1.81	1.04	57.46	1.92	0.97	59.74	1.99	1.04
10月							45.00	1.45	0.83	65.32	2.11	1.07	50.33	1.62	0.85
11月							60.90	2.03	1.16	56.22	1.87	0.95	65.94	2.20	1.15
12月							57.16	1.84	1.06	55.38	1.79	0.91	51.48	1.66	0.87
1月							51.29	1.65	0.95	65.56	2.11	1.08	63.10	2.04	1.06
2月							50.80	1.81	1.04	48.92	1.75	0.89	50.64	1.81	0.94
3月							50.83	1.64	0.94	65.24	2.10	1.07	55.60	1.79	0.94
計							636.78	1.74		717.34	1.97		699.83	1.92	
最大									1.20			1.15			1.17
計画月最大変動係数(最大値の平均値)							1.17								

資料1-2(3) 寒川町 資源物月別搬出量及び月別変動係数の実績

寒川町(ペットボトル)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	5.13	0.17	0.68	8.61	0.29	0.96	4.99	0.17	0.51	7.53	0.25	0.75	9.51	0.32	0.92
5月	4.97	0.16	0.63	7.24	0.23	0.78	10.08	0.33	0.99	9.00	0.29	0.87	9.69	0.31	0.91
6月	10.23	0.34	1.35	10.10	0.34	1.13	10.13	0.34	1.03	10.76	0.36	1.07	9.65	0.32	0.93
7月	10.73	0.35	1.37	9.76	0.31	1.06	15.37	0.50	1.51	11.12	0.36	1.07	14.77	0.48	1.38
8月	5.45	0.18	0.69	14.42	0.47	1.56	10.10	0.33	0.99	14.51	0.47	1.40	9.89	0.32	0.92
9月	10.67	0.36	1.40	8.79	0.29	0.98	10.12	0.34	1.03	11.84	0.39	1.18	14.75	0.49	1.42
10月	10.55	0.34	1.34	11.09	0.36	1.20	14.96	0.48	1.47	11.62	0.37	1.12	14.58	0.47	1.36
11月	5.28	0.18	0.70	8.93	0.30	1.00	9.94	0.33	1.01	10.94	0.36	1.09	4.86	0.16	0.47
12月	10.24	0.33	1.30	6.75	0.22	0.73	4.80	0.15	0.47	8.33	0.27	0.80	9.61	0.31	0.90
1月	5.02	0.16	0.64	7.88	0.25	0.85	9.54	0.31	0.94	9.70	0.31	0.94	9.58	0.31	0.89
2月	4.95	0.18	0.70	6.48	0.23	0.78	9.51	0.34	1.04	8.35	0.30	0.89	9.50	0.34	0.98
3月	9.20	0.30	1.17	8.69	0.28	0.94	10.02	0.32	0.99	8.14	0.26	0.79	9.66	0.31	0.90
計	92.42	0.25		108.74	0.30		119.56	0.33		121.84	0.33		126.05	0.35	
最大			1.40			1.56			1.51			1.40			1.42
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.46															

寒川町(かん・金属類)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	33.72	1.12	0.97	35.46	1.18	1.01	34.83	1.16	1.10	33.95	1.13	1.08	30.45	1.01	1.02
5月	42.59	1.37	1.18	37.07	1.20	1.02	35.96	1.16	1.09	30.99	1.00	0.95	31.02	1.00	1.01
6月	36.09	1.20	1.04	32.86	1.10	0.94	34.78	1.16	1.09	32.94	1.10	1.05	32.54	1.08	1.09
7月	32.25	1.04	0.90	37.08	1.20	1.02	33.33	1.08	1.01	32.81	1.06	1.01	28.53	0.92	0.93
8月	34.63	1.12	0.96	34.56	1.11	0.95	33.03	1.07	1.01	33.35	1.08	1.03	31.55	1.02	1.03
9月	36.88	1.23	1.06	36.32	1.21	1.04	31.04	1.03	0.98	34.18	1.14	1.09	30.12	1.00	1.01
10月	33.45	1.08	0.93	32.77	1.06	0.91	29.29	0.94	0.89	30.98	1.00	0.95	31.78	1.03	1.03
11月	37.35	1.25	1.07	37.62	1.25	1.07	29.24	0.97	0.92	30.70	1.02	0.98	31.22	1.04	1.05
12月	39.26	1.27	1.09	43.23	1.39	1.19	35.64	1.15	1.08	35.23	1.14	1.08	35.37	1.14	1.15
1月	33.94	1.09	0.94	36.09	1.16	1.00	31.88	1.03	0.97	29.25	0.94	0.90	27.22	0.88	0.89
2月	33.43	1.19	1.03	27.74	0.99	0.85	25.27	0.90	0.85	28.44	1.02	0.97	25.11	0.90	0.90
3月	30.58	0.99	0.85	35.37	1.14	0.98	32.60	1.05	0.99	29.98	0.97	0.92	26.81	0.86	0.87
計	424.17	1.16		426.18	1.17		386.89	1.06		382.80	1.05		361.68	0.99	
最大			1.18			1.19			1.10			1.09			1.15
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.14															

寒川町(びん・ガラス類)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	19.28	0.64	0.66	28.61	0.95	0.98	18.44	0.61	0.66	29.01	0.97	0.99	21.50	0.72	0.82
5月	35.98	1.16	1.18	20.56	0.66	0.68	30.31	0.98	1.05	21.00	0.68	0.69	11.35	0.37	0.42
6月	19.77	0.66	0.67	36.29	1.21	1.25	30.99	1.03	1.11	40.95	1.37	1.40	30.13	1.00	1.15
7月	36.45	1.18	1.20	29.07	0.94	0.97	18.67	0.60	0.64	20.19	0.65	0.67	30.90	1.00	1.14
8月	35.20	1.14	1.16	27.72	0.89	0.92	39.53	1.28	1.36	30.60	0.99	1.01	37.54	1.21	1.38
9月	19.15	0.64	0.65	28.80	0.96	0.99	31.05	1.03	1.11	30.03	1.00	1.03	21.96	0.73	0.84
10月	36.84	1.19	1.21	28.87	0.93	0.96	30.44	0.98	1.05	31.65	1.02	1.05	21.12	0.68	0.78
11月	19.02	0.63	0.65	27.97	0.93	0.96	20.78	0.69	0.74	21.49	0.72	0.73	30.47	1.02	1.16
12月	39.00	1.26	1.28	29.30	0.95	0.97	29.60	0.95	1.02	27.77	0.90	0.92	19.12	0.62	0.70
1月	29.91	0.96	0.99	37.89	1.22	1.26	31.88	1.03	1.10	32.73	1.06	1.08	41.62	1.34	1.53
2月	29.23	1.04	1.07	19.71	0.70	0.73	27.80	0.99	1.06	31.23	1.12	1.14	22.11	0.79	0.90
3月	37.70	1.22	1.24	39.61	1.28	1.32	31.69	1.02	1.09	39.63	1.28	1.31	31.71	1.02	1.17
計	357.53	0.98		354.39	0.97		341.18	0.93		356.28	0.98		319.53	0.88	
最大			1.28			1.32			1.36			1.40			1.53
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.38															

資料1-2 (4) 寒川町 資源物月別搬出量及び月別変動係数の実績

寒川町(天ぷら油)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	2.29	0.08	1.71	2.43	0.08	1.78	0.82	0.03	0.59	1.11	0.04	0.78	1.35	0.05	0.98
5月	1.56	0.05	1.12	1.31	0.04	0.93	1.54	0.05	1.07	1.27	0.04	0.87	1.72	0.06	1.21
6月	1.50	0.05	1.12	1.35	0.05	0.99	1.56	0.05	1.12	1.21	0.04	0.86	1.30	0.04	0.95
7月	1.28	0.04	0.92	1.14	0.04	0.81	1.74	0.06	1.21	1.29	0.04	0.88	1.37	0.04	0.96
8月	1.30	0.04	0.94	1.19	0.04	0.84	1.50	0.05	1.04	2.15	0.07	1.47	1.42	0.05	1.00
9月	0.57	0.02	0.42	0.88	0.03	0.64	1.35	0.05	0.97	1.30	0.04	0.92	0.72	0.02	0.52
10月	2.22	0.07	1.60	1.24	0.04	0.88	0.86	0.03	0.60	1.32	0.04	0.90	1.73	0.06	1.22
11月	0.39	0.01	0.29	1.95	0.07	1.43	2.09	0.07	1.50	1.39	0.05	0.98	1.77	0.06	1.29
12月	1.31	0.04	0.94	0.98	0.03	0.69	1.44	0.05	1.00	1.28	0.04	0.88	0.93	0.03	0.65
1月	2.02	0.07	1.46	1.39	0.04	0.98	1.27	0.04	0.88	1.88	0.06	1.29	1.60	0.05	1.13
2月	0.49	0.02	0.39	1.25	0.04	0.98	0.52	0.02	0.40	1.54	0.06	1.17	1.16	0.04	0.90
3月	1.40	0.05	1.01	1.52	0.05	1.08	2.23	0.07	1.55	1.47	0.05	1.01	1.66	0.05	1.17
計	16.33	0.04		16.63	0.05		16.92	0.05		17.21	0.05		16.73	0.05	
最大			1.71			1.78			1.55			1.47			1.29
計画月最大変動係数(最大値の平均値) 1.56															

資料1-3 寒川町 資源物の組成内訳

区分\年度			平成17年度		平成18年度		平成19年度		3年間平均
			(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	構成比
紙・ボロ類	紙類	新聞	19.62	1.3%	15.12	1.0%	18.59	1.2%	1.1%
		雑誌	1,131.28	72.3%	1,164.82	73.5%	1,111.40	73.0%	72.9%
		ダンボール	406.29	26.0%	397.74	25.1%	387.67	25.5%	25.5%
		牛乳パック	8.04	0.5%	7.97	0.5%	4.25	0.3%	0.4%
		計	1,565.23	100.0%	1,585.65	100.0%	1,521.91	100.0%	100.0%
	ボロ類		119.17	100.0%	160.12	100.0%	146.14	100.0%	100.0%
プラスチック製容器包装			636.78	100.0%	717.34	100.0%	699.83	100.0%	100.0%
資源ごみ	ペットボトル		119.56	100.0%	121.84	100.0%	126.05	100.0%	100.0%
	かん・金属類	鉄	213.83	55.3%	212.06	55.4%	203.69	56.3%	55.6%
		鉄プレス	102.78	26.6%	97.55	25.5%	89.66	24.8%	25.6%
		アルミプレス	61.77	16.0%	62.24	16.3%	59.16	16.4%	16.2%
		スプレー缶	1.10	0.3%	1.25	0.3%	1.27	0.4%	0.3%
		アルミガラ	6.03	1.6%	8.52	2.2%	7.90	2.2%	2.0%
		アルミサッシ	1.38	0.4%	1.18	0.3%		0.0%	0.2%
		計	386.89	100.0%	382.80	100.0%	361.68	100.0%	100.0%
	びん・ガラス類	リターナブルびん	9.26	2.7%	8.19	2.3%	7.54	2.4%	2.5%
		カレット無色	182.61	53.5%	181.28	50.9%	159.90	50.0%	51.5%
		カレット茶色	111.57	32.7%	106.39	29.9%	104.17	32.6%	31.7%
		カレット込み	37.74	11.1%	60.42	17.0%	47.92	15.0%	14.4%
		計	341.18	100.0%	356.28	100.0%	319.53	100.0%	100.0%
	天ぷら油		16.92	100.0%	17.21	100.0%	16.73	100.0%	100.0%
合 計			3,185.73	100.0%	3,341.24	100.0%	3,191.87	100.0%	100.0%

資料1-4 寒川町 資源物の見掛け比重(平成17年度調査)

区 分			可燃ごみ			不燃ごみ			合計		
			湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)
ペットボトル		飲料・醬油用	365	10.6	0.034	715	16.5	0.043	1,080	27.1	0.040
		その他	260	7.5	0.035	270	8.0	0.034	530	15.5	0.034
		計	625	18.1	0.035	985	24.5	0.040	1,610	42.6	0.038
その他 プラスチック製容器包装	その他ボトル		460	6.2	0.074	6,280	104.1	0.060	6,740	110.3	0.061
	発泡トレイ	白色	50	1.6	0.031	5	0.1	0.050	55	1.7	0.032
		褐色	50	2.0	0.025	15	0.3	0.050	65	2.3	0.028
		計	100	3.6	0.028	20	0.4	0.050	120	4.0	0.030
	その他トレイ	着色	275	9.0	0.031	50	0.3	0.167	325	9.3	0.035
		無色	65	1.6	0.041	25	0.5	0.050	90	2.1	0.043
	トレイ全体		440	14.2	0.031	95	1.2	0.079	535	15.4	0.035
	袋	レジ袋	2,735	145.0	0.019	1,010	90.0	0.011	3,745	235.0	0.016
		その他	4,445	213.0	0.021	3,520	182.0	0.019	7,965	395.0	0.020
	パック類		1,320	81.2	0.016	585	13.0	0.045	1,905	94.2	0.020
	その他		1,465	51.5	0.028	1,350	27.5	0.049	2,815	79.0	0.036
	硬質プラスチック類		305	27.0	0.011	8,390	80.0	0.105	8,695	107.0	0.081
	全 体		11,170	538.1	0.021	21,230	497.8	0.043	32,400	1,035.9	0.031
飲料用紙パック		アルミ無し	1,820	60.5	0.030	0	0.0		1,820	60.5	0.030
		アルミ付き	285	5.5	0.052	0	0.0		285	5.5	0.052
		計	2,105	66.0	0.032	0	0.0		2,105	66.0	0.032
ダンボール		970	14.2	0.068	120	3.0	0.040	1,090	17.2	0.063	
その他紙製 容器包装		包装紙	365	16.1	0.023	0	0.0		365	16.1	0.023
		紙容器	5,350	120.5	0.044	930	17.7	0.053	6,280	138.2	0.045
		その他	980	60.5	0.016	0	0.0		980	60.5	0.016
		計	6,695	197.1	0.034	930	17.7	0.053	7,625	214.8	0.035
古紙類	新聞・折込		4,820	90.0	0.054	580	1.1	0.527	5,400	91.1	0.059
	雑誌・パンフレット		2,305	13.1	0.176	40	0.1	0.400	2,345	13.2	0.178
	OA用紙		955	10.1	0.095	0	0.0		955	10.1	0.095
	計		8,080	113.2	0.071	620	1.2	0.517	8,700	114.4	0.076
布類	ウエス利用可能なもの		810	10.0	0.081	330	4.0	0.083	1,140	14.0	0.081
	その他		4,580	48.0	0.095	3,120	36.0	0.087	7,700	84.0	0.092
	計		5,390	58.0	0.093	3,450	40.0	0.086	8,840	98.0	0.090
かん類	スチール 製容器	飲食料缶	145	0.7	0.207	695	4.4	0.158	840	5.1	0.165
		栓・キャップ	25	0.1	0.250	540	1.5	0.360	565	1.6	0.353
		スプレー缶	110	0.5	0.220	690	4.4	0.157	800	4.9	0.163
		その他	10	0.1	0.100	985	1.9	0.518	995	2.0	0.498
		計	290	1.4	0.207	2,910	12.2	0.239	3,200	13.6	0.235
	アルミ 製容器	飲食料缶	25	0.5	0.050	135	3.0	0.045	160	3.5	0.046
		栓・キャップ	10	0.1	0.100	950	5.0	0.190	960	5.1	0.188
		スプレー缶	0	0.0		675	7.0	0.096	675	7.0	0.096
		その他	75	0.4	0.188	350	2.7	0.130	425	3.1	0.137
		計	110	1.0	0.110	2,110	17.7	0.119	2,220	18.7	0.119
	かん類全体		400	2.4	0.167	5,020	29.9	0.168	5,420	32.3	0.168
	ガラス製容器		ワッペイソ等	65	0.1	0.650	6,670	17.5	0.381	6,735	17.6
リターナブルソ			0	0.0		1,200	1.5	0.800	1,200	1.5	0.800
計			65	0.1	0.650	7,870	19.0	0.414	7,935	19.1	0.415

注) 平成17年度に、寒川町内4収集地区における可燃・不燃ごみの20ステーションから調査した結果。

資料2 茅ヶ崎市資源物実績データ

資料2-1 茅ヶ崎市 資源物搬入・処理実績

区分\年度		年間量 (t/年)					日平均量 (t/日)					
		平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	
資源物搬入量	市収集	びん・かん	2,923	2,853	2,870	2,879	2,816	7.99	7.82	7.86	7.89	7.69
		ダンボール	1,905	1,853	1,944	1,900	2,164	5.20	5.08	5.33	5.21	5.91
		紙パック	28	29	30	40	42	0.08	0.08	0.08	0.11	0.11
		ペットボトル	731	810	823	801	794	2.00	2.22	2.25	2.19	2.17
		新聞・チラシ	651	649	639	971	1,112	1.78	1.78	1.75	2.66	3.04
		本・雑誌・雑紙	2,844	2,781	2,845	3,476	3,496	7.77	7.62	7.79	9.52	9.55
		衣類・布類	840	800	835	856	958	2.30	2.19	2.29	2.35	2.62
		計	9,922	9,775	9,986	10,923	11,382	27.11	26.78	27.36	29.93	31.10
	家庭系直接搬入	びん・かん	8	7	6	4	9	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02
		ダンボール	20	17	34	45	43	0.05	0.05	0.09	0.12	0.12
		ペットボトル	1	1	1	1	2	0.003	0.003	0.003	0.003	0.005
		新聞・チラシ	7	6	9	14	9	0.02	0.02	0.02	0.04	0.02
		本・雑誌・雑紙	122	121	122	114	86	0.33	0.33	0.33	0.31	0.23
		衣類・布類	65	68	79	70	73	0.18	0.19	0.22	0.19	0.20
		計	223	220	251	248	222	0.61	0.60	0.69	0.68	0.61
		許可	びん・かん	119	109	102	73	52	0.33	0.30	0.28	0.20
	事業系直接搬入	びん・かん	10	7	7	5	6	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02
		ダンボール	26	22	21	28	24	0.07	0.06	0.06	0.08	0.07
		ペットボトル	1	1	2	2	2	0.003	0.003	0.005	0.005	0.005
		新聞・チラシ	5	5	6	9	9	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
		本・雑誌・雑紙	45	43	34	41	34	0.12	0.12	0.09	0.11	0.09
		衣類・布類	6	7	10	6	13	0.02	0.02	0.03	0.02	0.04
		計	93	85	80	91	88	0.25	0.23	0.22	0.25	0.24
		合計	びん・かん	3,060	2,976	2,985	2,961	2,883	8.36	8.15	8.18	8.11
	ダンボール		1,951	1,892	1,999	1,973	2,231	5.33	5.18	5.48	5.41	6.10
	紙パック		28	29	30	40	42	0.08	0.08	0.08	0.11	0.11
	ペットボトル		733	812	826	804	798	2.00	2.22	2.26	2.20	2.18
	新聞・チラシ		663	660	654	994	1,130	1.81	1.81	1.79	2.72	3.09
	本・雑誌・雑紙		3,011	2,945	3,001	3,631	3,616	8.23	8.07	8.22	9.95	9.88
	衣類・布類		911	875	924	932	1,044	2.49	2.40	2.53	2.55	2.85
	計		10,357	10,189	10,419	11,335	11,744	28.30	27.92	28.55	31.05	32.09
資源物処理量	資源化	びん	1,772	1,707	1,635	1,616	1,684	4.84	4.68	4.48	4.43	4.60
		スチールかん	588	549	517	499	466	1.61	1.50	1.42	1.37	1.27
		アルミかん	239	241	261	335	334	0.65	0.66	0.72	0.92	0.91
		ペットボトル	675	713	709	743	750	1.84	1.95	1.94	2.04	2.05
		ダンボール	1,975	1,905	1,997	1,962	2,219	5.40	5.22	5.47	5.38	6.06
		古紙	3,681	3,614	3,667	4,626	4,756	10.06	9.90	10.05	12.67	12.99
		布類	679	721	830	763	949	1.86	1.98	2.27	2.09	2.59
		紙パック	28	29	30	40	42	0.08	0.08	0.08	0.11	0.11
		計	9,637	9,479	9,646	10,584	11,200	26.33	25.97	26.43	29.00	30.60
	処理残渣	720	710	773	751	544	1.97	1.95	2.12	2.06	1.49	

搬入量	直搬古紙	225	214	226	251	205	0.61	0.59	0.62	0.69	0.56
	直搬布類	71	75	89	76	86	0.19	0.21	0.24	0.21	0.23

資料2-2 (1) 茅ヶ崎市 資源物月別搬入量及び月別変動係数の実績

茅ヶ崎市 (びん・かん)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	280.00	9.33	1.11	224.76	7.49	0.92	224.01	7.47	0.91	227.38	7.58	0.93	219.68	7.32	0.93
5月	240.37	7.75	0.92	231.17	7.46	0.91	232.77	7.51	0.92	267.82	8.64	1.07	258.07	8.32	1.05
6月	232.54	7.75	0.92	275.67	9.19	1.13	276.14	9.20	1.13	269.84	8.99	1.11	229.24	7.64	0.97
7月	296.70	9.57	1.14	239.92	7.74	0.95	256.13	8.26	1.01	261.69	8.44	1.04	251.45	8.11	1.03
8月	248.81	8.03	0.96	239.89	7.74	0.95	308.57	9.95	1.22	286.98	9.26	1.14	266.94	8.61	1.09
9月	245.87	8.20	0.98	280.45	9.35	1.15	234.17	7.81	0.95	238.67	7.96	0.98	221.60	7.39	0.94
10月	257.69	8.31	0.99	204.33	6.59	0.81	217.75	7.02	0.86	235.22	7.59	0.94	245.09	7.91	1.00
11月	218.55	7.29	0.87	235.81	7.86	0.96	260.47	8.68	1.06	215.78	7.19	0.89	229.17	7.64	0.97
12月	242.11	7.81	0.93	240.75	7.77	0.95	250.58	8.08	0.99	246.28	7.94	0.98	236.75	7.64	0.97
1月	305.43	9.85	1.18	309.97	10.00	1.23	244.16	7.88	0.96	272.29	8.78	1.08	281.79	9.09	1.15
2月	221.56	7.91	0.94	213.61	7.63	0.94	216.30	7.73	0.94	206.11	7.36	0.91	224.22	8.01	1.01
3月	270.36	8.72	1.04	279.68	9.02	1.11	263.88	8.51	1.04	232.48	7.50	0.92	218.50	7.05	0.89
計	3,060.00	8.38		2,976.00	8.15		2,984.93	8.18		2,960.54	8.11		2,882.50	7.90	
最大			1.18			1.23			1.22			1.14			1.15
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.18															

茅ヶ崎市 (ダンボール)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	197.16	6.57	1.23	150.12	5.00	0.97	157.39	5.25	0.96	140.90	4.70	0.87	169.01	5.63	0.92
5月	150.54	4.86	0.91	145.80	4.70	0.91	152.36	4.91	0.90	172.01	5.55	1.03	186.52	6.02	0.98
6月	133.89	4.46	0.83	166.73	5.56	1.07	164.19	5.47	1.00	158.47	5.28	0.98	156.89	5.23	0.86
7月	191.16	6.17	1.15	155.04	5.00	0.96	177.58	5.73	1.05	160.05	5.16	0.96	186.54	6.02	0.98
8月	157.96	5.10	0.95	151.75	4.90	0.94	201.48	6.50	1.19	191.61	6.18	1.14	192.55	6.21	1.02
9月	149.00	4.97	0.93	172.56	5.75	1.11	151.48	5.05	0.92	152.67	5.09	0.94	158.73	5.29	0.87
10月	164.23	5.30	0.99	121.24	3.91	0.75	147.24	4.75	0.87	166.58	5.37	0.99	179.69	5.80	0.95
11月	145.93	4.86	0.91	165.50	5.52	1.06	182.88	6.10	1.11	154.59	5.15	0.95	179.48	5.98	0.98
12月	182.00	5.87	1.10	173.74	5.60	1.08	196.77	6.35	1.16	212.56	6.86	1.27	232.92	7.51	1.23
1月	182.96	5.90	1.10	188.24	6.07	1.17	156.22	5.04	0.92	177.70	5.73	1.06	232.08	7.49	1.22
2月	128.59	4.59	0.86	124.29	4.44	0.86	138.06	4.93	0.90	132.69	4.74	0.88	177.21	6.33	1.04
3月	168.07	5.42	1.01	177.22	5.72	1.10	173.08	5.58	1.02	153.16	4.94	0.91	179.42	5.79	0.95
計	1,951.49	5.35		1,892.23	5.18		1,998.73	5.48		1,972.99	5.41		2,231.04	6.11	
最大			1.23			1.17			1.19			1.27			1.23
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.22															

茅ヶ崎市 (紙パック)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	2.99	0.10	1.28	1.97	0.07	0.84	2.20	0.07	0.91	2.68	0.09	0.82	3.22	0.11	0.93
5月	2.30	0.07	0.95	2.04	0.07	0.84	2.27	0.07	0.90	3.37	0.11	1.00	3.67	0.12	1.03
6月	2.19	0.07	0.94	2.75	0.09	1.17	2.52	0.08	1.04	3.55	0.12	1.09	3.34	0.11	0.97
7月	3.11	0.10	1.29	2.30	0.07	0.95	2.73	0.09	1.09	3.51	0.11	1.04	3.64	0.12	1.02
8月	2.27	0.07	0.94	2.54	0.08	1.04	3.18	0.10	1.27	4.09	0.13	1.22	3.91	0.13	1.10
9月	2.32	0.08	0.99	3.31	0.11	1.41	2.51	0.08	1.03	3.61	0.12	1.11	3.34	0.11	0.97
10月	2.70	0.09	1.12	2.04	0.07	0.84	2.37	0.08	0.94	3.67	0.12	1.09	3.94	0.13	1.10
11月	2.26	0.08	0.97	2.60	0.09	1.10	2.65	0.09	1.09	3.14	0.10	0.97	3.52	0.12	1.02
12月	2.16	0.07	0.89	2.34	0.08	0.96	2.50	0.08	1.00	3.53	0.11	1.05	3.72	0.12	1.04
1月	1.99	0.06	0.82	2.19	0.07	0.90	1.88	0.06	0.75	2.71	0.09	0.81	3.24	0.10	0.91
2月	1.88	0.07	0.86	1.78	0.06	0.81	2.05	0.07	0.90	2.66	0.10	0.88	3.38	0.12	1.05
3月	2.29	0.07	0.95	2.78	0.09	1.14	2.69	0.09	1.07	3.04	0.10	0.90	3.09	0.10	0.87
計	28.46	0.08		28.64	0.08		29.55	0.08		39.56	0.11		42.01	0.12	
最大			1.29			1.41			1.27			1.22			1.10
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.26															

資料2-2(2) 茅ヶ崎市 資源物月別搬入量及び月別変動係数の実績

茅ヶ崎市 (ペットボトル)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	63.46	2.12	1.05	58.59	1.95	0.88	60.50	2.02	0.89	56.56	1.89	0.86	53.68	1.79	0.82
5月	53.69	1.73	0.86	61.57	1.99	0.89	63.93	2.06	0.91	70.62	2.28	1.03	71.04	2.29	1.05
6月	56.61	1.89	0.94	83.80	2.79	1.26	83.55	2.79	1.23	62.10	2.07	0.94	69.39	2.31	1.06
7月	72.25	2.33	1.16	79.54	2.57	1.15	79.13	2.55	1.13	75.32	2.43	1.10	77.78	2.51	1.15
8月	65.29	2.11	1.05	82.11	2.65	1.19	107.37	3.46	1.53	105.67	3.41	1.55	97.64	3.15	1.44
9月	68.92	2.30	1.14	89.60	2.99	1.34	75.28	2.51	1.11	75.63	2.52	1.14	75.68	2.52	1.15
10月	72.99	2.35	1.17	55.94	1.80	0.81	64.57	2.08	0.92	64.11	2.07	0.94	72.69	2.34	1.07
11月	54.30	1.81	0.90	59.08	1.97	0.89	65.21	2.17	0.96	70.09	2.34	1.06	60.17	2.01	0.92
12月	52.79	1.70	0.85	55.46	1.79	0.80	54.94	1.77	0.78	53.60	1.73	0.78	57.71	1.86	0.85
1月	61.36	1.98	0.99	63.95	2.06	0.93	50.93	1.64	0.73	66.33	2.14	0.97	58.18	1.88	0.86
2月	49.49	1.77	0.88	50.59	1.81	0.81	51.85	1.85	0.82	51.83	1.85	0.84	50.88	1.82	0.83
3月	61.47	1.98	0.99	71.77	2.32	1.04	68.40	2.21	0.98	52.19	1.68	0.76	53.26	1.72	0.79
計	732.62	2.01		812.00	2.22		825.66	2.26		804.05	2.20		798.10	2.19	
最大			1.17			1.34			1.53			1.55			1.44
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.41															

茅ヶ崎市 (新聞・チラシ)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	68.53	2.28	1.26	59.97	2.00	1.10	58.71	1.96	1.09	84.74	2.82	1.04	90.86	3.03	0.98
5月	54.25	1.75	0.96	53.43	1.72	0.95	53.88	1.74	0.97	83.09	2.68	0.98	88.39	2.85	0.92
6月	53.02	1.77	0.97	52.21	1.74	0.96	54.27	1.81	1.01	79.95	2.67	0.98	77.69	2.59	0.84
7月	57.14	1.84	1.01	56.17	1.81	1.00	49.38	1.59	0.89	80.33	2.59	0.95	95.17	3.07	0.99
8月	50.51	1.63	0.90	54.16	1.75	0.97	52.18	1.68	0.94	79.84	2.58	0.95	84.52	2.73	0.88
9月	56.40	1.88	1.04	55.02	1.83	1.01	52.71	1.76	0.98	70.84	2.36	0.87	75.95	2.53	0.82
10月	51.10	1.65	0.91	52.28	1.69	0.93	50.51	1.63	0.91	85.11	2.75	1.01	82.69	2.67	0.86
11月	52.52	1.75	0.96	57.18	1.91	1.05	57.50	1.92	1.07	84.69	2.82	1.04	87.08	2.90	0.94
12月	66.86	2.16	1.19	71.05	2.29	1.27	64.99	2.10	1.17	106.73	3.44	1.26	111.72	3.60	1.16
1月	55.03	1.78	0.98	52.14	1.68	0.93	58.21	1.88	1.05	77.62	2.50	0.92	114.10	3.68	1.19
2月	47.11	1.68	0.93	47.45	1.69	0.94	49.16	1.76	0.98	67.52	2.41	0.89	106.10	3.79	1.22
3月	50.37	1.62	0.89	49.26	1.59	0.88	52.20	1.68	0.94	93.13	3.00	1.10	115.81	3.74	1.21
計	662.84	1.82		660.32	1.81		653.70	1.79		993.59	2.72		1,130.08	3.10	
最大			1.26			1.27			1.17			1.26			1.22
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.24															

茅ヶ崎市 (雑誌)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	317.94	10.60	1.28	293.73	9.79	1.21	298.86	9.96	1.21	427.49	14.25	1.43	319.55	10.65	1.08
5月	259.84	8.38	1.02	258.41	8.34	1.03	287.19	9.26	1.13	343.10	11.07	1.11	328.09	10.58	1.07
6月	238.31	7.94	0.96	209.21	6.97	0.86	230.50	7.68	0.93	273.27	9.11	0.92	251.88	8.40	0.85
7月	220.81	7.12	0.86	239.13	7.71	0.96	210.13	6.78	0.82	247.17	7.97	0.80	265.34	8.56	0.86
8月	231.69	7.47	0.91	236.90	7.64	0.95	242.95	7.84	0.95	307.66	9.92	1.00	278.12	8.97	0.91
9月	272.83	9.09	1.10	255.28	8.51	1.05	243.53	8.12	0.99	271.21	9.04	0.91	257.54	8.58	0.87
10月	247.03	7.97	0.97	199.19	6.43	0.80	226.97	7.32	0.89	287.80	9.28	0.93	293.63	9.47	0.96
11月	218.06	7.27	0.88	266.28	8.88	1.10	261.76	8.73	1.06	260.22	8.67	0.87	292.89	9.76	0.99
12月	269.37	8.69	1.05	314.53	10.15	1.26	290.53	9.37	1.14	348.97	11.26	1.13	352.20	11.36	1.15
1月	280.84	9.06	1.10	235.48	7.60	0.94	258.64	8.34	1.01	299.63	9.67	0.97	346.19	11.17	1.13
2月	215.36	7.69	0.93	212.08	7.57	0.94	204.65	7.31	0.89	237.23	8.47	0.85	290.12	10.36	1.05
3月	238.95	7.71	0.93	224.85	7.25	0.90	245.15	7.91	0.96	326.97	10.55	1.06	340.85	11.00	1.11
計	3,011.03	8.25		2,945.07	8.07		3,000.86	8.22		3,630.72	9.95		3,616.40	9.91	
最大			1.28			1.26			1.21			1.43			1.15
計画月最大変動係数(最大値の平均値)															
1.27															

資料2-2 (3) 茅ヶ崎市 資源物月別搬入量及び月別変動係数の実績

茅ヶ崎市(布類)

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数	収集ごみ量 等(直接搬 入を含む) (t/月)	1日当 りの量 (t/日)	月別 変動 係数
4月	85.87	2.86	1.15	95.63	3.19	1.33	90.50	3.02	1.19	71.25	2.38	0.93	77.50	2.58	0.90
5月	118.72	3.83	1.53	102.65	3.31	1.38	126.63	4.08	1.61	108.21	3.49	1.37	133.57	4.31	1.51
6月	92.02	3.07	1.23	88.17	2.94	1.23	89.32	2.98	1.18	79.87	2.66	1.04	115.72	3.86	1.35
7月	74.49	2.40	0.96	67.24	2.17	0.90	70.03	2.26	0.89	86.51	2.79	1.09	66.57	2.15	0.75
8月	63.82	2.06	0.82	58.84	1.90	0.79	62.17	2.01	0.79	68.31	2.20	0.86	70.17	2.26	0.79
9月	57.08	1.90	0.76	56.36	1.88	0.78	60.43	2.01	0.80	65.96	2.20	0.86	59.73	1.99	0.70
10月	85.94	2.77	1.11	75.59	2.44	1.02	78.69	2.54	1.00	85.64	2.76	1.08	102.77	3.32	1.16
11月	72.34	2.41	0.97	82.33	2.74	1.14	100.59	3.35	1.32	82.23	2.74	1.07	115.58	3.85	1.35
12月	86.62	2.79	1.12	89.05	2.87	1.20	78.78	2.54	1.00	90.48	2.92	1.14	99.15	3.20	1.12
1月	65.94	2.13	0.85	61.76	1.99	0.83	60.04	1.94	0.77	70.98	2.29	0.90	73.02	2.36	0.82
2月	54.92	1.96	0.79	45.96	1.64	0.68	43.49	1.55	0.61	56.76	2.03	0.79	56.48	2.02	0.71
3月	53.23	1.72	0.69	51.43	1.66	0.69	63.33	2.04	0.81	65.81	2.12	0.83	73.40	2.37	0.83
計	911.00	2.50		875.00	2.40		924.00	2.53		932.00	2.55		1,043.66	2.86	
最大			1.53			1.38			1.61			1.37			1.51
計画月最大変動係数(最大値の平均値) 1.48															

資料2-3 茅ヶ崎市 資源物の組成内訳

区分\年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		3年間平均	
		(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	構成比	内訳
びん・かん	搬入量		2,985	100.0%	2,961	100.0%	2,883	100.0%	100.0%
	缶類	スチール缶	517	17.3%	499	16.8%	466	16.2%	16.8%
		アルミ缶	261	8.7%	335	11.3%	334	11.6%	10.5%
		計	777	26.0%	834	28.2%	800	27.8%	27.3%
	カレット	白	858	28.7%	846	28.6%	872	30.2%	29.2%
		茶	532	17.8%	520	17.6%	544	18.9%	18.1%
		黒	38	1.3%	38	1.3%	38	1.3%	1.3%
		青・緑	208	7.0%	212	7.2%	231	8.0%	7.4%
		計	1,635	54.8%	1,616	54.6%	1,684	58.4%	55.9%
	合 計		2,413	80.8%	2,450	82.8%	2,484	86.2%	83.2%
残渣量		572	19.2%	510	17.2%	398	13.8%	16.8%	
ペットボトル	搬入量		826	100.0%	804	100.0%	798	100.0%	100.0%
	資源回収量		709	85.9%	743	92.4%	750	94.0%	90.7%
	残渣量		117	14.1%	61	7.6%	48	6.0%	9.3%
古紙	新聞・チラシ	搬入量	654	100.0%	994	100.0%	1,130	100.0%	100.0%
		資源回収量	659	100.8%	992	99.9%	1,127	99.7%	100.0%
		残渣量	-5	-0.8%	1	0.1%	3	0.3%	0.0%
	本・雑誌・雑紙	搬入量	3,001	100.0%	3,631	100.0%	3,616	100.0%	100.0%
		資源回収量	3,008	100.2%	3,634	100.1%	3,629	100.4%	100.2%
		残渣量	-7	-0.2%	-3	-0.1%	-13	-0.4%	-0.2%
ダンボール	搬入量		1,999	100.0%	1,973	100.0%	2,231	100.0%	100.0%
	資源回収量		1,997	99.9%	1,962	99.5%	2,219	99.4%	99.6%
	残渣量		2	0.1%	11	0.5%	13	0.6%	0.4%
飲料用紙パック	搬入量		30	100.0%	40	100.0%	42	100.0%	100.0%
	資源回収量		30	100.0%	40	100.0%	42	100.0%	100.0%
	残渣量		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
衣類・布類	搬入量		924	100.0%	932	100.0%	1,044	100.0%	100.0%
	資源回収量		830	89.8%	763	81.9%	949	91.0%	87.7%
	残渣量		94	10.2%	169	18.1%	94	9.0%	12.3%
合 計	搬入量		10,419	100.0%	11,335	100.0%	11,744	100.0%	100.0%
	資源回収量		9,646	92.6%	10,584	93.4%	11,201	95.4%	93.8%
	残渣量		773	7.4%	751	6.6%	543	4.6%	6.2%

直接搬入古紙類の組成内訳

区分\年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		3年間平均
		(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	(t/年)	構成比	構成比
新聞・チラシ		15	6.6%	23	9.2%	18	8.8%	8.2%
本・雑誌・雑紙		156	68.9%	155	61.8%	120	58.6%	63.2%
ダンボール		55	24.4%	73	29.0%	67	32.6%	28.6%
合 計		226	100.0%	251	100.0%	205	100.0%	100.0%

資料2-4 (1) 茅ヶ崎市 資源物の見掛け比重 (平成18年度調査)

<家庭系ごみ>

区 分		可燃ごみ			不燃ごみ			合計			
		湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	
ペットボトル		硬質	1,540	7.5	0.205	5,110	127.0	0.040	6,650	134.5	0.049
		軟質	0	0.0		90	1.5	0.060	90	1.5	0.060
		計	1,540	7.5	0.205	5,200	128.5	0.040	6,740	136.0	0.050
その他 プラスチック 製容器包装	その他ボトル	硬質	1,980	41.5	0.048	26,430	489.5	0.054	28,410	531.0	0.054
		軟質	830	6.9	0.120	5,940	101.9	0.058	6,770	108.8	0.062
	発泡トレイ	白色	1,670	83.5	0.020	150	4.8	0.031	1,820	88.3	0.021
		有色	1,910	65.5	0.029	50	1.7	0.029	1,960	67.2	0.029
		計	3,580	149.0	0.024	200	6.5	0.031	3,780	155.5	0.024
	その他トレイ		3,640	171.0	0.021	1,570	44.2	0.036	5,210	215.2	0.024
	トレイ全体		7,220	320.0	0.023	1,770	50.7	0.035	8,990	370.7	0.024
	袋		10,410	368.0	0.028	1,030	57.8	0.018	11,440	425.8	0.027
	その他		11,540	452.3	0.026	10,410	162.5	0.064	21,950	614.8	0.036
	全 体		31,980	1,188.7	0.027	45,580	862.4	0.053	77,560	2,051.1	0.038
飲料用紙パック		牛乳パック	2,100	50.0	0.042	0	0.0		2,100	50.0	0.042
		その他	2,660	74.0	0.036	370	11.5	0.032	3,030	85.5	0.035
		計	4,760	124.0	0.038	370	11.5	0.032	5,130	135.5	0.038
ダンボール		5,650	68.6	0.082	100	0.2	0.500	5,750	68.8	0.084	
その他紙製容器包装		17,510	484.1	0.036	600	5.5	0.109	18,110	489.6	0.037	
古紙類	新聞・広告		26,180	323.0	0.081	380	3.0	0.127	26,560	326.0	0.081
	雑誌・その他		15,890	23.5	0.676	200	1.0	0.200	16,090	24.5	0.657
	ミックスペーパー		10,690	97.0	0.110	360	1.8	0.200	11,050	98.8	0.112
	計		52,760	443.5	0.119	940	5.8	0.162	53,700	449.3	0.120
布類	ウエス利用可能なもの		6,160	32.0	0.193	580	4.0	0.145	6,740	36.0	0.187
	その他		8,730	89.0	0.098	12,270	142.0	0.086	21,000	231.0	0.091
	計		14,890	121.0	0.123	12,850	146.0	0.088	27,740	267.0	0.104
かん類	スチール 製容器	飲食料缶	340	1.8	0.189	5,230	36.8	0.142	5,570	38.6	0.144
		栓・キャップ	60	0.4	0.150	1,580	6.0	0.263	1,640	6.4	0.256
		スプレー缶	0	0.0		3,340	18.7	0.179	3,340	18.7	0.179
		その他	10	0.1	0.100	5,510	34.8	0.158	5,520	34.9	0.158
		計	410	2.3	0.178	15,660	96.3	0.163	16,070	98.6	0.163
	アルミ 製容器	飲食料缶	50	1.0	0.050	160	1.4	0.114	210	2.4	0.088
		栓・キャップ	0	0.0		470	4.2	0.112	470	4.2	0.112
		スプレー缶	0	0.0		1,310	9.7	0.135	1,310	9.7	0.135
		その他	180	2.2	0.082	280	2.7	0.104	460	4.9	0.094
		計	230	3.2	0.072	2,220	18.0	0.123	2,450	21.2	0.116
	かん類全体		640	5.5	0.116	17,880	114.3	0.156	18,520	119.8	0.155
	ガラス製容器		ワンウェイビン	120	0.1	1.200	26,840	61.9	0.434	26,960	62.0
リターナブルビン			0	0.0		0	0.0		0	0.0	
計			120	0.1	1.200	26,840	61.9	0.434	26,960	62.0	0.435

注) 茅ヶ崎市内10収集地区における可燃・不燃ごみのステーションから調査した結果。

資料2-4 (2) 茅ヶ崎市 資源物の見掛け比重 (平成18年度調査)

<事業系ごみ>

区 分		可燃ごみ			不燃ごみ			合計			
		湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	
ペットボトル		硬質	1,210	34.0	0.036	760	13.0	0.058	1,970	47.0	0.042
		軟質	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
		計	1,210	34.0	0.036	760	13.0	0.058	1,970	47.0	0.042
その他 プラスチック 製容器包装	その他ボトル	硬質	470	6.7	0.070	6,000	112.0	0.054	6,470	118.7	0.055
		軟質	250	3.1	0.081	2,120	3.0	0.707	2,370	6.1	0.389
	発泡トレイ	白色	370	17.0	0.022	0	0.0		370	17.0	0.022
		有色	250	10.1	0.025	0	0.0		250	10.1	0.025
		計	620	27.1	0.023	0	0.0		620	27.1	0.023
	その他トレイ		520	13.5	0.039	0	0.0		520	13.5	0.039
	トレイ全体		1,140	40.6	0.028	0	0.0		1,140	40.6	0.028
	袋		5,830	120.0	0.049	360	1.0	0.360	6,190	121.0	0.051
	その他		5,950	155.5	0.038	1,470	10.0	0.147	7,420	165.5	0.045
	全 体		13,640	325.9	0.042	9,950	126.0	0.079	23,590	451.9	0.052
飲料用紙パック		牛乳パック	430	8.5	0.051	0	0.0		430	8.5	0.051
		その他	3,500	69.6	0.050	0	0.0		3,500	69.6	0.050
		計	3,930	78.1	0.050	0	0.0		3,930	78.1	0.050
ダンボール		3,370	27.0	0.125	0	0.0		3,370	27.0	0.125	
その他紙製容器包装		9,080	191.0	0.048	0	0.0		9,080	191.0	0.048	
古紙類	新聞・広告		8,270	100.0	0.083	0	0.0		8,270	100.0	0.083
	雑誌・その他		13,140	45.0	0.292	0	0.0		13,140	45.0	0.292
	ミックスペーパー		12,530	155.0	0.081	0	0.0		12,530	155.0	0.081
	計		33,940	300.0	0.113	0	0.0		33,940	300.0	0.113
布類	ウエス利用可能なもの		2,220	14.6	0.152	0	0.0		2,220	14.6	0.152
	その他		2,250	17.2	0.131	0	0.0		2,250	17.2	0.131
	計		4,470	31.8	0.141	0	0.0		4,470	31.8	0.141
かん類	スチール 製容器	飲食料缶	80	0.4	0.200	5,930	90.0	0.066	6,010	90.4	0.066
		栓・キャップ	10	0.1	0.100	310	0.5	0.620	320	0.6	0.533
		スプレー缶	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
		その他	0	0.0		190	2.0	0.095	190	2.0	0.095
		計	90	0.5	0.180	6,430	92.5	0.070	6,520	93.0	0.070
	アルミ 製容器	飲食料缶	60	1.5	0.040	0	0.0		60	1.5	0.040
		栓・キャップ	0	0.0		50	0.1	0.500	50	0.1	0.500
		スプレー缶	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
		その他	70	0.1	0.700	0	0.0		70	0.1	0.700
		計	130	1.6	0.081	50	0.1	0.500	180	1.7	0.106
	かん類全体		220	2.1	0.105	6,480	92.6	0.070	6,700	94.7	0.071
ガラス製容器		ワンウェイビン	0	0.0		800	1.7	0.471	800	1.7	0.471
		リターナブルビン	0	0.0		970	1.8	0.539	970	1.8	0.539
		計	0	0.0		1,770	3.5	0.506	1,770	3.5	0.506

注) 茅ヶ崎市清掃事業所へ搬入される運搬車両(可燃5台・不燃1台)から調査した結果。

資料2-4 (3) 茅ヶ崎市 資源物の見掛け比重 (平成18年度調査)

<家庭系+事業系ごみ>

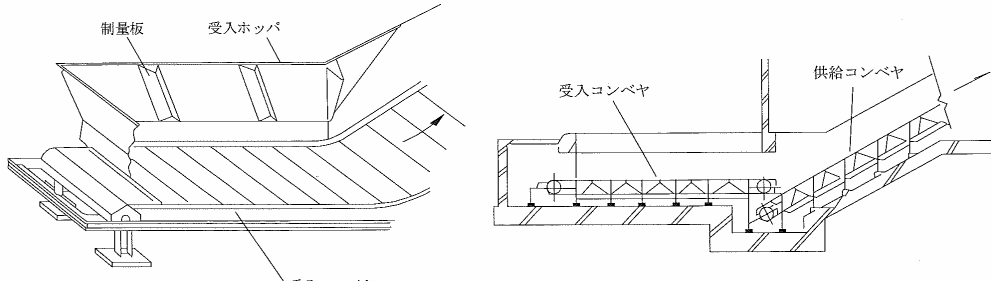
区 分		可燃ごみ			不燃ごみ			合計			
		湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	湿重量 (g)	見掛け 容量 (L)	見掛け比 重(kg/L)	
ペットボトル		硬質	2,750	41.5	0.066	5,870	140.0	0.042	8,620	181.5	0.047
		軟質	0	0.0		90	1.5	0.060	90	1.5	0.060
		計	2,750	41.5	0.066	5,960	141.5	0.042	8,710	183.0	0.048
その他 プラスチック 製容器包装	その他ボトル	硬質	2,450	48.2	0.051	32,430	601.5	0.054	34,880	649.7	0.054
		軟質	1,080	10.0	0.108	8,060	104.9	0.077	9,140	114.9	0.080
	発泡トレイ	白色	2,040	100.5	0.020	150	4.8	0.031	2,190	105.3	0.021
		有色	2,160	75.6	0.029	50	1.7	0.029	2,210	77.3	0.029
		計	4,200	176.1	0.024	200	6.5	0.031	4,400	182.6	0.024
	その他トレイ		4,160	184.5	0.023	1,570	44.2	0.036	5,730	228.7	0.025
	トレイ全体		8,360	360.6	0.023	1,770	50.7	0.035	10,130	411.3	0.025
	袋		16,240	488.0	0.033	1,390	58.8	0.024	17,630	546.8	0.032
	その他		17,490	607.8	0.029	11,880	172.5	0.069	29,370	780.3	0.038
	全 体		45,620	1,514.6	0.030	55,530	988.4	0.056	101,150	2,503.0	0.040
飲料用紙パック		牛乳ハッック	2,530	58.5	0.043	0	0.0		2,530	58.5	0.043
		その他	6,160	143.6	0.043	370	11.5	0.032	6,530	155.1	0.042
		計	8,690	202.1	0.043	370	11.5	0.032	9,060	213.6	0.042
ダンボール		9,020	95.6	0.094	100	0.2	0.500	9,120	95.8	0.095	
その他紙製容器包装		26,590	675.1	0.039	600	5.5	0.109	27,190	680.6	0.040	
古紙類	新聞・広告		34,450	423.0	0.081	380	3.0	0.127	34,830	426.0	0.082
	雑誌・その他		29,030	68.5	0.424	200	1.0	0.200	29,230	69.5	0.421
	ミックスペーパー		23,220	252.0	0.092	360	1.8	0.200	23,580	253.8	0.093
	計		86,700	743.5	0.117	940	5.8	0.162	87,640	749.3	0.117
布類	ウエス利用可能なもの		8,380	46.6	0.180	580	4.0	0.145	8,960	50.6	0.177
	その他		10,980	106.2	0.103	12,270	142.0	0.086	23,250	248.2	0.094
	計		19,360	152.8	0.127	12,850	146.0	0.088	32,210	298.8	0.108
かん類	スチール 製容器	飲食料缶	420	2.2	0.191	11,160	126.8	0.088	11,580	129.0	0.090
		栓・キャップ	70	0.5	0.140	1,890	6.5	0.291	1,960	7.0	0.280
		スプレー缶	0	0.0		3,340	18.7	0.179	3,340	18.7	0.179
		その他	10	0.1	0.100	5,700	36.8	0.155	5,710	36.9	0.155
		計	500	2.8	0.179	22,090	188.8	0.117	22,590	191.6	0.118
	アルミ 製容器	飲食料缶	110	2.5	0.044	160	1.4	0.114	270	3.9	0.069
		栓・キャップ	0	0.0		520	4.3	0.121	520	4.3	0.121
		スプレー缶	0	0.0		1,310	9.7	0.135	1,310	9.7	0.135
		その他	250	2.3	0.109	280	2.7	0.104	530	5.0	0.106
		計	360	4.8	0.075	2,270	18.1	0.125	2,630	22.9	0.115
	かん類全体		860	7.6	0.113	24,360	206.9	0.118	25,220	214.5	0.118
ガラス製容器		ワンウェイビン	120	0.1	1.200	27,640	63.6	0.435	27,760	63.7	0.436
		リターナブルビン	0	0.0		970	1.8	0.539	970	1.8	0.539
		計	120	0.1	1.200	28,610	65.4	0.437	28,730	65.5	0.439

資料3 処理システム計画資料

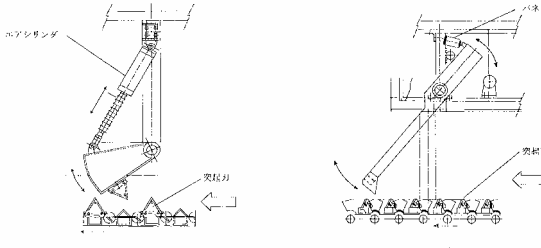
資料 3-1 計量機

方 式	電気式 (ロードセル式)	機械式
概略図		
概 要	ロードセルによって検出された信号を重量に変換しデジタル表示する方式。	てこの動きを振子に伝え、振子カムの復元力を利用してダイヤル上に指針で重量値を表示するダイヤル表示式と、振子に代えて棹上の重錘で平衡をとり、棹の目盛を読み取って重量を知る棹上表示の形式がある。
留意事項	測定精度: 1/1000～1/5000 計量時間: 5 秒程度 日報・月報: 指定項目ごとに集計が可能 採用実績: 大半を占める	測定精度: 1/500～1/1000 計量時間: 15 秒程度 日報・月報: 対応困難 採用実績: ごく僅か

資料 3-2 受入ホッパと受入コンベヤ

区 分	受入ホッパ	受入コンベヤ
概 要	受入ホッパは、搬入物の受入状況によっては山積み状態になり、投入による衝撃や磨耗が大きくなるため、投入時のこぼれとブリッジ現象が起こりにくく、円滑に排出できる形状にするとともに、強度や補修面にも十分配慮する必要がある。	受入ホッパに貯留された資源物を連続的かつ定量的に切出して、選別設備に供給すること、及び搬送物の形状や寸法を考慮し、落下等を生じさせないことが求められる。投入時の衝撃に耐えるため、一般に鋼板製エプロンコンベヤが採用されている。
概略図	 The diagrams illustrate the components and layout of a receiving system. The left diagram shows a cross-section of a hopper (受入ホッパ) with a discharge plate (制量板) and a receiving conveyor (受入コンベヤ) at the bottom. The right diagram shows a side view of the receiving conveyor (受入コンベヤ) and a supply conveyor (供給コンベヤ) feeding into it.	

資料 3-3 破袋機

方式	概要図	概要
圧縮型 (加圧刃式)		上方の破断刃で内容物を破損しない程度に加圧して、加圧刃とコンベヤ上の突起刃とで破袋するもので、エアシリンダ式とバネ式がある。
回 転 型	ドラム式	進行方向に下向きの傾斜を持たせた回転ドラムの内面にブレードやスパイクを設け、回転力と処理物の自重又はドラム内の破袋刃等の作用を利用して袋を引き裂いたり、ほぐしを行うもので、ドラム軸心に貫通する回転又は固定スクレーパを持つもの、ドラム軸心と異なる位置に偏心した破袋ウエイトをもち、異物混入時やごみ量の多いときはウエイトが回転して噛み込みを回避しながら連続的に破袋を行うもの等がある。
	回転刃式	左右に相對する回転体の外周に、破袋刃が設けられており、投入口にゴミ袋が投入されると、袋に噛み込んだ刃が袋自体を左右に引っ張り広げることにより破袋を行う。
	せん断式	適当な間隙を有する周速の異なる 2 個の回転せん断刃を相對して回転させ、せん断力と両者の速度差を利用して袋を引きちぎるもので、回転刃間に鉄パイプ等の障害物を噛み込んだ場合は自動的に間隙がひろがるか、逆転して回転刃の損傷を防ぐなどの過負荷防止装置が考慮されている。

資料 3-4 破除袋機

方式	概要図	概要
直立刃式		高速で運転される直立刃付きのコンベヤと、上方より吊るされたバネ付破袋針により構成され、ゴミ袋はコンベヤ上の直立刃でバネ付破袋針の間を押し通すことにより破袋する。 資源物は機器前方の排出シートより排出するが、破袋後の袋は排出シュート部に設置した集袋補助ファンの風力とコンベヤ上の直立刃により機器後方に搬送して排出する。
可倒爪式		傾斜プレートに複数刻まれたスリット間を移動する可倒爪でゴミ袋を引っ掛けて上方に移動させ、堰止板で資源物の進行を遮ることにより、袋を引きちぎり破袋する。 破袋後の袋は可倒爪に引っ掛けて堰止板のスリットを通過させ、資源物から分離する。 爪が可倒して噛み込み負荷を逃し、資源物を自重により傾斜プレート上面を滑らせてサイドに設置したコンベヤへ排出させる。また、スリットの隙間から落下した残渣と除袋した袋を分離する機能を持つ。

資料 3-5 アルミ選別機（渦電流型）

方式	概要図	概要
永久磁石回転式		N 極、S 極の両極を交互に並べて形成した永久磁石をドラムに内蔵しており、これを高速回転させることにより、ドラム表面に強力な移動磁界を発生させる。この磁界の中にアルミニウムが通るとアルミニウムに渦電流が起こり前方に推力を受けて加速し、アルミニウムは遠くに飛び選別される。ドラムには非電導性の材料を用いている。
リニアモーター式		通常のカゴ形誘導電動機を軸方向に切り開いて平面状に展開したもので、磁界と電流にて発生する力は直線力として得られる。この作用により、アルミニウム片はリニアモーター上で渦電流が誘導されて、直線の推進力が発生し移動することができる。さらに、振動式にすることによりほぐし効果が組合され、選別精度を向上させることができる。しかし、渦電流型に比べて選別精度や維持管理の面で劣ることから採用は減りつつある。

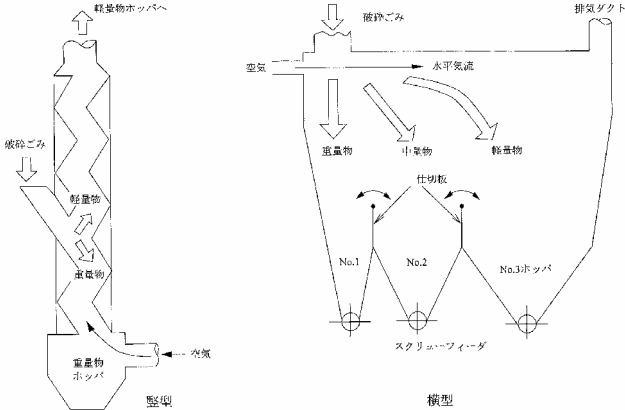
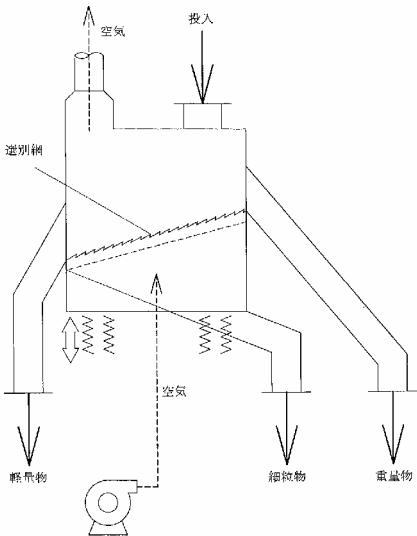
資料 3-6 磁気型選別機

方式		概要図	概要
プーリー式			ベルトコンベヤのヘッドプーリーに磁石を組み込んだもの。
ドラム式	オーバーフィード型		回転するドラムに磁石を組み込み、上部から処理物を落下させ選別する方式。
	アンダーフィード型		回転するドラムに磁石を組み込み、下部に処理物を通過させ選別する方式。
吊下げ式	ヘッド部設置型		ベルトコンベヤ上面（ヘッド部）に磁石を吊下げ、吸着選別する方式。
	中間部設置型		ベルトコンベヤ上面（中間部）に磁石を吊下げ、吸着選別する方式。

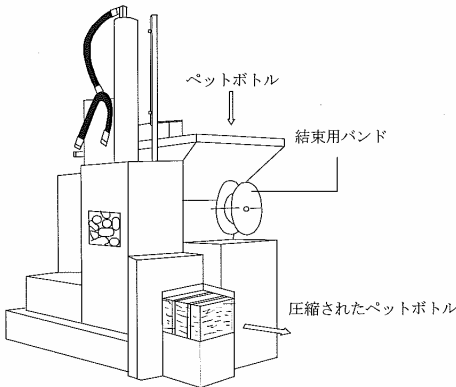
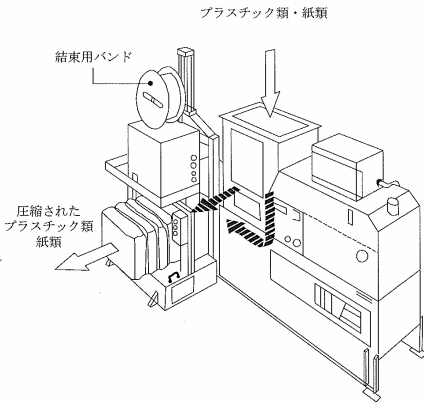
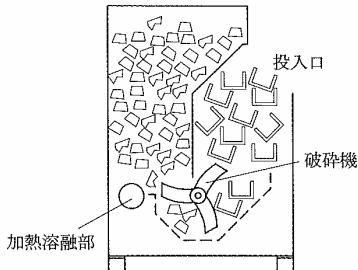
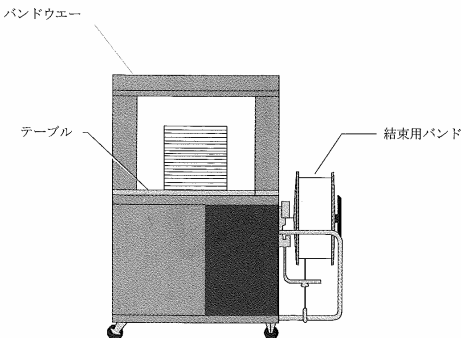
資料 3-7 金属圧縮機

方式	概要図	処理対象物	成型品寸法
一方締め式	モータおよび油圧ユニット ゲート 有価物 圧縮された有価物 圧縮シリンダ 圧縮箱	缶類	幅 0.4～0.8m 高 0.3～0.7m 厚 0.1～0.3m
二方締め式	圧縮シリンダ 圧縮蓋 有価物 圧縮された有価物	缶類	幅 0.5～0.9m 高 0.3～0.7m 厚 0.1～0.3m
		破砕物	幅 0.6～0.9m 高 0.3～0.7m 厚 0.2～0.35m
三方締め式	圧縮シリンダ 圧縮シリンダ 有価物 圧縮成形された有価物 圧縮シリンダ	破砕物	幅 0.6～0.7m 高 0.5～0.6m 厚 0.3～0.6m

資料 3-8 比重差型選別機

方式	概要図	概要
風力式		処理物の空気流に対する抵抗力と比重の差を利用して、軽量物と重量物を選別するもので、空気の流れて縦型と横型がある。 縦型は、通称ジグザグ風選と呼ばれ、ジグザグ形の風管内の下部から空気を吹き上げ、そこへ処理物を供給すると、軽量物又は表面積が大きく抵抗力のあるものは上部へ、重量物は下部に落下してホッパに貯蔵される。 横型は、一般的には縦型と比べて選別精度は劣るといわれている。処理物を水平方向に吹き込まれている空気流中に供給すると、処理物の形状や比重の差から起こる水平飛距離の差を利用して、それぞれのホッパに選別される。
複合式		処理物の比重差と粒度、振動、風力を複合した作用により選別を行うものである。 粒径の細かい物質は、選別網に開けられた孔より落下して選別機下部より細粒物として分離される。比重の大きな物質は、振動により傾斜した選別網を上り重量物として選別され、その他は軽量物として排出される。

資料 3-9 圧縮減容機

方式	概要図	概要
ペットボトル 圧縮減容機	 ペットボトル 結束用バンド 圧縮されたペットボトル	上方向から締め固めを行い、約 $1/6 \sim 1/10$ 程度に減容し、結束用バンドにより簡易梱包する。
プラスチック類・ 紙類圧縮梱包機	 プラスチック類・紙類 結束用バンド 圧縮されたプラスチック類・紙類	横1方向から締め固めを行い、約 $1/3 \sim 1/10$ 程度に減容し、結束用バンドや結束フィルム等により簡易梱包する。
発泡スチロール 減容機	 投入口 破碎機 加熱溶融部	発泡スチロールを破碎し、加熱溶融することで、$1/40 \sim 1/100$ 程度に減容する。
紙類結束機	 バンドウエー テーブル 結束用バンド	新聞、雑誌、ダンボール等を機械的にひもで縛り、取り扱いを容易にするもの。

資料 3-10 貯留・搬出設備

方式	概要図	概要
貯留ホッパ方式		選別された資源物等をホッパに貯留し、直接搬出車に積み込みを行う方式。
貯留ヤード方式		選別された資源物等をストックヤードに貯留し、ショベルローダー等を用いて搬出車に積み込みを行う方式。
コンパクタ方式		圧縮室付ステーションリコンパクタで、ホッパ内に貯められた処理物を適量ずつ圧縮減容した後、搬出車の荷台上へ押し出し搬送する方式。
コンパクタ・コンテナ方式		処理物の搬送効率を高めるため、コンテナに圧縮して詰め込み、脱着装置付コンテナ専用車で搬送する方式。
コンテナ方式		不燃物等の単位容積重量が大きいものを圧縮せずに直接コンテナに積み込む方式。
ピット方式		コンクリート製のピットに貯留し、クレーンにより搬出車に積み込みを行う方式。貯留量は多く、長時間の滞留が可能。

資料 3-11 びん類手選別方式と自動色選別方式の比較検討

比較項目	手選別方式	自動色選別方式
主な構成機器	手選別コンベヤ (1 基) + 選別シュート (1 式)	整列装置 (2 式) + びん自動色選別装置 (2～4 基) (1 基当たり処理能力 1t/h 以下:メーカーにより異なる) + 精選コンベヤ (2～3 基) (自動色選別装置の基数により異なる)
設置スペース	機器のみで約 15m ²	機器のみで約 150m ² (系列数により異なります)
建設費	約 10,000 千円 (手選別コンベヤの機長にもよります。)	約 150,000 千円～200,000 千円 (系列数により異なります)
維持管理費	機器のみで年間平均約 100 千円/年 (別途手選別用人件費が必要:3～5 人)	機器のみで年間平均約 2,200 千円/年 (別途手選別用人件費が必要:2～3 人)
選別純度	人手による選別であるため、100%近い純度が期待できます。	きれいに洗浄されたびんが整列された状態であれば、識別装置の純度は 100%近くになりますが、汚れたものや割れたもの等の混入により精度は落ちます。また、割れたものを残渣として扱う可能性があるため、回収率も低下します。 100%近い純度を確保するためには、自動色選別されたものを再度確認する「精選コンベヤ」を設置し、手選別する必要があります。
維持管理	通常の平ベルトコンベヤであり、維持管理は容易です。	びんの色を識別する画像処理装置については、メーカーノウハウとなるため、メーカー保守等が必要です。
まとめ	●機器構成がシンプルで、設置スペースも小さく、維持管理も容易です。 ●建設費、維持管理費とも安価ですが、手選別要員の人件費が必要です。 ●作業環境に配慮する必要があります。	●自動化により作業環境への配慮や作業の効率化が図れます。 ●建設費や維持管理費は、手選別に比べて高価になります。 ●搬入物の状態が悪い(汚れ、割れ)場合、選別純度や回収率が低下する可能性があり、自動色選別後に再度手選別(精選コンベヤ)が必要となります。

資料4 処理機能資料（先進施設の事例）

資料4-1 リサイクル先進施設（資源化施設＋啓発施設）の事例

- 神奈川県 横須賀市：横須賀市リサイクルプラザ（Aicle）
- 神奈川県 平塚市：平塚市リサイクルプラザ（くるりん）
- 神奈川県 鎌倉市：苗田リサイクルセンター
- 埼玉県 川口市：朝日環境センターリサイクルプラザ
- 千葉県 流山市：流山市クリーンセンター リサイクルプラザ
- 大阪府 門真市：門真市リサイクルプラザ エコパーク
- 山口県 下関市：下関市リサイクルプラザ（しものせき環境みらい館）

資料4-2 神奈川県内の主な資源化施設の概要

- 横浜市
- 川崎市
- 厚木市

資料4-3 神奈川県内の主な啓発施設の概要

- 横浜市
- 川崎市
- 相模原市
- 大和市
- 海老名市
- 座間市
- 綾瀬市

資料4-4 啓発施設の利用状況（横須賀市リサイクルプラザ（Aicle））

資料4-1 リサイクル先進施設（資源化施設＋啓発施設）の事例

設置主体		神奈川県 横須賀市	神奈川県 平塚市	神奈川県 鎌倉市	埼玉県 川口市	千葉県 流山市	大阪府 門真市	山口県 下関市
施設名称		横須賀市リサイクルプラザ (Aicle)	平塚市リサイクルプラザ (くるりん)	苗田リサイクルセンター	朝日環境センターリサイクルプラザ	流山市クリーンセンター リサイクルプラザ	門真市リサイクルプラザ エコパーク	下関市リサイクルプラザ (しものせき環境みらい館)
敷地面積			10,656m ²	5,395m ²	31,023m ² (焼却施設等併設)	38,218m ² (焼却施設等併設)	20,800m ²	10,656m ²
建築構造		地上5階 (鉄骨RC造、RC造及び鉄骨造)	地上2階 (鉄骨・一部鉄骨RC造) 地下1階 (RC造)	地上2階 (鉄骨・一部鉄骨RC造) 地下1階 (RC造)	地上5階、地下1階	地下2階・地上5階 (鉄骨・一部RC造)	地上5階、地下1階 鉄骨造 (一部RC造・SRC)	地上3階
建築面積		7,275m ²			3,551m ²	リサイクル館4,292m ² 、プラザ館970m ²	2,664m ²	
延床面積		20,914m ²	7,411m ²	4,390m ² (再生利用棟1,866、選別棟2,524)	17,484m ²	リサイクル館9,564m ² 、プラザ館1,874m ²	11,139m ²	
竣工年月		平成12年月	平成16年3月	平成9年3月	平成14年11月	平成15年3月	平成14年3月	平成15年6月
総事業費		8,380,000千円 (本体工事)	1,900,500千円	337,000千円 (本体工事)	6,609,750千円	2,572,500千円	4,797,571千円	5,710,000千円 (本体工事)
資源化施設	名称	リサイクル施設	工場部門 (工場棟)	選別棟	資源化施設 (地下1階～地上2階)	リサイクル館	(資源化施設)	処理棟
	管理運営	直営・委託	包括的民間委託 (手続中)	直営・委託	直営	委託	直営	委託
	処理能力	220t/日(5h)	44.6t/日(5h)	40t/日(5h)	95t/日(5h)	52t/日(5h)	40t/日(5h)	113t/日(5h)
	処理内訳	●缶32t、びん32t、PET7t (混合袋収集) 缶・PET:破袋+磁選+アルミ選別+圧縮 びん:手選別 ●プラ容器:74t (袋収集) 圧縮梱包 ●紙パック:3t 圧縮梱包 ●段ボール:48t 圧縮梱包 ●その他紙:24t 圧縮梱包	●かん類:6.0t (袋収集) 破袋+磁選+アルミ選別+圧縮 ●びん類:12.8t (コンテナ収集) 手選別 (コンテナ単位) ●ペットボトル:3.5t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●プラ容器:22.3t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包	●びん・かん類:20t (コンテナ収集) 選別+圧縮 ●紙類:20t 梱包、保管	●かん類 破袋+磁選+アルミ選別+圧縮 ●びん類 自動色選別 ●ペットボトル 破袋+手選別+圧縮梱包 ●プラ容器 破袋+手選別+圧縮梱包 ●紙類	●かん・びん:5.3t (袋収集) 破袋+磁選+びん手選+アルミ選別+圧縮 ●ペットボトル:0.8t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●プラ容器:19.2t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●不燃・粗大:25.6t (破砕選別)	●かん・びん:15.9t (袋収集) 破袋+磁選機+アルミ選別機+圧縮 びん自動色選別+精選手選別 ●ペットボトル:1.3t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●プラ容器:8.8t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●古紙・古布:9.8t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●不燃ごみ:2.4t	●かん・びん:26.01t (袋収集) 破袋+磁選機+アルミ選別機+圧縮 びん自動色選別 ●ペットボトル:0.84t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●プラ容器:21.54t (袋収集) 破袋+手選別+圧縮梱包 ●新聞・雑誌:20.71t (ストックヤード) ●ダンボール:2.49t (ストックヤード) ●不燃・粗大:40.75t (破砕選別)
啓発施設	名称	プラザ施設	啓発部門 (プラザ棟)	再生利用棟	啓発施設 (地上3・4階)	プラザ館	(啓発施設)	啓発設備
	管理運営	財団法人横須賀市生涯学習財団	直営	NPO法人鎌倉リサイクル推進会議	直営	直営 (一部委託)	NPO法人リサイクル活動機構かどま	NPO法人環境みらい下関
	施設内容	●家具工房 ●家具展示スペース ●情報コーナー ●多目的ホール ●市民工房 ●展示コーナー ●講堂兼研修室 ●会議室 ●エントランスホール	●再生工房 (家具) ●展示コーナー (家具) ●情報発信コーナー (パソコン利用、ごみの分別ゲーム、パンフレット等によるエコ商品等紹介、環境関連図書コーナー等) ●研修室 (約50人) ●会議室 (約30人) ●見学者コース ●体験室	●展示ギャラリー ●工房 ●情報室 ●会議室	●リサイクル工房 (家具等) ●リサイクルショップ (再生家具販売、リサイクル品橋渡しコーナー) ●談話・軽食コーナー ●展示ホール (地球環境学習パネル、ごみ減量模型、ごみの分別ゲーム等) ●研修室 ●実習室 ●図書・ビデオライブラリー (図書、ビデオ、パソコン)	●再生工房 (家具等) ●展示コーナー (家具等) ●情報コーナー ●研修室 ●工芸室 (2室)	●リサイクル工房 ●エントランスホール (再生品販売) ●展示ホール ●イベント広場 ●マルチホール (100人収容) ●資料室 (環境関係の書籍・資料の閲覧・貸出等、情報指導員の常駐、インターネット検索、環境をテーマとした上映会の開催、環境学習会、環境質問掲示板等) ●会議室 ※家具等再生工房は別棟	●リサイクル工房 (家具等) ●展示ホール (エコ商品販売) ●リサイクル工房 (体験教室用) ●リサイクル学習 (環境広場) ゾーン (分別ゲーム、パソコン・ビデオスペース) ●図書室 (環境関連図書の貸出) ●キッズコーナー ●見学ステーション ●研修室、会議室、和室 ●休憩コーナー (交流ゾーン)
	体験教室等	<リサイクル体験教室> ●裂き織り ●チャンティ織り ●パッチワーク ●手作りおもちゃ ●古布ぞうり	<体験教室> ●布ぞうり作り ●新聞紙コースジュ作り ●チラシバスケット作り ●おもちゃの病院	<リサイクル教室> ●石けん作り ●リサイクル工作・子供工作教室 ●衣類リフォーム ●パッチワーク ●布ぞうり作り ●機裂き織り ●リサイクル手芸 ●生ごみ減量教室 ●修理修繕教室	<リサイクル体験講座> ●紙すき ●おもちゃの病院 ●エコ料理教室 ●包丁研ぎ ●ふろしきの包み方 ●リサイクル工作 (木工)	<工芸室> ●石けん作り ●紙すき ●古布小物作り ●夏休み工作教室	<リサイクル工房> ●石けん作り ●紙すき ●ガラス工房 ●剪定草木染め ●裂き織り ●衣類リフォーム ●エコクッキング ●園芸工房 ●自転車修理 ●家具修理 ●押花教室	<リサイクル教室> ●石けん作り ●ガラス工芸 ●裂き織り ●草木染め ●和服のリサイクル ●パッチワーク ●古布ぞうり作り ●古布小物作り ●着物の着付け ●堆肥化実演 ●エコクッキング ●木工教室
	イベント等			●リサイクルマーケット ●リサイクル作品展 ●古着・古本無料掘出し市	●朝いち親子フリーマーケット		●リサイクル市場 (不用品交換等)	●フリーマーケット ●エコフェスタ ●エコキッズフェスタ
その他		●雨水再利用 (植栽散水用) ●太陽光発電 (約5kW) ●風力発電 (約2kW) ●氷蓄熱 (冷房用) ●天然ガス自動車	●雨水再利用 ●太陽光発電 ●太陽熱利用 ●屋上壁面緑化	●太陽光発電 ●風力発電 ●太陽熱利用 ●太陽光照明		●雨水再利用 (植栽散水用) ●太陽光発電 (4.8kW) ●ソーラー給湯 ●氷蓄熱 (冷房用) ●ガスヒートポンプマルチエアコン (天然ガス) ●屋上庭園 (断熱、庭園工房) ●再生品の外壁材等使用	●太陽光発電 ●屋上緑化	

資料4-2 神奈川県内の主な資源化施設の概要（横須賀市、平塚市、鎌倉市は別紙参照）

設置主体	横 浜 市				川崎市	厚木市
施設名称	戸塚資源選別センター	緑資源選別センター（A・B棟）	金沢資源選別センター	鶴見資源化センター	南部リサイクルセンター	資源化センター（しげん再生館）
敷地面積				61,054m ² （鶴見工場全体）	7,500m ²	19,970m ²
建築構造				地下1階・地上4階 （鉄骨RC造・鉄骨造）	工場棟：地上2階 （鉄骨造、一部RC造）	
建築面積					工場棟2,140m ²	
延床面積				11,511m ²		2,530m ²
竣工年月	平成7年	A棟：平成5年、B棟：平成10年	平成14年	平成7年9月	平成10年3月	平成12年5月
総事業費				約700,000千円	1,370,000千円	802,950千円（本体工事）
管理運営	委託	委託	委託	委託		
処理能力	60t/日(5h)	A棟：40t/日、B棟：35t/日	30t/日(5h)	50t/日(5h)	70t/日(5h)	26.6t/日(5h)
処理内訳	●かん類 ●びん類 ●ペットボトル	●かん類 ●びん類 ●ペットボトル	●かん類 ●びん類 ●ペットボトル	●かん類 ●びん類 ●ペットボトル	●かん類：20t（袋収集） ●ペットボトル：5t（袋収集） - 混合：破袋＋磁選＋分別＋7μm選別＋圧縮 ※破袋は圧縮成型結束 ●びん類：45t（コンテナ収集） - 手選別（リターナブルびん） ＋自動色選別	●かん類：11.0t（袋収集） - 破袋＋磁選＋7μm選別＋圧縮 ●びん類：14.0t（コンテナ収集） - 手選別（コンテナ単位） ●ペットボトル：1.6t（袋収集） - 破袋＋手選別＋圧縮梱包
その他	※一般廃棄物処理事業実態調査票より	※一般廃棄物処理事業実態調査票より	※一般廃棄物処理事業実態調査票より			啓発施設（工作室、会議室）

資料4-3 神奈川県内の主な啓発施設の概要（横須賀市、平塚市、鎌倉市は別紙参照）

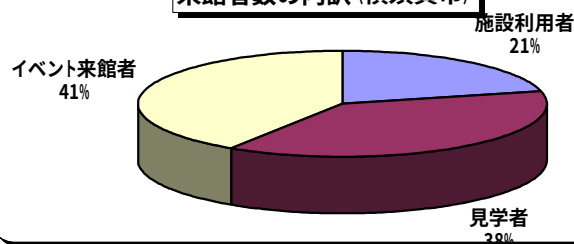
設置主体	横浜市			川崎市		相模原市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市
施設名称	鶴見 リサイクルプラザ	港南 リサイクルプラザ	青葉 リサイクルプラザ	橘リサイクル コミュニティセンター	生活環境学習室	橋本台・新磯野 リサイクルスクエア	リサイクル未来館	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ
管理運営	テスコ株式会社	財団法人横浜市 資源循環公社	財団法人横浜市 資源循環公社	財団法人川崎市 リサイクル環境公社	財団法人川崎市 リサイクル環境公社	直営	直営	社団法人海老名市 シルバー人材センター	直営	直営
主要設備	●再利用品展示コーナー（家具等再生・販売） ●リサイクル体験室 ●不用品交換情報板	●再利用品展示コーナー（家具等再生・販売） ●リサイクル体験室 ●情報板コーナー（不用品交換） ●リサイクル文庫（古本の持込、提供）	●再利用品展示コーナー（家具等再生・販売） ●リサイクル体験室 ●情報板コーナー（不用品交換） ●リサイクル文庫（古本の持込、提供）	●家具等修理コーナー ●展示コーナー（家具等） ●実践コーナー ●学習室 ●情報コーナー（資料、図書） ●会議室（20～60名）	●ガラス工芸室（焼却場の発電利用） ●展示ゾーン（Aゾーン：ごみて何？ Bゾーン：ごみと生活、Cゾーン：ごみと未来） ●学習室	家具類再生展示販売	家具類再生展示販売	●家具類再生展示販売 ●らくらく工房	●展示ホール（家具） ●修理再生室（家具） ●研修室 ●工房室	●修理再生工房（家具） ●展示ホール（家具） ●情報コーナー（リサイクル関連図書、環境情報、不用品交換情報版等） ●市民工房室 ●研修室（40人）
体験教室	<リサイクル講座> ●石けん作り ●紙すき ●紙工作 ●衣類リフォーム ●エコ草履作り ●パッチワーク ●機織り ●料理教室	<リサイクル講座> ●石けん作り ●紙すき ●PPバンドかご作り ●エコバッグ作り ●エコ草履作り ●パッチワーク ●ピンチ猫作り ●生ごみから堆肥作り ●エコキャンドル作り ●包丁・はさみ研ぎ ●押花教室	<リサイクル講座> ●石けん作り ●紙すき ●PPバンドかご作り ●エコバッグ作り ●エコ草履作り ●パッチワーク ●ピンチ猫作り ●生ごみから堆肥作り ●エコキャンドル作り ●包丁・はさみ研ぎ ●押花教室	<実践コーナー> ●石けん作り <学習室> ●紙すき <リサイクル教室> ●古布リフォーム ●牛乳パック工作 ●エコ草履作り ●余り布小物作り ●廃材木工教室 ●卓上機裂き織り	<学習室> ●ガラス工芸 ●夏休み親子ガラス工芸			<修理体験教室> ●傘、自転車修理 <らくらく工房> ●布ぞうり作り	<工房室> ●石けん作り ●紙すき ●衣類リフォーム	<市民工房室> ●紙すき ●衣類リフォーム <リサイクル教室> ●傘布買い物袋作り
イベント等	●フリーマーケット	●フリーマーケット ●親子リサイクルまつり	●フリーマーケット ●親子リサイクルまつり							●リサイクルフェスタ
その他付帯施設										●雨水再利用（洗車用）
備 考				敷地面積990m ² 建築面積417.61m ² 延床面積960.80m ²	ごみ焼却施設に隣接	橋本台と新磯野にそれぞれ設置	市環境管理センター敷地内に設置			粗大ごみ、不燃ごみ、資源ごみの直接搬入

資料 4-4 啓発施設の利用状況（横須賀市リサイクルプラザ（Aicle） 平成 18 年度）

■来館者総数

区 分		人数	構成比
来館者内訳	施設利用者	6,014	21.2%
	見学者	10,799	38.0%
	イベント来館者	11,600	40.8%
	合 計	28,413	100.0%

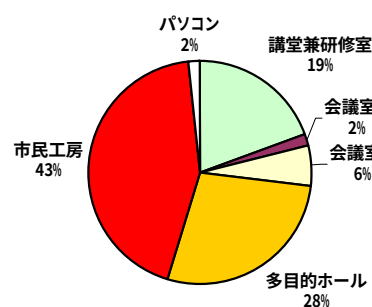
来館者数の内訳（横須賀市）



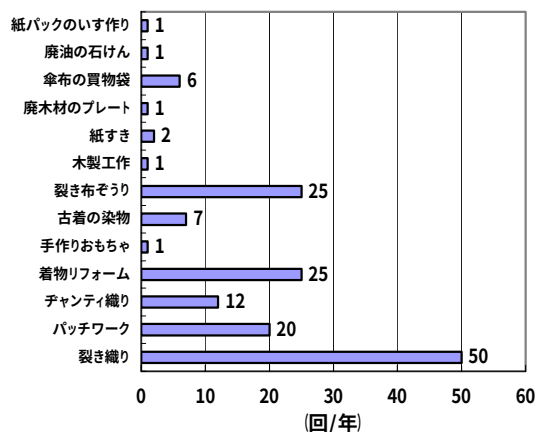
■施設利用（貸出）状況

区 分		団体数 (団体)	利用人数 (人)	構成比
施設貸出	講堂兼研修室	27	1,164	19.4%
	会議室A	9	105	1.7%
	会議室B	31	350	5.8%
	多目的ホール	184	1,677	27.9%
	市民工房	288	2,622	43.6%
	パソコン		96	1.6%
	計	539	6,014	100.0%

施設利用（貸出）状況

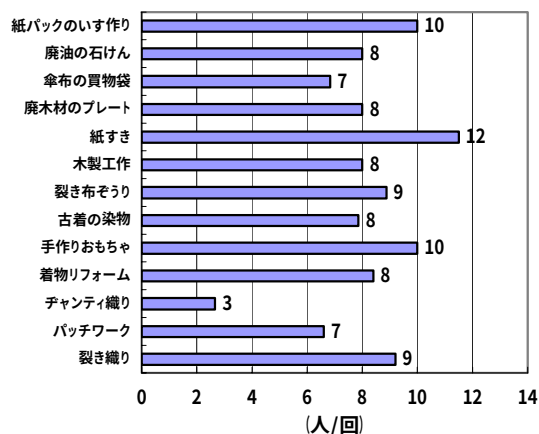


リサイクル体験教室開催回数（横須賀市）



平成18年度実績

リサイクル体験教室平均参加者（横須賀市）



平成18年度実績

資料5 管理運営計画資料

資料 5-1 PFI 事業方式について

(1) PFI 事業方式の特徴

PFI(Private Finance Initiative)とは、公共と民間の適正な役割分担により民間企業の資金及びノウハウを活用し、効率的に事業運営を行うもので、下表に示す特徴があります。

■PFI 事業方式の特徴

項 目	特 徴
①費用の削減	PFI 事業を行う場合には、公共が実施した場合の建設費及び維持管理費に関するコストを想定し、これを PFI で実施した場合のコストと比較して、コスト面の改善が図られ費用対効果＝VFM (Value for Money) が改善されることを確認しなければならない。 施設の設計と運営方法が包括的に民間にゆだねられるため、機器の調達、施設稼働率等における創意工夫により、ライフサイクルコストで最も適切な組み合わせを選択できることになり、VFMが改善されることが期待される。
②財政支出の平準化	公共事業で施設建設をする場合、施設の建設年次において起債を含めた大きな財源確保が必要となる。また、建設後、年数の経過に伴い機能維持のための不定的な大規模補修経費がかかり、これを的確に把握し予算化することが難しくなる。 PFI では、ライフサイクルにおける経費を均等払いとすることによって、施設建設年次でも大きな財政負担は発生せず、契約期間内で財政支出を平準化することができる。
③資金調達の多様性	自治体が公共サービスをするための施設を建設する場合、投入資金は税收から支出する独自財源、補助金等、地方債の三つであるが、PFI を導入した場合は、プロジェクトファイナンスという新たな資金調達手段を得ることができる。
④事業リスクの分担	PFI 事業では事業関係者の間のリスク分担を適性かつ明確に決めておくことが必要であり、このことがリスク軽減につながる。たとえば、これまでの運転管理委託の場合、生じた事故の原因が自治体にあるのか、運営する事業者にあるのかを判断するのが難しい場合があり、ほとんどの場合自治体側がリスク負担を行わざるを得ない実態があった。 また、PFI では事業者はリスクを負担する代わりに裁量権を与えられ、自由度の高い事業展開をすることができる。
⑤産業振興	SPC ができることにより、その地域に事業期間中安定した雇用が生まれる。地元企業が出資などにより SPC に参加することにより、一部の事業を請け負うことも可能となる。

PFI には、いくつかの事業形式や事業形態があり、様々な種類の事業が考えられ、その地域条件などを勘案し最適な事業形式、事業形態を決定する必要があります。PFI 事業の形式は、下表に示すように行政の関与度合によって財政的に、独立採算型、サービス提供型、官民協調型（公共との JV）の 3 タイプに分けられます。

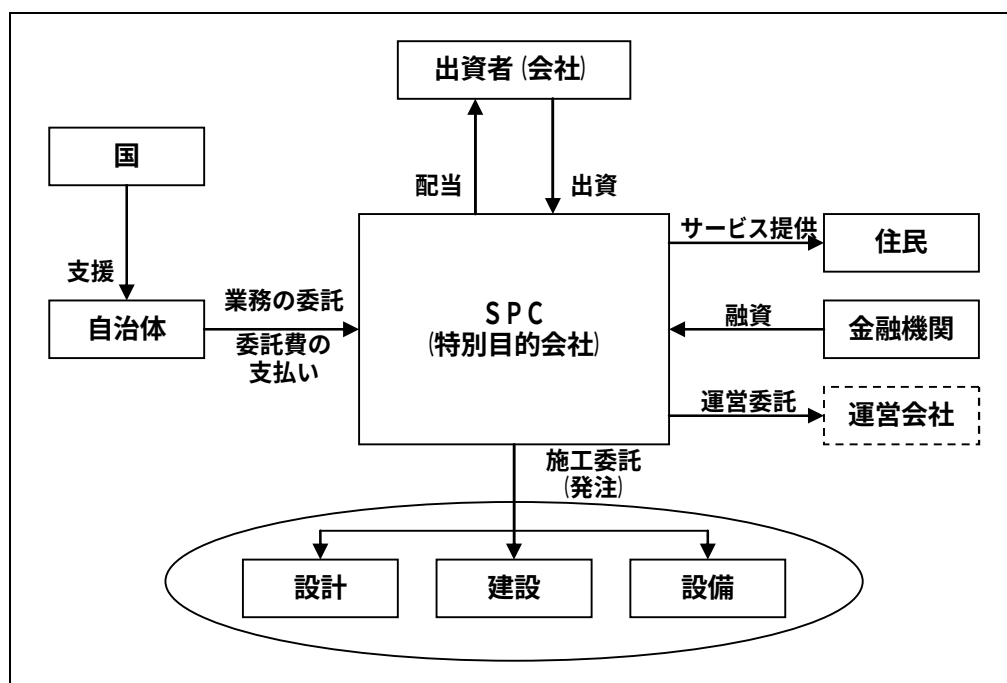
一般廃棄物処理事業における PFI の分類は、サービス提供型となり、基本的事業構造は下図に示すとおりです。SPC(Special Purpose Company)とは、PFI 事業に参加する異業種の複数の企業が出資して設立した「特別目的会社」をいい、一般廃棄物処理事業の場合、SPC の出資者はプラントメーカーや建設会社、運転保守管理会社などが多くなっています。

■PFI 事業形式による分類

項 目	特 徴
独立採算型	行政の事業許可に基づいて民間企業が施設建設・事業運営を行いコストは施設利用者の利用料で回収するものである。プロジェクトに対する公的支出はない。 (例：有料道路、有料橋、博物館等)
サービス提供型	民間企業が施設建設・事業運営を行い、行政が民間企業の提供するサービスを購入して、利用者に供するものである。 (例：庁舎、学校、病院、図書館、廃棄物処理施設等)
官民協調型（公共とのJVタイプ）	建設・運営資金については行政・民間企業で分担、又は行政が全額負担し、事業運営リスクはすべて民間企業で負うものである。 (例：都市開発、鉄道事業、駐車場等)

注) JV：ジョイントベンチャー (Joint Ventures)

■PFI の基本的な事業構造



(2) PFI の事業方式

PFI の事業方式は、その対象事業の種類により、事業リスクや法的枠組みの制約、利益追求の程度を考慮し、「Design(設計)」、「Build(建設)」、「Operate(運営)」、「Transfer(譲渡)」、「Own(所有)」、「Lease(賃貸借)」などを組み合わせ、事業毎に検討していくことになります。事業方式の種類と特徴は、下表に示すとおりです。

■PFI 事業方式の種類と特徴

方 式	特 徴
BOO方式 (Build Operate Own)	民間式で建設した施設を運用期間終了後も、民間が施設を所有して事業を継続するもの。事業がなくなれば施設を維持する必要がなくなるので、事業を継続できる環境を作る必要がある。
BOT方式 (Build Operate Transfer)	民間事業者が出資や銀行借り入れによって施設を建設し、この施設を用いて事業者が公共サービスを行う。このサービスに対して自治体は対価を支払う。契約期間が満了した時点で民間企業は施設を自治体に譲渡する方式。
BLO方式 (Build Lease Operate)	民間式で建設した施設をリース会社買い取り、運営事業者にリースして運営する方式。
BTO方式 (Build Transfer Operate)	民間式で建設した施設を自治体買い取り又は無償譲渡により所有し、運営会社に使用权を与えて運営する方式。
DBO方式 (Design Build Operate)	自治体が民間資金によらずに従来のような、公共側の財源によって施設を建設・所有する方式。施設建設に民間資金を使わないことから、準 PFI 事業方式ともいわれている。

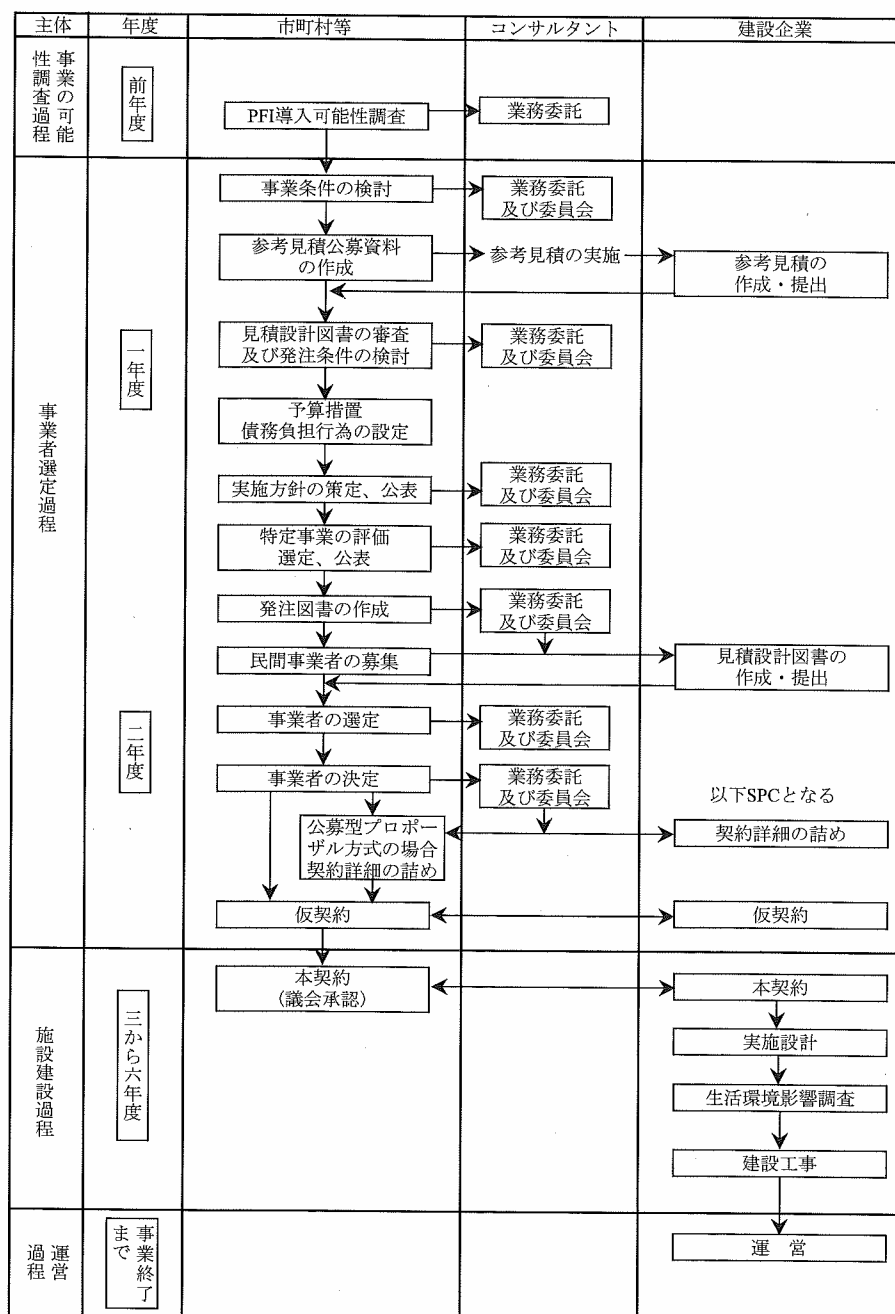
■PFI 事業方式の比較

方 式	施設所有	資金調達	設計・建設	運 営	施設撤去
BOO方式	民間	民間	民間	民間	民間
BOT方式	民間	民間	民間	民間	公共
BLO方式	民間	民間	民間	民間	公共
BTO方式	公共	民間(公共)	民間	民間	公共
DBO方式	公共	公共	民間	民間	公共

(3) PFI 事業方式の導入手続き

PFI 事業方式の導入には、下表に示す手順が必要となり、交付金申請と並行して進めることになるため複雑となります。

■PFI 事業方式導入の手続き例



資料:「自治体のためのPFI実務」(株)ぎょうせい

(4) PFI 事業方式の導入事例

廃棄物処理関連事業において PFI 事業方式を導入した事例は、下表に示すとおりです。

■PFI 事業方式の導入事例

設置主体	事業名	施設区分	事業方式
大館市(旧大館周辺 広域市町村圏組合)	大館周辺広域市町村圏組合・ごみ処理事業	廃棄物処理施設	BOO
倉敷市	倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業	廃棄物処理施設	BOO
田原市(旧田原町・赤 羽根町・渥美町)	(仮称) 新リサイクルセンター整備等事業	廃棄物処理施設	BOT
留辺蘂町ほか2町一般廃棄物 広域処理推進協議会	留辺蘂町外2町一般廃棄物最終処分場整備及び運営事業	廃棄物処理施設	BOT
西胆振廃棄物 処理広域連合	西胆振地方廃棄物広域処理事業	廃棄物処理施設	DBO
埼玉県	彩の国資源循環工場整備事業	廃棄物処理施設	BTO, BOO
長泉町	長泉町一般廃棄物最終処分場(仮称) 整備・運営事業	廃棄物処理施設	BOT
名古屋市	名古屋市鳴海工場整備運営事業	廃棄物処理施設	BTO
浜松市	(仮称)浜松市新清掃工場・新水泳場整備運営事業	廃棄物処理施設	DBO, BOO
益田地区広域 市町村圏組合	益田地区広域クリーンセンター整備及び運営事業	廃棄物処理施設	BOT
稚内市	稚内市廃棄物最終処分場整備運営事業	廃棄物処理施設	BTO
堺市	堺市・資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業	廃棄物処理施設	BTO
岩手県	第2クリーンセンター(仮称)整備運営事業	廃棄物処理施設	BOO
姫路市	(仮称)姫路市新美化センター整備運営事業	廃棄物処理施設	DBO
北九州市	(仮称)北九州市プラスチック製容器包装選別施設整備運営事業	廃棄物処理施設	BOO
新潟市	新焼却場施設整備・運営事業	廃棄物処理施設	DBO
鈴鹿市	鈴鹿市不燃物リサイクルセンター2期事業	廃棄物処理施設	BTO
岩手沿岸南部 広域環境組合	(仮称)岩手沿岸南部広域ごみ処理施設整備運営事業	廃棄物処理施設	DBO
野田市	野田市リサイクルセンター整備運営事業	廃棄物処理施設	BOO
福岡市	福岡市臨海工場余熱利用施設整備事業	余熱利用施設	BOT
岡山市	当新田環境センター余熱利用施設整備・運営PFI事業	余熱利用施設	BOT
岡山市	岡山市東部余熱利用健康増進施設の整備・運営事業	余熱利用施設	BOT
仙台市	(仮称)松森工場関連市民利用施設整備事業	余熱利用施設	BOT
市川市	市川市クリーンセンター余熱利用施設整備・運営事業	余熱利用施設	BOT
豊橋市	豊橋市資源化センター余熱利用施設整備・運営事業	余熱利用施設	BTO

資料：PFI推進委員会等

資料 5-2 長期包括的業務委託方式について

長期包括的業務委託方式を導入する最大の目的は、資源化施設の管理運営に係るトータルコストの削減ですが、この削減効果を最大限にするためには、官民のリスク分担を適切に行わなければなりません。即ち、公共と民間において、より適切にリスク管理が可能である者がリスクを分担する必要があります。公共のリスク回避や民間へのリスクの押し付けを目的としたリスク分担を行った場合、結果としては、トータルコストの増大を招くことになりかねません。長期包括的業務委託方式を導入し、資源化施設の管理運営事業を円滑に進めるためには、適切なリスク分担の設定が主たる検討事項の一つになると考えられます。

以下に、長期包括的業務委託方式の導入において検討すべき事項を示します。

(1) 事業範囲・事業期間の設定

長期包括的業務委託を導入するためには、民間事業者に委託する事業範囲・事業期間を設定しなければなりません。例えば、施設設備の全面更新等の大規模修繕は、民間事業者においても、将来の発生時期を的確に推測することは困難であり、その費用を見積もることも困難です。よって、このような業務を事業範囲に含めた場合、民間事業者は大規模修繕業務へのリスクに対して、過度な費用を見積もることになると考えられます。仮に大規模修繕業務へのリスクを過少に見積もった場合、大規模修繕発生時に民間事業者による事業継続が困難になることが考えられるため、大規模修繕業務は、事業範囲外とすることが望ましいと考えられます。また、事業期間を長期に設定した場合、事業期間内における大規模修繕の発生確率は高くなるので、大規模修繕業務が通常発生しないと想定される事業期間を設定することが望ましいと考えられます。

また、リサイクルセンターの場合、長期にわたる事業期間中に石油資源の高騰などさまざまな社会的要因によって、容器包装などのリサイクル法制が変更され、これに伴って処理品目や処理量等に大幅な変更が生じることが考えられます。

このように、長期包括的業務を導入する場合においては、個々の業務に対して、公共・民間のどちらがより適切にリスクを分担できるのかを考慮し、民間事業者に委託すべき事業範囲・事業期間を設定しなければなりません。

(2) 事業者の選定

長期包括的管理運営事業は、対象施設の管理運営に関するトータルコストの削減を求めるものですが、適正処理や再資源化の推進の観点から、資源化施設の管理運営は適切に実施されなければなりません。このため、民間事業者の選定にあたっては、民間事業者への委託費用のみならず、民間事業者の有する能力・民間事業者の提案も評価の対象とすることが望ましいと考えられます。また、事業の円滑な実施を行うためには、選定時において要求水準書による明確な事業範囲の設定、事業契約書（案）による適切なリスク分担の設定等が必要と考えられます。

事業者の選定方法として地方自治法では一般競争入札、指名競争入札、随意契約の3

方式が規定されています。このうち、一般競争入札及び指名競争入札については、従来から実施されてきた価格のみによって決定する落札方式に加え、価格以外の要素を考慮する総合評価方式を採用することが望ましいといわれており、長期包括的民間委託で用いられる選定方式は、下表に示す5つの選定方式が考えられます。

■事業者の選定方式

選定方式	内 容
条件付き一般競争入札	一定の資格要件及び技術提案によって長期間の事業遂行能力、技術能力を持った応募者に絞り込んだ上で、入札により価格で決定する。
指名競争入札	あらかじめ、長期間の事業遂行能力、技術能力を有する企業を指名した上で、入札により価格で決定する。
総合評価落札方式による条件付き一般競争入札	一定の資格要件及び技術提案によって長期間の事業遂行能力、技術能力を持った応募者に絞り込んだ上で、価格及び価格以上の要素を評価して決定する。
総合評価落札方式による指名競争入札	あらかじめ、長期間の事業遂行能力、技術能力を有する企業を指名した上で、価格及び価格以上の要素を評価して決定する。
公募型プロポーザルによる随意契約	一定の資格要件及び技術提案によって長期間の事業遂行能力、技術能力を持った応募者に絞り込んだ上で、価格及び価格以上の要素を評価し、この選定過程で決定した事業者（優先交渉権者という）との間で随意契約する。これまでの入札では落札者決定後の条件変更は認められていないが、公告後の条件設定及び契約交渉段階での条件変更の可能性があり、これまでの入札とは違ってくる。

（３）モニタリングの実施

一般廃棄物の処理は、市町村の固有事務であり、長期包括的業務委託方式を導入した場合においても、施設の設置者としての管理責任は市町村にあると考えられます。このため、民間事業者が契約に基づき適切に事業を実施しているか否かについて、市町村による厳格な監視（モニタリング）が必要と考えます。

計画策定の経過及び委員名簿

□計画策定の経過

○策定委員会の設置

本計画を策定するにあたり、寒川町自治基本条例の本旨に則り、建設用地周辺の関連団体及び全町的な観点から検討するため公募等による委員の選出を行い、(仮称)広域リサイクルセンター基本計画策定委員会を組織して検討を進めた。

○委員会の開催結果

開催場所 寒川町クリーンセンター 2階 会議室

第1回	平成20年 5月22日 (木)
第2回	平成20年 7月14日 (月)
第3回	平成20年 8月29日 (金)
第4回	平成20年10月 3日 (金)
第5回	平成20年11月 7日 (金)
第6回	平成20年11月26日 (水)
第7回	平成21年 1月16日 (金)
第8回	平成21年 3月26日 (木)

施設見学 平成20年 8月22日 (金)
 平塚市リサイクルプラザ 「くるりん」

○パブリックコメントの実施

実施期間 平成21年2月2日 (月) ～ 2月20日 (金)
意見総数 20件

○説明会の実施

日時・場所

平成21年2月14日 (土) 19:00 ～ 20:30
 北部文化福祉会館 (宮山旭地区)

平成21年2月18日 (水) 19:00 ～ 21:00
 倉見大村地域集会所 (倉見大村地区)

平成21年2月21日 (土) 19:00 ～ 20:40
 小動地域集会所 (小動地区)

□委員名簿

(仮称) 広域リサイクルセンター基本計画策定委員会名簿

平成21年 3月

	氏 名	選 出 団 体 等	備 考
1	市 川 元 久	小 動 自 治 会	
2	小 嶋 政 幸	小 動 自 治 会	
3	亀 山 直 平	倉 見 自 治 会	
4	井 上 隆 男	倉 見 自 治 会	
5	佐 藤 忠	宮 山 自 治 会	
6	杉 山 六 郎	宮 山 自 治 会	
7	小 嶋 龍 巳	小 動 生 産 組 合	
8	吉 田 信 雄	宮山旭生産組合	
9	磯 川 彰	倉見上村生産組合	
10	吉 田 和 正	公 募 委 員	
11	後 藤 勤	寒川町自治会長連絡協議会	
12	前 嶋 笑 子	寒 川 町 婦 人 会	
13	海老根 照 子	寒 川 町 議 会	
14	関 口 光 男	寒 川 町 議 会	

用語解説

■ 用語解説

【五十音順】

一般廃棄物処理基本計画

「廃棄物処理法」第6条第1項の規定により策定するもので、長期的視点に立った市町村の一般廃棄物処理の基本方針となる計画であり、ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画により構成される。

カレット

破砕された状態のガラスびん。ガラス製造（溶融）において原料に加えて添加される。

サイクロン

遠心力を利用して粉じんを気体と固体に分離する集じん装置。

循環型社会

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念であり、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会。

循環型社会形成推進交付金制度

平成 17 年度より廃棄物の3Rを総合的に推進するため、市町村の自主性と創意工夫を活かしながら、広域的かつ総合的に廃棄物処理・リサイクル施設の整備を推進し、循環型社会の形成を図ることを目的として創設された制度で、従来の廃棄物処理施設国庫補助制度に替わるもの。

循環型社会形成推進地域計画

循環型社会形成推進交付金制度に基づく施設整備を行うにあたって策定する計画。当該地域の5ヵ年程度の廃棄物処理・リサイクルシステムの方向性を示すもので、対象地域の処理システムの基本的な方向性や、整備する施設の種類、規模等の概要を見通して作成し、環境省に提出、承認を受けた後、計画された事業に国からの交付金が交付される。

ショベルローダ

前方にパワーショベル、バケットを備えた車両系建設機械（特殊自動車）。

生活環境影響調査

廃棄物処理施設の整備にあたって、施設が周辺にどのように影響を及ぼすかという点について、周辺地域の生活環境の現況を把握し、施設の設置による影響を予測し、そしてその結果を分析することにより、その地域の生活環境の状況に応じた適切な生活環境保全対策等を検討するために実施するもの。

選別残渣（又は残渣）

搬入された資源物を機械選別及び手選別により、目的の資源物を回収した後に残ったもので、ごみとして処理・処分されるもの。

ダイオキシン類

ダイオキシン類対策特別措置法では、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）及びポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）に加え、同様の毒性を示すコプラナポリ塩化ビフェニル（コプラナ-PCB）と定義されており、炭素・水素・塩素を含むものが燃焼する工程などで意図せざるものとして生成される。生殖、脳、免疫系などに対して生じ得る影響が懸念されている。

月変動係数

資源物ごとの月搬入量（日平均換算値）を年平均搬入量（日平均換算値）で割った値であり、年平均搬入量を1として各月の搬入量の変動を表す係数。施設整備規模の設定にあたっては、過去5年間における各年の月最大変動係数の平均値を用いることになっている。

バイオガス

家畜の糞尿や生ごみなどを、酸素のない密閉槽の中で発酵させると発生する気体燃料で、主成分はメタン。湘南東ブロックでは、家庭系ごみのうち生ごみ、紙類、草葉類を対象物としている。

バグフィルタ

ろ過式集じん装置のことで、装着する「ろ布」の種類、形状を変えることによって幅広い集じんに対応できる。

粉じん（ダスト）

物の破碎、選別その他の機械的処理等に伴い発生、飛散する物質。

見掛け比重

空隙（すき間）や気孔を包含する材料において、その材料の1m³あたりの重量

容器包装リサイクル法

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(平成7年法律第112号)の略称。一般廃棄物の減量及び再生資源の利用を図るため、家庭ごみの大きな割合を占める容器包装廃棄物について、消費者は分別して排出、市町村は分別収集、容器を製造する又は販売する商品に容器包装を用いる事業者は再商品化を実施するという新たな役割分担を定めたもの。

ライフサイクルコスト（LCC）

廃棄物処理施設の整備において、施設の建設から停止・解体に至るまでの建設費や維持管理費等の総和。

リサイクルセンター

循環型社会形成推進交付金制度において、交付対象となるマテリアルリサイクル推進施設として位置付けられており、「ごみの選別等を行うことにより、資源化を進めるための施設。また、不用品の補修、再生品の展示を通してリユースを進め、さらに3Rの普及啓発等を行うための施設。」とされている。

リターナブルびん

繰り返しして使用することを前提につくられたびん（ビールびんや一升びん等）。繰り返しの洗浄に耐えうる強度を持ち、洗浄しやすいデザインになっている。

【アルファベット・数字】

NPO

Non-Profit Organization の略。「民間非営利団体」「民間公益組織」で、非営利と同時に非政府であること。日本では市民団体、ボランティア活動の推進団体や公益法人の一部などが該当する。

3R

Reduce（リデュース：発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再生利用）の3つの頭文字をとったもの。

発生抑制：廃棄物の発生自体を抑制すること。

再 使 用：いったん使用された製品や部品、容器等を再使用すること。

再生利用：廃棄物等を原材料として再利用すること。（マテリアルリサイクル）

4R

3RにRefuse（リフューズ：余分なものは断る）を加えたもの。

(仮称) 広域リサイクルセンター基本計画書

平成 21 年(2009 年)3 月

発 行 寒川町

編 集 町民環境部環境課

〒253-0106

神奈川県高座郡寒川町宮山 165

TEL 0467-74-1111 (代表)

FAX 0467-74-1385

編集協力 株式会社日産技術コンサルタント